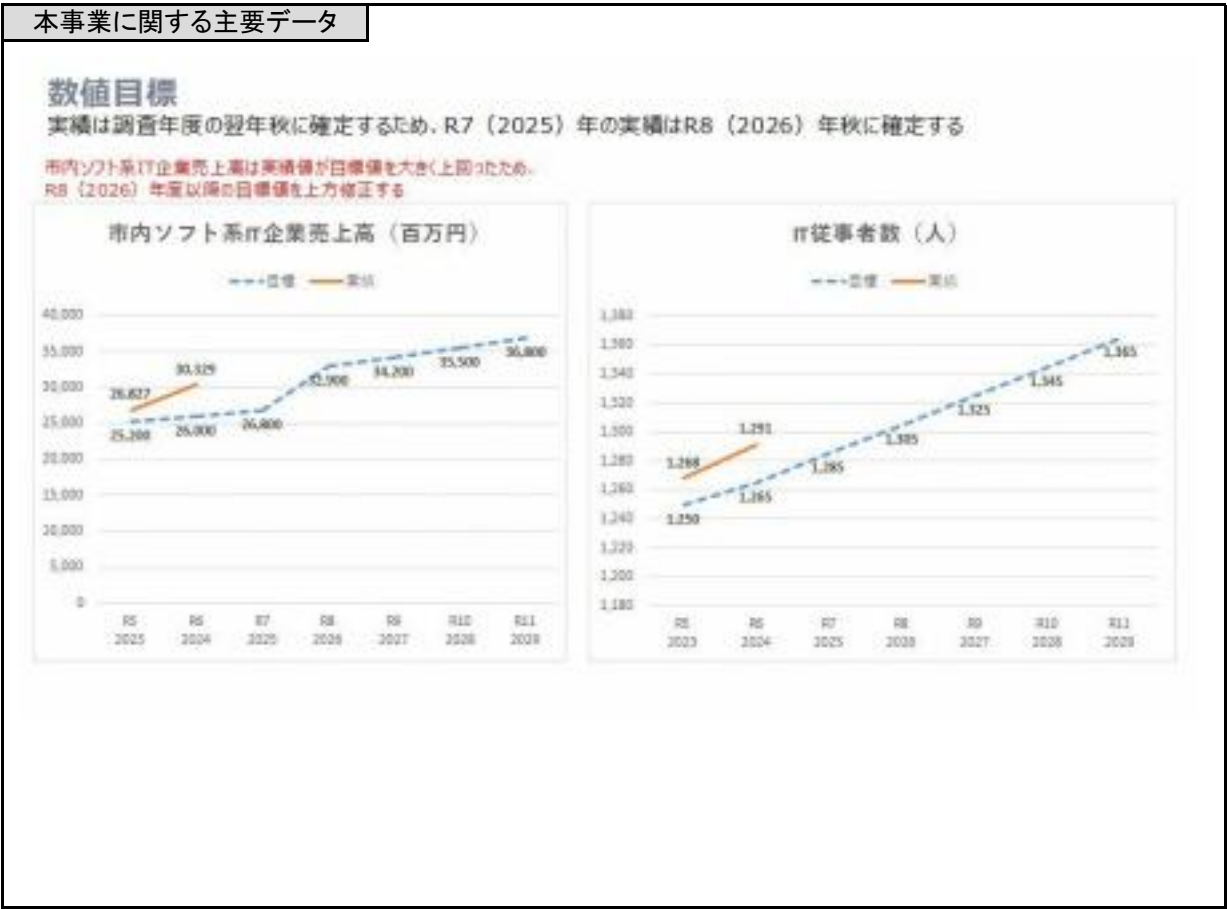


令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
産業経済部新産業創造課		RubyCityMATSUEプロジェクト2. 0事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	地元IT企業の更なる成長、地元他分野企業と連携による相互成長、成長性評価の企業誘致、起業・新ビジネス創出、地元企業のDX化を推進し、IT産業発の地域経済好循環を実現する。 目標（何を達成するのか） 「人材育成」「企業誘致」「コミュニティ(の充実)」に「事業化支援」を加えた4本を柱に、「Ruby City MATSUE」発の新サービス・新規事業創出を達成する。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			市内ソフト系IT企業売上高(百万円)	30,329	26,800	32,900	34,200	36,800
			IT従事者数(人)	1,291	1,285	1,305	1,325	1,365
事業概要	(数値目標の目標年度) 市内ソフト系IT企業売上高(百万円)2029(R11)年度、IT従事者数(人):2029(R11)年度 ※R7実績は翌年秋頃に確定するため、R7実績見込は目標値を記載している。							
	「Ruby City MATSUE 2.0」(令和6年3月策定)に基づき、「事業化支援」「人材育成」「企業誘致」「コミュニティ(の充実)」の各事業を推進することで、ITを起点とした起業・協業・新規事業の創出に取り組む。							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	○事業化支援 ・ハッカソンプログラム及びMATSUE Tech-Product Award のブラッシュアップ ○コミュニティ ・Ruby Conf. TAIWAN参加 ・台湾Ruby開発企業(5xRuby)と交流推進に関する覚書の締結 ○人材育成 ・プロモーション映像、パンフレットの活用 ○企業誘致 ・松江市ならではの産業と協業可能な県外IT企業の誘致可能性調査を実施		○事業化支援 ・ハッカソンプログラム及びMATSUE Tech-Product Awardの開催 ○コミュニティ ・Ruby City MATSUE 20周年イベント開催 ・台湾IT人材交流(学生間交流) ○人材育成 ・プロモーション映像、パンフレットの活用 ・Rubyで動くロボコンによる魅力発信 ○企業誘致 ・協業誘致に向けた企業マッチングを進める ○プロモーション ・リブランドプロモーションの実施と波及		○事業化支援 ・ハッカソンプログラム及びMATSUE Tech-Product Awardの開催 ○コミュニティ ・台湾IT人材交流(プログラミング促進) ○人材育成 ・プロモーション映像、パンフレットの活用 ・Rubyで動くロボコンによる魅力発信 ○企業誘致 ・協業誘致に向けた協業企業の受入れ			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		4,991	7,610	7,610	7,590	-20	
	国・県支出金		2,320	3,805	3,805	3,595	-210	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		350	0	0	400	400	
	一般財源		2,321	3,805	3,805	3,595	-210	
歳入合計		4,991	7,610	7,610	7,590	-20		
課題	【事業化支援】事業アイデアとIT技術を結ぶ環境整備 【コミュニティ】多様な国・技術・世代・分野との連携促進 【人材育成】次世代・若手エンジニアの育成機会と魅力ある環境整備 【企業誘致】松江市ならではの産業と協業意向を持つ県外IT企業の誘致促進			方向性	【事業化支援】事業化プランコンテスト充実とハッカソンプログラムの開催、MATSUE起業エコシステムの連携による支援 【コミュニティ】台湾をはじめとした海外コミュニティとの連携推進 【人材育成】「Rubyで動くロボコン」等による魅力発信・実践機会の創出 【企業誘致】松江市ならではの産業と県外IT企業の協業に向けたマッチング			

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	Ruby City MATSUEプロジェクト2. 0事業費

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月～	協業誘致準備業務開始	通年	プロモーション
	秋～冬	ハッカソンプログラム開催		
	12月	RubyWorld Conference 2026、Ruby City MATSUE 20周年記念イベント開催		
	2月	MATSUE Tech-Product Award開催		



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	5,890		
負担金補助及び交付金	1,700		
事業費計		7,590	

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
産業経済部ものづくり産業支援センター		アクションプラン推進事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標				
	国内外に強い競争力を持つ中小企業群を実現することを目的に、ものづくり産業の振興を図り、雇用の増加や地域経済の発展・成長につなげていく。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画
			設備導入支援件数（件／年）	17	15	30	30
	目標（何を達成するのか）		デジタル化支援件数（件／年）		11	10	10
	●企業の基盤強化・生産性向上支援 ●人材確保・育成・定着支援 ●新市場開拓支援 ●小規模企業者支援		環境負荷軽減活動支援件数（件／年）		9	5	5
事業概要	●数値目標の目標最終年度：2027(R9)年度 ※数値目標の項目（成果指標）は第5期アクションプラン改定に伴い変更。「IT等導入支援件数」→「デジタル化支援件数」「新分野チャレンジ支援件数」→「環境負荷軽減活動支援件数」※数値目標の目標値は、2025(R7)～2027(R9)年度の合計件数。 ものづくり産業の振興を図るため、「第5期松江市ものづくりアクションプラン（2025～2027）」に基づき、「変化に強い持続可能な企業づくり」を取組目標として、(1)企業の基盤強化・生産性向上支援、(2)人材確保・育成・定着支援、(3)新市場開拓支援、(4)小規模企業者支援などについて補助支援を行う。 ●第5期松江市ものづくりアクションプラン（2025～2027）の補助支援制度 (1)【企業の基盤強化・生産性向上支援】：設備導入支援、デジタル化支援、環境負荷軽減活動支援 (2)【人材確保・育成・定着支援】：人材育成・確保支援、職場環境改善支援 (3)【新市場開拓支援】：販路開拓支援、新製品・新技術開発支援 (4)【小規模企業者支援】：小規模企業者支援						
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画		
	●「第5期ものづくりアクションプラン（2025～2027）」に基づき、「変化に強い持続可能な企業づくり」を目標に支援を実施。 (1)企業の基盤強化・生産性向上支援 (2)人材確保・育成・定着支援 (3)新市場開拓支援 (4)小規模企業者支援 【支援実績（R8.1月末時点）】160件 65,100千円 ●あわせて企業が実施するデジタル化推進への取組などへの支援を実施。		●「第5期ものづくりアクションプラン（2025～2027）」に基づき、「変化に強い持続可能な企業づくり」を目標に支援を実施予定。 (1)企業の基盤強化・生産性向上支援 (2)人材確保・育成・定着支援 (3)新市場開拓支援 (4)小規模企業者支援 ●あわせて企業が実施するものづくりへの関心向上に向けた取組、脱炭素化推進への取組、デジタル化推進への取組などへの支援を実施予定。		●「第5期ものづくりアクションプラン（2025～2027）」に基づき、「変化に強い持続可能な企業づくり」を目標に支援を実施予定。 (1)企業の基盤強化・生産性向上支援 (2)人材確保・育成・定着支援 (3)新市場開拓支援 (4)小規模企業者支援 ●あわせて企業が実施するものづくりへの関心向上に向けた取組、脱炭素化推進への取組、デジタル化推進への取組などへの支援を実施予定。		
	達成度						
	計画目標に向けて順調に推移						
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
	事業費		47,695	60,184	65,100	40,184	-20,000
	国・県支出金		0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0
	その他		30,090	31,200	31,200	20,000	-11,200
課題	一般財源		17,605	28,984	33,900	20,184	-8,800
	歳入合計		47,695	60,184	65,100	40,184	-20,000
課題	●原油・原材料価格の高騰や人材確保難など、市内企業を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が継続している。また昨今では業務やプロセスの変革を目指すIT化・DX化への取組や、脱炭素社会の実現に向けて、環境に配慮した事業の構築に取り組む動きが加速している状況である。このように事業環境及び課題が刻々と変化する状況下において、企業が抱える課題を的確に把握し、ニーズに沿った支援策を構築していく必要がある。			●刻々と変化する事業環境及び課題に対応できる企業づくりを支援するため、R7年3月に策定した「第5期ものづくりアクションプラン（2025～2027）」に基づき、目標を「変化に強い持続可能な企業づくり」と定め、各種支援策を実施していく。 また、製造業支援専門員を中心に、当センター全職員による企業訪問をベースとした相談体制の拡充・強化を図っていく。			方向性

産業経済部ものづくり産業支援センター アクションプラン推進事業費

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	ものづくりアクションプラン推進事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	補助支援制度説明会		
	4月～3月	各補助金募集		
	11月、3月	ものづくり振興会議(2回)		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	180		
旅費	4		
負担金補助及び交付金	40,000		
事業費計			40,184

令和8年度 総合計画実施計画

所 属	事 業 名
産業経済部新産業創造課	MATSUE起業エコシステム推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	起業や新ビジネスの創出環境や魅力的な就業環境を整え、雇用や新産業を生み出し、地域経済の活性化の好循環、若い世代の定住やUターンにつなげ、地方創生を実現する。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		創業数(新設法人数)(社)	105	120	125	130	145
		創業相談支援件数	1,010	1,070	1,170	1,270	1,470
	目標（何を達成するのか）						
	起業や新ビジネス創出を志す者の挑戦を地域の産学官金がノウハウを提供しあいながら実現まで支援する環境「MATSUE起業エコシステム」を形成する。	起業等の事業化件数	4	4	4	4	17

事業概要	(数値目標の目標年度)創業数:2030(R12)年度、創業支援相談件数:2029(R11)年度、起業等の事業化件数:2022(R4)から2026(R8)年度までの累計値 (1)コミュニティ運営:コミュニティ「MIX」を活用し、チャレンジャーや支援機関が良質な出会いと学びを得るため、イベント、交流会、勉強会等の企画運営、アントレプレナーシップ教育や他の創業支援施設との連携を行う。 (2)事業化支援・人材育成:事業化集中支援プログラム(アクセラレータープログラム)をブラッシュアップして開催する。 (3)開発支援金:新規創業の創出を目的に、新製品や新規サービス開発の「試作品作り」などへ支援金を交付する。 (4)アントレプレナーシップ教育:アントレプレナーシップ教育を育む目的で実施するプログラムの運営費を補助することで、学生の挑戦を支援し、地域に対するプロモーションを併せて行う。 (5)プロモーション:学生、地元企業等へ向けた市内向けプロモーション、市外の起業家、企業、ベンチャーキャピタル等に向けた市外向けプロモーションを展開する。

事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画	R9計画
	1. コミュニティ運営 ・イベント開催数: 47回 ・イベント参加者数(延べ): 1,138人 2. 事業化支援・人材育成(リサーチソン/アイデアソン) ・リサーチソン: 事業オーナー4組、サポーター4名 ・アイデアソン: 事業オーナー4組、サポーター4名 3. アントレプレナーシップ教育 ・エントリー数: 19組 ・人数: 35人	1. コミュニティ運営 ・コミュニティ「MIX」の運営 2. 事業化支援・人材育成(リサーチソン/アイデアソン) ・事業化支援プログラムの開催 3. 開発支援金 ・起業家の試作品作りなどの支援 4. アントレプレナーシップ教育 ・アントレプレナーシップ教育事業補助金 5. プロモーション ・市内外へのプロモーション	1. コミュニティ運営 ・コミュニティ「MIX」の運営 2. 事業化支援・人材育成(リサーチソン/アイデアソン) ・事業化支援プログラムの開催 3. 開発支援金 ・起業家の試作品作りなどの支援 4. アントレプレナーシップ教育 ・アントレプレナーシップ教育事業補助金 5. プロモーション ・市内外へのプロモーション
	達成度		
	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		17,663	13,400	13,400	13,833	433
財 源 内 訳	国・県支出金	8,458	6,666	6,666	6,666	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	516	0	0	500	500
	一般財源	8,689	6,734	6,734	6,667	-67
歳入合計		17,663	13,400	13,400	13,833	433

課題	①起業家同士や専門家、支援者等との交流・相談機会の不足 ②事業化支援プログラムの認知不足、プログラム後の事業化に向けた支援体制の不足 ③起業準備中の方段階に必要な資金支援制度の不足	方向性	①先輩起業家との交流イベント、土業と連携した相談会などの拡充 ②コミュニティとの接続機会の創出、プログラム後の壁打ちなどフォロー体制の整備 ③ふるさと納税を活用した起業家の試作品作りなどへの支援金制度による事業化の支援
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	MATSUE起業エコシステム

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	起業家向けコミュニティ「MIX」の運営	通年	SNS運用等プロモーション
	7月～12月	事業化支援プログラム実施		
	通年	開発支援金		
	4月～2月	アントレプレナーシップ教育事業補助金による支援		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	13,833		
事業費計			13,833

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
産業経済部商工企画課		松江工芸品の魅力発信と担い手育成事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	手仕事の価値に光を当て、国内外に発信することで、若い世代の希望を生み出す個性豊かで地域の特色を生かした産業と雇用の創出に繋げる。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		工芸品販売額(千円)	12,167	5,053	8,745	9,870	13,300
	目標（何を達成するのか）						
	工芸作家が実施する販路開拓、商品開発を推進し、松江工芸の魅力を発信する。						
事業概要	魅力発信事業 ・工芸作家が参加する工芸品の展示会や販売イベントの開催支援 ・松江工芸の魅力を発信するWEBサイト等の運営 魅力向上事業 ・松江工芸の認知度向上や販売支援等を行う専門家の招聘支援						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	○イベントの開催支援 「野崎千愛季創作人形展」、「Kプロジェクト展」を開催し、工芸品の展示販売や作家によるギャラリートークを実施 ○松江工芸の魅力発信 webサイト(松江のこしらえ)での情報発信 ○クラフトフェアの開催支援	○展示販売会等イベントの開催支援 ○松江工芸の魅力発信 ○専門家招聘イベントの開催支援 ○クラフトフェアの開催支援		○展示販売会等イベントの開催支援 ○松江工芸の魅力発信 ○専門家招聘イベントの開催支援 ○クラフトフェアの開催支援			
	達成度						
	計画目標に向けて順調に推移						
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		642	512	512	512	0	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	642	512	512	512	0	
歳入合計		642	512	512	512	0	
課題	・個々で活動していることから松江工芸としての情報発信が必要 ・販売する機会が少なく経済的に厳しいため、知ってもらい、買ってもらう場の増加が必要		方向性	・工芸の魅力を情報発信し、認知度向上につなげる ・販路開拓の機会を増やすため、展示商談会への出展や商品開発を支援する			

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	松江工芸の魅力発信と担い手育成事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	工芸品の展示会、販売イベントの開催支援及び専門家の招聘支援		

本事業に関する主要データ

松江工芸の魅力発信と担い手育成事業の様子

野崎千愛季創作人形展

開催日：令和7年9月13日(土)～28日(日)

会 場：カラコロ工房 地下ギャラリー

内 容：人形作家による展示会
ギャラリートーク





ギャラリートークの様子

松江Kプロジェクト展

開催日：令和7年11月7日(金)～9日(日)

会 場：カラコロ工房 地下ギャラリー

内 容：6名の工芸作家による展示販売会
ギャラリートーク





展示販売会の様子

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
使用料及び賃借料	12		
負担金補助及び交付金	500		
事業費計			512

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名					
産業経済部新産業創造課		海外産業連携推進事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	台湾、インド、アメリカと松江市との産業連携の推進	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		数値目標の設定にはなじまない					
	目標（何を達成するのか）						
	●台湾、インド、アメリカへの海外展開に関する地元企業のニーズ把握 ●台湾、インド、アメリカ側の産業連携ニーズの発掘						
事業概要	台湾、インド、アメリカを訪問し、行政機関、経済団体、企業などと協議、ビジネスにつながるレベルでの産業連携を推進する。 ●台湾 JETROの海外活動支援等を受けながら、製造業、IT産業を中心とした産業連携推進に向けて台湾を訪問する。 ●インド JETROの海外活動支援等を受けながら、ケララ州との経済連携覚書に記載している重点9分野を中心とした産業連携や人材交流の拡充に向けてインドを訪問する。 ●アメリカ JETROの海外活動支援等を受けながら、新たな経済交流の構築と海外ビジネス連携の可能性を探るため、シリコンバレーを訪問する。						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	【台湾】 ・2025年8月7～11日:台北市長面会、RubyConf.TAIWAN参加、Ruby開発企業「5xRuby」との交流推進覚書締結 ・2026年2月6～9日:建国花市参加 【インド】 ・2025年10月14～19日:ケララ州とのMOU更新のため訪印、ジャパンメラ参加 【アメリカ】 ・2025年11月10、11日:工芸品バイヤーを招へいし商談会実施(ジェットロ連携事業)	【台湾】 ・2026年6月24～27日 FOOD台北参加予定 ・2027年2月 建国花市参加予定 【インド】 ・2026年10月 山陰インド協会経済視察団参加予定 【アメリカ】 ・2027年2月 シリコンバレー訪問予定		【台湾】 ・2027年6月 FOOD台北参加予定 ・2028年2月 建国花市参加予定 【インド】 ・2027年10月 山陰インド協会経済視察団参加予定			
	達成度						
	計画目標に向けて順調に推移						
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		4,262	9,438	9,438	6,188	-3,250	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	425	0	0	0	0	
	一般財源	3,837	9,438	9,438	6,188	-3,250	
歳入合計		4,262	9,438	9,438	6,188	-3,250	
課題	【台湾】IT・食品・観光等の分野で、圏域企業と台湾企業が連携し、新たな技術やサービス、製品を創出できるビジネス連携の仕組みづくりが課題。 【インド】更新したMOUの着実な実施体制・仕組みづくりが課題。 【アメリカ】「起業・事業化支援」「海外連携」を一層加速するための関係性づくりが課題。		【台湾】TJPOと連携した実証実験の実施を目指し、デジタル技術を活用した地域課題解決モデルの実装を進め、圏域企業と台湾企業の継続的な連携体制を構築する。 【インド】MOUに付随する実施計画に沿って、インド企業とのビジネス連携を推進する。 【アメリカ】投資家・支援機関等を訪問し、起業・事業化につながる連携案件創出を目指す。				
			方向性				

海外産業連携推進事業費

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	海外産業連携推進事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	【台湾】FOOD台北参加		
	10月	【インド】山陰インド協会経済視察団参加		
	2月	【台湾】建国花市参加		
	2月	【アメリカ】シリコンバレー訪問		

本事業に関する主要データ

松江市、中津・穴通川・大山郡城市長会と台湾・台北市の交流経緯			
2006(H18)	「香林前建設市」にて地方の知事(以降毎年参加)	2023(R5)	「香林前建設市」にあり松江市長・松江市議会議長・米子市長・福寿市長、松江・米子・福寿高工会議所会館ら参加。台北市府・台湾経済団体などを訪問
2007(H19)	「香林前建設市」にて(松江市対月)ネットアップセッション(松江市長訪問)		
2010(H22)	「2010台北国際花卉博覧会」開会式参加(松江市長・松江市議会議長参加)	2023(R5)6月	郡城市長会としてフッド台北に出席参加
2012(H24)	台北市副市長が来松 台北遠東銀行(松江市)に(以降毎年参加)	2023(R5)10月	台北市立大学学長が来松
		2023(R5)12月	RubyConf.TAIWANに台北市府とともに参加
2013(H25)	「香林前建設市」にて郡城市長会ブース出展(以降2014年、2015年、2020年出展)	2024(R6)2月	「香林前建設市」にあり台北市・台北市府、台北市立大学、IT企業、台湾経済団体などを訪問
2014(H26)	松江市・台北市で交流促進委員会結成	2024(R6)6月	郡城市長会付IT企業出身国際交流員来松
2019(R1)	「香林前建設市」にあり郡城市長・福寿・高工会議所会館参加	2025(R7)1月	「香林前建設市」にあり台北市府、台北市立大学、台湾経済団体などを訪問
2022(R4)	郡城市長会・台北市で交流促進委員会結成	2025(R7)6月	RubyConf.TAIWANに参加、「5+Ruby(台湾IT企業)」と人材開発・特別交流を目的とした集客開始
		2026(R6)2月	「香林前建設市」にあり台北市
松江市、中津・穴通川・大山郡城市長会とインド・ケララ州の交流経緯			
2012(H24)	中津市記念館開館	2018(H30)	ジェトロ松江/福ジェトロ島根/インドデラス開館
2013(H25)	山陰インダ協会の設立		松江市インド出身国際交流員来松
2014(H26)	松江・米子・出雲・安芸・備前5市市長、インド経済発展局に参加		「島根大学」「SCMS」学生交流協定締結
2015(H27)	「中津・穴通川・大山郡城市長会」ケララ州政府、経済文化発展局結成 「中津・穴通川・大山」ブロック経済協議会、「岡山県工会議所ケララ・経済文化発展局結成」 郡市内企業によるODA中小企業海外展開事業開始(2018年から郡城市長会事業)	2019(R1)	ケララ州議院、ある政府代表団来松
		2023(R5)10月	山陰インダ協会のインド経済発展局に参加(市としても年2回訪問) (ケララ州政府・印日高工会議所ケララと提携)
2016(H28)	松江・インド人材関係・企業進出推進事業開始(2018年から郡城市長会事業) 「島根大学」「JGPI」学生交流協定締結	2024(R6)10月	印日高工会議所JNAC(中津、MOU更新に向けた協議)
		2024(R6)12月	山陰インダ協会のインド経済発展局に参加(毎年2回訪問)、MOU更新に向け協議
2017(H29)	「島根大学」「JGPI」島根県大学・学生交流協定提携 第1回「JAPAN HEILA(関係)ケララHIC(中津)」・郡市内企業出展	2025(R7)10月	山陰インダ協会のインド経済発展局に参加、MOU更新・JAPANEELAに参加
アメリカと北アジア交流経緯			
2023(R5)7月	シカゴブルー・協賛(投資家、スタンフォード大学等)		
2025(R7)11月	工芸品バイヤーを招へいし商談会を実施		

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	2,780		
需用費	20		
委託料	1,419		
使用料及び賃借料	169		
負担金補助及び交付金	1,800		
事業費計		6,188	

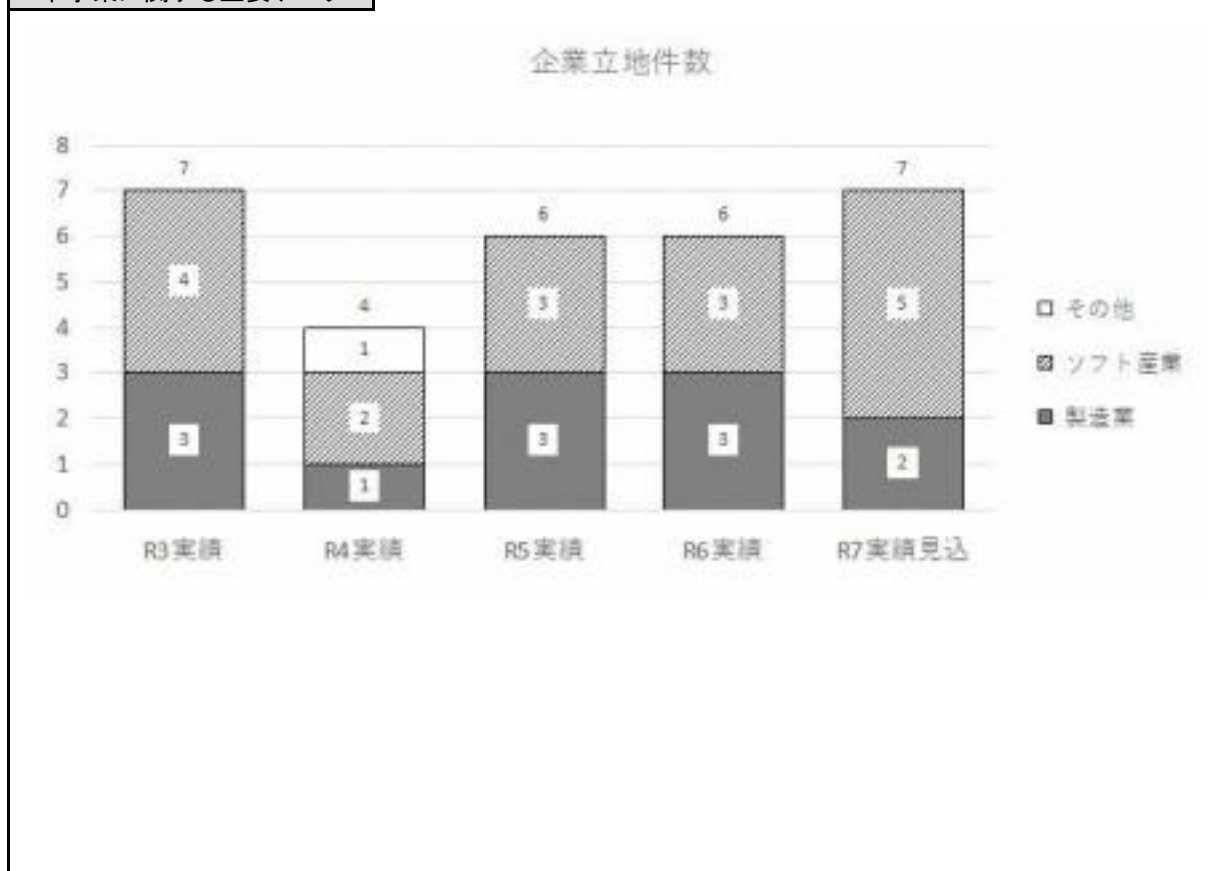
令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
産業経済部定住企業立地推進課		企業立地奨励補助金						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	補助制度を活用し、市内外からの企業立地を推進する。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			誘致・新增設企業数	30	37	40	43	51
	目標（何を達成するのか）							
	企業立地の推進により、雇用の場の拡大と定住促進を図る。							
事業概要	(数値目標の目標年度) 誘致・新增設企業数【累計値】: 2029(R11)年度							
	松江市企業立地奨励条例に基づく奨励措置 ・立地奨励金(固定資産税相当額(3年間)) ・用地取得助成金(市有地購入代金の30%以内【限度額3億円】) ※ソフトビジネスパーク島根は15% ・雇用促進奨励金: 30万円／人(5人以上、正規雇用)							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	・立地奨励金 13件 ・雇用促進奨励金 4件 ・用地取得助成金 4件		・立地奨励金 9件 ・雇用促進奨励金 8件 ・用地取得助成金 2件		・立地奨励金 9件 ・雇用促進奨励金 7件 ・用地取得助成金 1件			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		135,020	224,830	259,949	158,643	-66,187	
	国・県支出金		0	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		110,000	179,150	179,150	0	-179,150	
	一般財源		25,020	45,680	80,799	158,643	112,963	
歳入合計		135,020	224,830	259,949	158,643	-66,187		
課題	・IT系ソフト産業では全国的に人材が不足し、確保に苦慮している。 ・分譲を行っている企業団地において紹介可能区画がわずかなとなっている。		方向性	・松江市独自の補助制度のPRを実施していく。 ・誘致企業のフォローアップを実施し、企業と求職者とのマッチングにつなげていく。 ・未売却となっている企業団地の売却に努めるとともに、新企業団地造成に向けた調整を早急に進める。				

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	企業立地推進事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	雇用助成金交付		
	随時	用地取得助成金交付		
	1～3月	立地奨励金交付		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	158,643		
事業費計			158,643

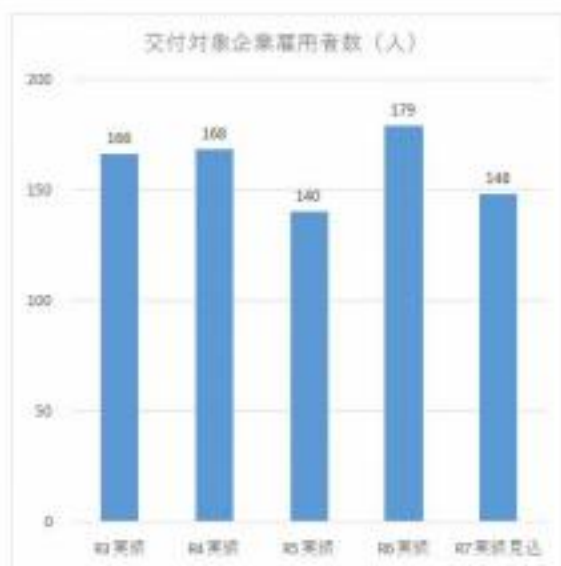
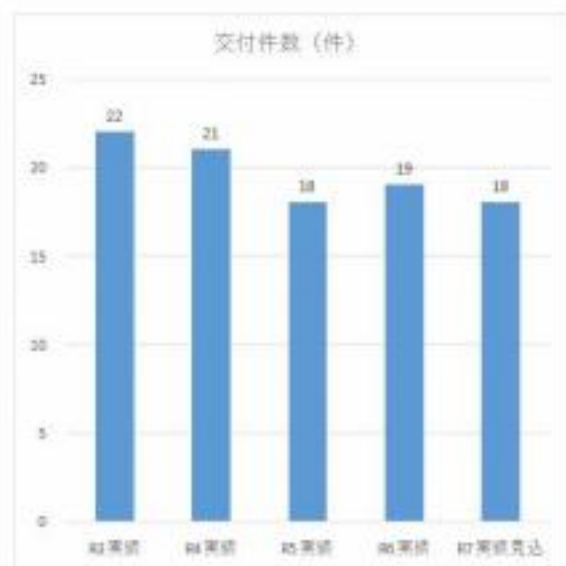
令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
産業経済部定住企業立地推進課		情報サービス産業等立地促進補助金					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	情報サービス産業等のオフィス進出にかかる経費の一部を助成することにより、市内への企業進出を促進する。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		数値目標の設定にはなじまない					
	目標（何を達成するのか）						
	企業進出の促進により、雇用機会の拡大を図ることと地元若年層やU・Iターン者をはじめとする若者定住の促進を図る。						
事業概要	オフィス月額賃料の2分の1の額(限度額200,000円/月)を最長8年間補助するもの。						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	補助対象企業数 18社	補助対象企業数 19社		補助対象企業数 16社			
	達成度						
	計画目標に向けて順調に推移						
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費	25,531	26,801	24,336	28,276	1,475	
	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	25,531	26,801	24,336	28,276	1,475	
歳入合計		25,531	26,801	24,336	28,276	1,475	
課題	・IT系ソフト産業では全国的に人材が不足し、確保に苦慮している。		方向性	・不動産情報の確認、取得を行い、企業への情報提供を行っていく。 ・島根県が実施しているIT人材確保施策(都市部ITエンジニアのUターン転職支援など)を、連携して取り組んでいく。			

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	企業立地推進事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	補助金交付申請、交付決定		
	4月	補助金支払手続き		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	28,276		
事業費計			28,276

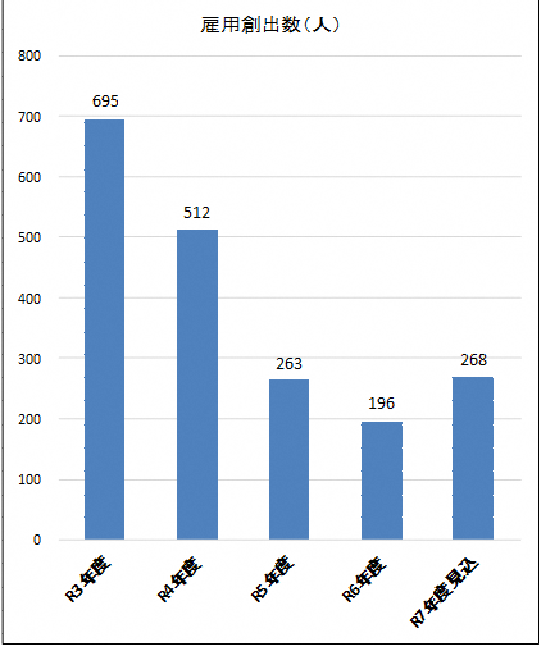
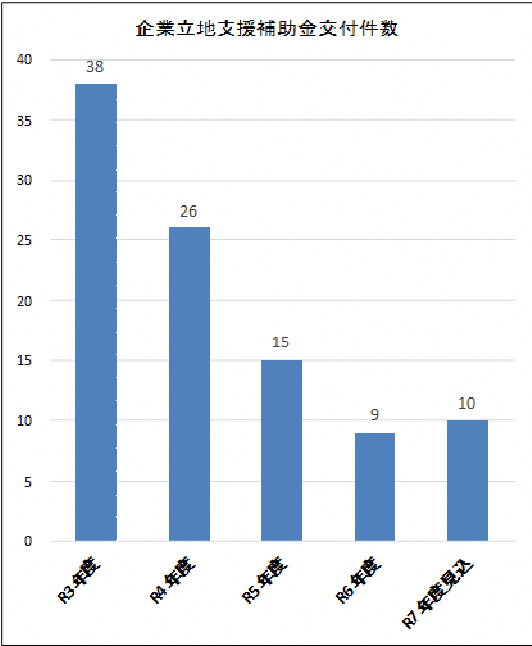
令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名					
産業経済部定住企業立地推進課		企業立地支援補助金					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	企業の支払電気料金の一部を国と市で補助し、地場企業の振興と企業立地を推進する。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		数値目標の設定にはなじまない					
	目標（何を達成するのか）						
	補助金を交付することにより、市内外の企業立地を推進し雇用の場の拡大と市内経済の活性化を図る。						
事業概要	原子力発電施設周辺地域企業立地支援補助金【F補助金（電力給付金）】が給付される企業に対して、市が支払電気料金の10分の4からF補助金（電力給付金）を差し引いた額を最長8年補助し、市内外の企業立地を推進する。						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	補助対象企業数 10社	補助対象企業数 14社					
	達成度						
	計画目標に向けて順調に推移						
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費	16,292	22,074	17,787	20,016	-2,058	
	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	16,292	22,074	17,787	20,016	-2,058	
歳入合計	16,292	22,074	17,787	20,016	-2,058		
課題	近年、電気代が高騰している状況もあり、電気代に対する支援制度があることを、積極的に企業へPRしていくことが必要。		本市に立地する優位性として、電気代に対する支援制度があることを積極的に企業へPRし、企業立地を推進する。市内企業においては、訪問、HP等を通じて補助制度を周知し、企業の再投資を促進する。				
			方向性				

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	企業立地推進事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	3月～5月	補助金交付申請、交付決定、支払手続き		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	20,016		
事業費計			20,016

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
産業経済部定住企業立地推進課		特定地域づくり推進事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	人口急減地域において、地域の重要な担い手である人材が安心して活躍できる環境の整備を図り、併せて地域づくり人材の確保とその活躍を推進することで、地域の維持と経済の活性化に資することを目的とする。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			組合の事業エリア数（地区数）	3	4	5	6	8
			組合員数(者)	5	10	13	15	24
			派遣職員数(人)	3	7	15	17	20
目標（何を達成するのか）								
地域全体で複数の事業者の仕事を組み合わせることで年間を通じた仕事を創出し、安定的な雇用環境と一定の給与水準を確保した職場を作り出し、地域の担い手確保の取り組みを推進する。								
事業概要	(数値目標の目標年度) 組合の事業エリア数（地区数）：2029(R11)年度							
	「地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律」に基づき島根県が認定した特定地域づくり事業協同組合へ交付金を交付する。							
	組合の事業エリアについては、令和11年度末までに8地区に増やすことを目標とする。							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	組合に参加する事業所や派遣職員が増え、安定的な雇用環境を確保することができた。		組合への参加事業所を増やすことにより規模の拡大を図る。 事業エリアの拡大も引き続き目指していくほか、広く制度の周知を図る。					
	【補助対象組合数 1組合】 ○組合員数 10者 ○派遣職員数 7人（見込）		【補助対象組合数 1組合】					
	達成度							
計画目標に向けて順調に推移								
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		2,320	13,468	11,935	18,776	5,308	
	国・県支出金		1,160	6,734	5,967	9,388	2,654	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		1,160	6,734	5,968	9,388	2,654	
歳入合計		2,320	13,468	11,935	18,776	5,308		
課題	組合の安定した運営のためには、派遣職員と派遣先（組合員）の確保が必要。		派遣職員の確保については、組合のホームページやSNSの活用はもとより、県が主催する移住関係イベントでのPRも積極的に行っていく。					
			方向性					

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	特定地域づくり推進事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	R8.4月	松江市特定地域づくり事業推進交付金申請受付		
	R9.3月	松江市特定地域づくり事業推進交付金の確定及び支払い		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	18,776		
事業費計			18,776

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
産業経済部商工企画課		生活応援おまっちょお買物券配布事業費(物価等高騰対策事業)					
事業の目的と目標	目的(何のために)		数値目標				
	食料品等の物価高騰による市民生活の負担増を踏まえ、一人あたり5,000円分のお買物券を配布することで、市民全員の生活を支援するとともに、地域経済の活性化を図る。	項目(成果指標)	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		数値での目標設定になじまないため空欄					
	目標(何を達成するのか)						
事業概要	市民の生活支援及び地域内の消費喚起を図るため、一人あたり5,000円分のお買物券を市民全員に配布し利用頂く。						
	食料品等の物価高騰による市民生活の負担増を踏まえ、一人あたり5,000円分のお買物券を配布することで、市民全員の生活を支援するとともに、地域経済の活性化を図る。						
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画		
			・システム構築及び運用 ・お買物券作成・発送 ・利用可能店舗の募集・管理 ・コールセンター設置・運営 ・事業広報 ・換金精算業務				
	達成度						
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8	
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
	事業費		0	0	0	1,200,000	1,200,000
	国・県支出金		0	0	0	1,200,000	1,200,000
	地方債		0	0	0	0	0
	その他		0	0	0	0	0
	一般財源		0	0	0	0	0
課題	歳入合計		0	0	0	1,200,000	1,200,000
	○市民や加盟店舗にとって利用しやすいお買物券にするため、事業実施体制やシステムの構築・運用、お買物券の利用方法等を検討する必要がある。 ○加盟店舗の募集・管理については、地域の経済団体や企業と連携し、多くの市内店舗に協力いただけるよう事業を進める必要がある。		方向性		○お買物券をデジタル利用または紙利用の両方に対応するものとして、利用者が自由に選択できるものとする。 ○各種広報媒体等の活用や、地域経済団体等との連携をしながら、市内多数の店舗の参加を促す。		

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	生活応援おまっちょお買物券配布事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	加盟店舗の募集開始・管理	6月中旬	お買物券発送
	4月	お買物券の作成・発送準備	9月末	お買物券利用終了
	4月	システムの構築・運用		
	4月	コールセンター設置・運営		

本事業に関する主要データ

食料品やエネルギーの価格高騰等の影響を受けている市民生活を支援するため、すべての市民に一人あたり5,000円分の商品券（デジタル券・紙券）「生活応援 おまっちょ お買物券」を配布する。

【対象者】すべての市民の皆様
（令和8年5月1日時点の住民票登録者）

【配布方法】郵送（世帯ごと）

【利用期間】お手元に届いた日～令和8年9月30日

【スケジュール】
～3月末：事業者選定・決定
4月～：お買物券が利用できる市内店舗（事業者）募集
6月中旬：お買物券発送

【お買物券イメージ】

スーパーや飲食店
などで使えるよ！

スマホに読み込
んでも使えるよ

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,200,000		
事業費計			1,200,000

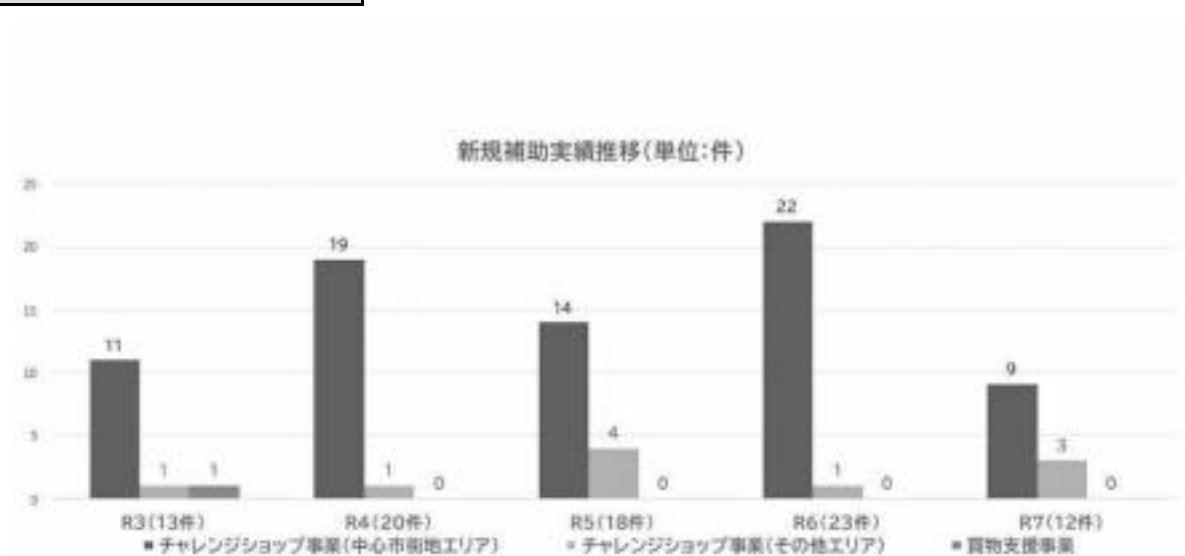
令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
産業経済部商工企画課		商業活性化支援事業費補助金						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	人口減少やネット通販の発達など地元商業者にとって厳しい商業環境であるが、意欲ある商業者に対し支援することで、商業機能の維持・拡大を図る。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			新規出店件数（中心市街地エリア）	22	9	15	15	15
目標（何を達成するのか）								
・地域経済の活性化 ・買物不便地域の解消								
事業概要	地域において工夫した商業の新たな仕組みづくりや地域商業の活性化、商業機能の維持・向上などの積極的な取り組みを支援することによって地域経済の活性化と商業の振興に寄与する。 ①松江市中心市街地活性化基本計画（以下、基本計画）で設定された区域内や商工会管内の一部地域の空き店舗に出店する際の家賃等への補助（チャレンジショップ事業） ②買物不便地域解消につながる取り組みへの補助（買物支援事業） （数値目標の目標年度） 項目名 空き店舗等への新規出店件数：2029（R11）年度							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	チャレンジショップ事業は新規で12事業者、継続で12事業者に対して補助。		・遊休不動産を活用したりリノベーションを進める。 ・商工会議所、商工会と連携し経営支援の充実を図る。 ・買物支援事業によって買物不便地域の解消に繋げていく。					
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8			
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較		
事業費		24,675	27,000	16,477	24,500	-2,500		
財源内訳	国・県支出金	12,259	13,500	8,235	12,250	-1,250		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	12,416	13,500	8,242	12,250	-1,250		
	歳入合計	24,675	27,000	16,477	24,500	-2,500		
課題	支援した事業者が地域に定着し、持続的に地域商業の活性化に寄与できるように、サポートを実施していく必要がある。		新規出店する事業者や空き店舗を抱える商店街等のニーズを把握しながら、より使いやすい支援内容となるよう随時検討していく。 また、支援した事業者の定着率向上に向け、出店当初の計画作成から事業着手後のフォローについても引き続き商工会議所・商工会等と連携しサポートを行っていく。					
		方向性						

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	こんなに面白い商店街って松江にしかない
	主要施策	空き家・空き店舗などの有効活用によるまちづくりの推進

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	R7年10月	補助金交付		
	R8年3月	県補助金請求		
	R8年4月	補助金交付		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	24,500		
事業費計			24,500

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
まちづくり部住宅政策課		空き家利活用・適正管理促進事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	○利活用や適正管理が行われていない空き家の減少を図ることで、地域の活性化及び安心して暮らし続けられる住環境を確保する。 ○老朽空家等の周辺の生活環境を改善し、安全・安心に生活できる環境を確保する。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			空き家バンク新規登録件数(件)	13	9	20	30	30
	目標（何を達成するのか）		空き家バンク等による活用件数(件)	16	16	35	44	44
	「第2次松江市空家等対策計画」に基づき、空き家バンクや空き家関連補助事業等により、空き家の利活用と適正な管理の促進を図る。		老朽空家等に対する措置(件)	3	1	2	6	6
事業概要	【主な事業内容】 ○空き家に関する相談事業（空き家に関する様々な相談にワンストップで対応できる相談窓口を運営する。） ○空き家バンク事業（空き家の所有者と購入希望者のマッチングを行う。） ○中古木造建築物改修及び除却支援事業（中古木造建築物の取得者が行う改修や除却に対しその費用の一部を補助する。） ○老朽空家等改善指導及び除却支援事業（老朽空家等の所有者に対し、必要な措置を講ずるよう指導等を行う。また、所有者が除却をする際の除却費の一部を補助する。） ○小規模住宅団地整備支援事業（小規模団地の開発者に対して開発道路整備費や既存空き家除却費の一部を補助する。） ○松江市空家等対策協議会（本市に必要な施策等について協議する。）							
	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	○空き家に関する相談支援事業 問題解決件数 13件 ○空き家バンク事業 登録 9件、成約 8件 ○中古木造建築物改修・除却支援 改修 8件、建替除却 11件 ○老朽空家等の除却支援 1件 ○小規模住宅団地整備支援 0件 ○老朽空き家除却跡地活用によるポケットパーク等設置補助 0件		○空き家に関する相談支援事業 問題解決件数 15件 ○空き家バンク事業 登録 20件、成約 20件 ○中古木造建築物改修・除却支援 改修 15件、建替除却 13件 ○老朽空家等の除却支援 2件 ○小規模住宅団地整備支援 1件 ○老朽空き家除却跡地活用によるポケットパーク等設置補助 1件 ○空き家バンク登録支援 10件		○空き家に関する相談支援事業 問題解決件数 15件 ○空き家バンク事業 登録 20件、成約 20件 ○中古木造建築物改修・除却支援 改修 18件、建替除却 10件 ○老朽空家等の除却支援 6件 ○小規模住宅団地整備支援 1件 ○老朽空き家除却跡地活用によるポケットパーク等設置補助 1件 ○空き家バンク登録支援 10件			
	達成度							
	計画目標に向けて進捗はやや遅れている							
事業の成果及び実績	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		20,175	28,907	19,869	45,375	16,468	
	財源内訳	国・県支出金	4,784	11,398	7,562	14,271	2,873	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	1,000	600	0	6,456	5,856	
		一般財源	14,391	16,909	12,307	24,648	7,739	
歳入合計		20,175	28,907	19,869	45,375	16,468		
課題	(1)「空き家バンク」登録物件の成約率は80%以上と高いが、登録件数が少ないため、登録物件を増やし、空き家や中古住宅の流通を促進する必要がある。 (2)「空き家バンク」や各補助事業の周知をより積極的に進めていく必要がある。				方向性	(1) 空き家バンク登録を支援する補助制度について周知を図るとともに、空き家バンク制度に掲載していただきやすい制度となるよう先進事例など研究してまいる。 (2)「市報松江」やHPIに加えて、デジタルサイネージ等様々な媒体を活用し、専門家にすばやく相談できる環境を備えた『空き家相談窓口』や、空き家バンク登録を支援する補助制度など各種補助制度などの情報を広く発信するとともに、意識の啓発を図る。		

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	こんなに面白い商店街って松江にしかない
	主要施策	空き家・空き店舗などの有効活用によるまちづくりの推進

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	空き家バンク事業および各種補助事業	7月	空家等対策協議会の実施
	通年	老朽空家等の所有者への除却等の管理に関する助言・指導	11月	空家等対策協議会の実施
	通年	空家等管理活用支援法人との連携	2月	空家等対策協議会の実施
	5月	空家等対策計画・マンション管理適正化推進計画策定業務委託の実施		

本事業に関する主要データ	
空き家バンク事業の実績	
(単位：件)	
	H25～H28年度 H29年度 H30年度 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 (累計A)
登録件数(売買)	48 4 8 8 7 9 8 8 13 8
登録件数(賃貸)	0 0 0 0 0 0 0 0 8 3
計	48 4 8 8 7 9 8 8 21 11
成約件数(売買)	38 7 7 7 6 4 5 5 4 8
成約件数(賃貸)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
計	38 7 7 7 6 4 5 5 4 8
中古木造住宅取得等支援事業補助金交付実績	
(単位：件)	
	H25～H28年度 H29年度 H30年度 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 (累計A)
取得	190 28 7 11 11 13 15 15 12 8
賃貸利用等	30 7 11 11 13 9 6 6 10 11
計	220 35 18 22 24 22 21 21 22 19

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,648	工事請負費	6,466
職員手当等	915	負担金補助及び交付金	15,707
共済費	578		
旅費	51		
需用費	173		
役務費	193		
委託料	18,644		
事業費計			45,375

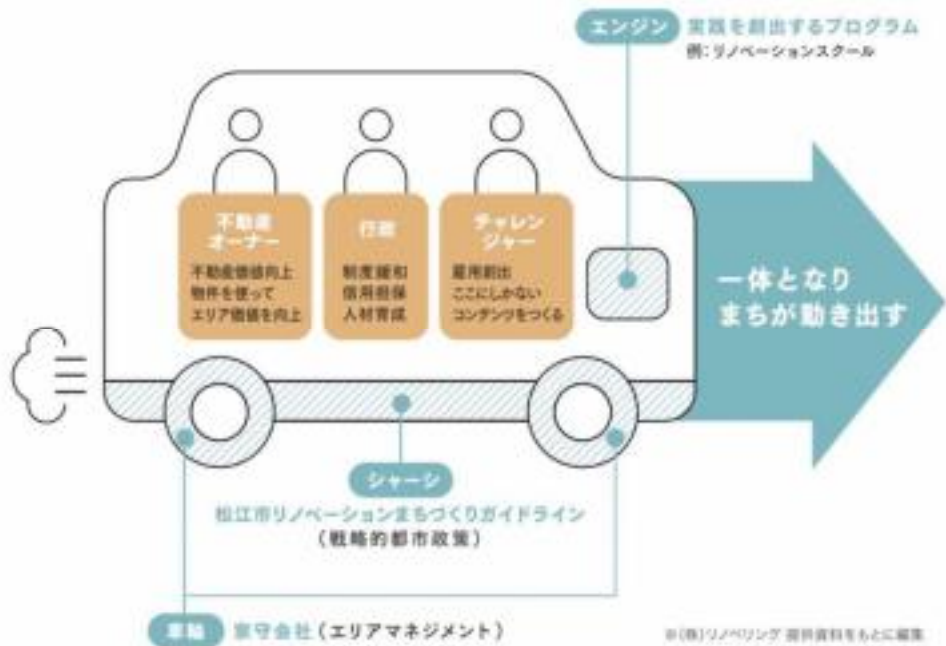
令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
まちづくり部都市政策課		まちのRe-project事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	中心市街地エリアビジョンに掲げる「遊休不動産を活用した多様なコンテンツの集積と世代間交流の促進」に向けて、遊休不動産の活用を進めることで、まちなかの再生と地域全体の活性化を目指す。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			都市再生推進法人の認定数【累計値】	1	1	2	2	3
			新規出店件数(中心市街地エリア)	22	9	15	15	15
目標（何を達成するのか）								
遊休不動産の活用によりエリアの価値向上を図る「エリアリノベーション」の推進により、遊休不動産を活用した実践事例をつくり、地域の人材育成と遊休資産活用、雇用の創出、居住の促進を図る。								
事業概要		リノベーションまちづくりを推進するため、遊休不動産の所有者に対して当事業の情報提供・空き家空き店舗利活用意向調査を行うことで、新たな遊休不動産の掘り起こしを行い利活用につなげる。 また、リノベーションまちづくりガイドラインを活用した普及啓発に取り組むとともに、SNSや動画を活用した情報発信を強化する。 さらに、R5年度より都市再生推進法人の指定を開始し、官民連携でのまちなか再生を推進する。						
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	・遊休不動産の掘り起こしと不動産オーナーへの協力依頼(3月発送予定) ・SNSを活用した情報発信 ・リノベーションまちづくりガイドライン等を活用した普及啓発(2件11部配布) ・都市再生推進法人の指定および業務連携		・遊休不動産の掘り起こしと不動産オーナーへの協力依頼 ・SNSを活用した情報発信 ・リノベーションまちづくりガイドライン等を活用した普及啓発 ・都市再生推進法人の指定および業務連携		・遊休不動産の掘り起こしと不動産オーナーへの協力依頼 ・SNSを活用した情報発信 ・リノベーションまちづくりガイドライン等を活用した普及啓発 ・都市再生推進法人の指定および業務連携			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6		R7		R8	
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		5	72	72	34	-38	
	国・県支出金		0	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		5	72	72	34	-38	
歳入合計		5	72	72	34	-38		
課題	・中心市街地等のまちなかの不動産が空き家・空き店舗として遊休化、駐車場として低未利用化するスポンジ化が進行 ・建築物の除却・新築を中心とする市街地再開発はリスクを伴うため、既存のストックを活用した再生手法への転換が必要		方向性	・中心市街地を主要なエリアとして遊休不動産活用による起業や居住の促進を図る ・遊休不動産を活用しエリアに必要なコンテンツの創出を図る ・小規模な民間投資を連鎖的に呼び込むことにより雇用の創出を図るとともに、エリアの不動産価値の上昇による魅力向上を目指す				

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	こんなに面白い商店街って松江にしかない
	主要施策	空き家・空き店舗などの有効活用によるまちづくりの推進

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～7月	都市再生推進法人ヒアリング(R7報告・R8計画)		
	4月～翌3月	遊休不動産調査・オーナーへの協力依頼・SNS発信		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	34		
事業費計			34

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
産業経済部商工企画課		職人商店街創出事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	中心市街地商店街の活性化		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			職人商店街店舗認証数(件)	0	14	2	2	20
	目標（何を達成するのか）							
	中心市街地に多彩な伝統工芸などが集まる「職人商店街」の創出							
事業概要	中心市街地に多彩な伝統工芸等が集まる「職人商店街」の創出を目指し、熟練の技を「観て・体験できる」店舗づくりや、現代工芸等の新規出店・店舗リノベーションを支援する。また、中心市街地の回遊性向上に向けた取組みを支援する。							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	○店舗のリノベーション支援 ・新規店舗の整備(現代工芸) ○賛同店舗の広報支援 ・職人商店街認証制度を創設 ・既存店舗で既に「観える化」、「体験提供」に取り組む店舗を認証 ○工芸作家のまちなか出店 ・トライアルスペースでのお試し出店支援 ○賑わいづくり支援 ・回遊性向上に繋がるソフト事業支援		○店舗のリノベーション支援 ・新規出店、既存店舗の整備(伝統工芸、現代工芸) ○工芸作家のまちなか出店 ・トライアルスペースでのお試し出店支援 ○賑わいづくり支援 ・回遊性向上に繋がるソフト事業支援 ○職人商店街の広がり ・既存店舗で既に「観える化」、「体験提供」に取り組む店舗を認証し、店舗数拡大を図る		令和8年度の取組み内容を踏まえて実施内容を検討する。			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		4,669	17,500	6,442	15,500	-2,000	
	国・県支出金		0	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		4,669	0	0	0	0	
	一般財源		0	17,500	6,442	15,500	-2,000	
歳入合計		4,669	17,500	6,442	15,500	-2,000		
課題	・伝統工芸などの手仕事を生業とする工芸作家のまちなかへの出店 ・観える化、体験の提供を行う店舗の創出 ・点在する店舗を結びつけ回遊性を高める仕組みづくり			民間のまちづくり会社と連携し、空き家・空き店舗の活用も進め、中心市街地商店街の賑わい創出を図る。				
	方向性							

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	こんなに面白い商店街って松江にしかない
	主要施策	空き家・空き店舗などの有効活用によるまちづくりの推進

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	職人商店街創出支援事業補助金		

本事業に関する主要データ

「職人商店街」の形成に向けて「匠」の技を「観て・体験できる」店舗づくりを支援する。併せて、認証店舗の拡大及び店舗のつながりによる回遊性の向上を図る。

観て・体験できる店舗づくり

○店舗のリノベーション支援
(既存店舗・新規出店)

【例】蕎麦打ちを体験できる蕎麦屋の改修（体験の提供）

木工職人の製作風景を見学することができる工房の新規出店（観える化）

○トライアルスペースへの
お試し出店支援

【例】陶芸作家が創作品を試験販売するためのお試し出店

職人商店街の広がり

○職人商店街認証制度の推進

職人商店街制度に合致する既存店舗を認証することで、店舗数の増加を図り、中心市街地に面的な商店街を形成する。

目標値(2030年)：20店舗

中心市街地における回遊性の向上

○賑わいづくり支援

【例】地元学生による土曜夜市でのブース出店

デジタルスタンプラリー企画など

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,000		
負担金補助及び交付金	14,500		
事業費計			15,500

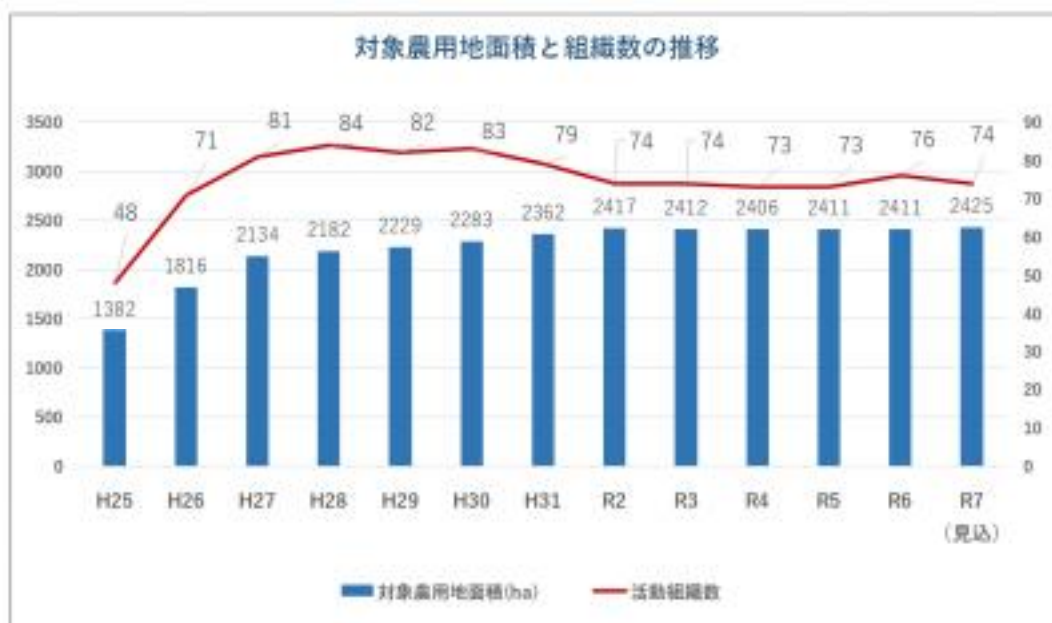
令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
産業経済部農政課		多面的機能支払事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	地域が共同で行う多面的機能を支える農地維持活動や地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図る資源向上活動を支援することで、集落環境の保全・維持、集落の活性化を図る。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			対象農用地面積（ha）	2,411	2,425	2,405	2,403	2,399
	目標（何を達成するのか）							
	農地や水路・農道等の草刈りや泥上げ、農村環境の保全、水路・農道等の補修や再整備を地域共同で行う活動にかかる経費を支援することで、農地の維持、荒廃農地の発生抑制を図る。							
事業概要	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農地や水路・農道等の草刈りや泥上げ、農村環境の保全、水路・農道等の補修や再整備を地域共同で行う活動にかかる経費について、面積に応じて一定額を交付する。							
	（数値目標の目標年度） 第2次松江市農山漁村地域活性化計画（令和6年3月作成）に基づき目標を修正 項目名 対象農用地面積（ha）：2029（R11）年度 2399ha							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	【活動組織数】 農地維持支払74件 資源向上支払（共同）61件 資源向上支払（長寿命、防災減災）35件 【対象農用地面積】 農地維持支払 2,425ha 資源向上支払（共同）2,197ha 資源向上支払（長寿命、防災減災）1,573ha		【活動組織数】 農地維持支払76件 【対象農用地面積】 農地維持支払 2,405ha		【活動組織数】 農地維持支払76件 【対象農用地面積】 農地維持支払 2,405ha			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移（単位：千円）		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		157,717	157,150	165,594	157,675	525	
	国・県支出金		118,810	118,328	125,253	118,507	179	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		38,907	38,822	40,341	39,168	346	
	歳入合計		157,717	157,150	165,594	157,675	525	
課題	活動組織構成員の高齢化や後継者不足により、維持管理や事務処理の人員が不足していたり、活動組織の無い地域がある。また、R7年度の国補正予算により新たに始まった防災・減災交付金について国県からの情報が不足している。		方向性	農地の維持保全、集落機能の活性化などを図るために、新交付金も含め引き続き周知し推進を図る。また、関係機関による草刈機の貸出制度や、事務処理ソフトの普及などにより活動組織の省力化を進めたり、活動組織の広域化を進め、活動の効率化や組織力の強化を図る。				

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	地域と食を支える農林水産業の担い手づくり

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	活動計画申請	3～4月	各組織から実績報告
	8月	交付金支払(1回目)		
	9～12月	現地確認		
	2月	交付金支払(2回目)		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	128		
役務費	120		
委託料	500		
使用料及び賃借料	95		
備品購入費	163		
負担金補助及び交付金	156,669		
事業費計			157,675

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
産業経済部農政課		中山間地域等直接支払事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	農業の生産条件が不利な地域における農業生産活動を継続し、農業・農村環境の維持保全を行う活動の推進を図る。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		対象農用地面積（ha）	252	183	242	242	242
	目標（何を達成するのか）						
	農村地域の高齢化や農業者数の減少が進む状況であるが、農地、水路、作業道などの維持保全、生態系や景観など農村環境保全のための活動を支援し、対象農用地面積の維持を図る。						
事業概要	中山間地域等において、集落等を単位に、農用地を維持・管理していくための協定を締結し、それにしたがって農業生産活動等を行う場合に、面積に応じて一定額を交付する。 事業期間：令和2年度～令和6年度（第5期対策） 令和7年度～令和11年度（第6期対策） （数値目標の目標年度） 第2次松江市農山漁村地域活性化計画（令和6年3月作成）に基づき目標を修正 項目名 対象農用地面積（ha）：2029（R11）年度 242ha						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画	R9計画				
	・第6期制度の個別説明を集落の希望に応じて行ったが、高齢化等により活動組織が減少することとなった。 活動組織数 35件 対象農用地面積 183ha	・集落の活動を維持してもらうため、事務の軽減システムの活用や、農地維持の小規模向け補助事業等により活動の省力化を図る。 対象農用地面積 242ha	・集落の活動を維持してもらうため、事務の軽減システムの活用や、農地維持の小規模向け補助事業等により活動の省力化を図る。 対象農用地面積 242ha				
	達成度						
	計画目標に向けて順調に推移						
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		43,706	44,517	33,082	34,891	-9,626	
財源内訳	国・県支出金	30,274	30,892	22,813	24,142	-6,750	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	13,432	13,625	10,269	10,749	-2,876	
	歳入合計	43,706	44,517	33,082	34,891	-9,626	
課題	中山間地域における農業者の高齢化や後継者不足が課題である。	本事業の実施により、農業生産活動等を継続するための課題について話し合いを行う場を設けることで、課題の解決に取り組み、農用地の維持・管理や農業生産活動の継続を図る。また集落での事務負担軽減や農地維持のための補助事業などを紹介しながら、本事業推進を行う。					
		方向性					

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	地域と食を支える農林水産業の担い手づくり

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～5月	現地傾斜測定	12月	交付金支払(2回目)
	6月	事業計画申請	3～4月	各組織から実績報告
	7月	交付金支払(1回目)		
	10月	現地確認		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	26		
役務費	40		
委託料	300		
負担金補助及び交付金	34,525		
事業費計			34,891

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
産業経済部農政課		新規就農者等サポート体制構築事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	農村の人口減少や高齢化により農業者の人材が不足しているため、農業の担い手の確保、育成を図る。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			自営就農者(人)	6	1	4	4	4
	目標（何を達成するのか）		雇用就農者(人)	5	10	10	10	10
	就農希望者や就農者に対する伴走支援体制を整備し、新たな担い手の確保とともに、認定農業者へのステップアップを図る。							
事業概要	・農政コーディネーターを配置し、就農希望者や新規就農者への支援体制を確保する。 ・従来からの農林高校・農業大学校への募集に加え、県外の就農フェアなどに参加し、募集機会の増加を図る。 ・県東部農林水産振興センター、JA、農業振興公社などの関係機関と定期的に情報交換を実施し、就農希望者や就農者への支援体制の強化を図る。 ・認定農業者協議会の活動への支援を実施する。							
	自営就農者・・・新たな認定新規就農者と半農半X実践者の合計 雇用就農者・・・県が集計した新たに雇用された就農者の合計							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	・新規就農者実績11人（自営就農者1人雇用就農者10人※） ※雇用就農者は現時点で不明のため計画値を記載 ・農政コーディネーターによる研修支援・農地の斡旋 ・県内外の就農フェアへの参加 ・就農希望者確保のための就農パンフレット・PR動画作成 ・認定農業者協議会への支援		・農政コーディネーターによる研修支援・農地の斡旋 ・県内外の就農フェアへの参加 ・就農希望者確保のための就農パンフレット・PR動画の活用 ・PR動画の作成 ・認定農業者協議会への支援		・農政コーディネーターによる研修支援・農地の斡旋 ・県内外の就農フェアへの参加 ・就農希望者確保のための就農パンフレット・PR動画の活用 ・PR動画の作成 ・認定農業者協議会への支援			
	達成度							
	計画目標に向けて進捗はやや遅れている							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		4,100	4,444	4,609	4,613	169	
	国・県支出金		1,000	1,000	1,400	2,000	1,000	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		3,100	3,444	3,209	2,613	-831	
歳入合計		4,100	4,444	4,609	4,613	169		
課題	・就農希望者の確保、生産に取り組む品目の誘導 ・農業研修生が就農するためのスムーズなステップアップ		・これまでとは異なる品目に関する就農パッケージの作成（就農する際の心構え・研修・初期投資・経営モデル等を取りまとめた資料） ・松江の農業の発信。就農パンフレットとPR動画を就農フェア参加時やSNSにて発信をおこなう。 ・県内外の就農フェアへの参加。 ・農政コーディネーターによる研修先・農地などの紹介。					
			方向性					

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	地域と食を支える農林水産業の担い手づくり

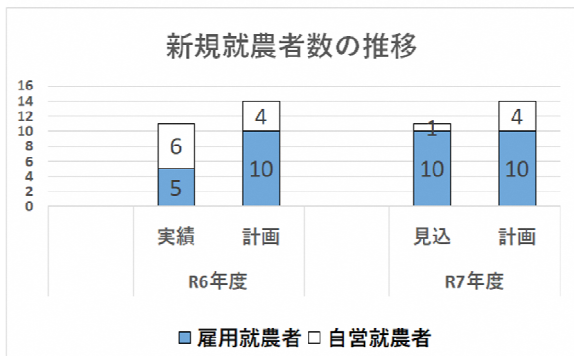
R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	就農希望者・農業研修生の相談対応	12月(予定)	しまね就農フェア
	随時	就農パッケージ内容検討・完成		
	随時	就農パンフレット・就農PR動画での情報発信		
	10月(予定)	新・就農人フェア(県外)		

本事業に関する主要データ

新規就農者数の計画・実績 (単位:人)

年度	R6年度		R7年度	
	実績	計画	実績	計画
雇用就農者	5	10	10	10
自営就農者	6	4	1	4
認定新規就農者	4		1	
半農半X実践者	2		0	

※令和7年度雇用就農者の見込みは目標値



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,513		
職員手当等	974		
共済費	583		
旅費	64		
負担金補助及び交付金	479		
事業費計			4,613

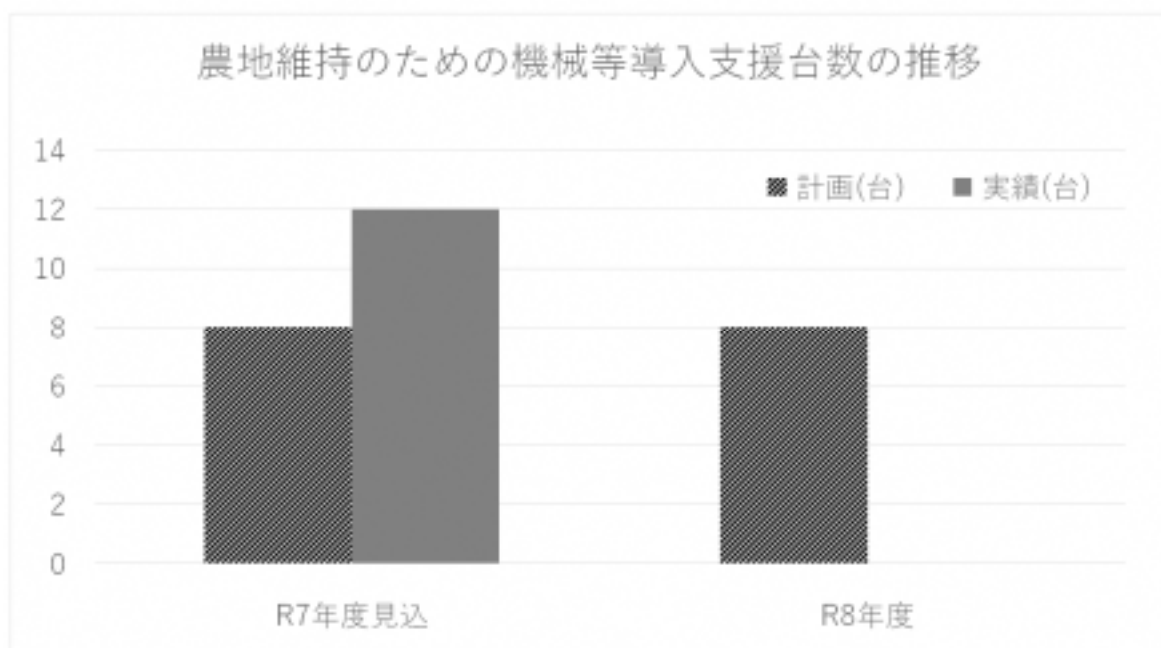
令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
産業経済部農政課		農地維持のための機械等導入支援事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	農村の人口減少や高齢化により後継者が不足しており、従来から支援している認定農業者等に加え、地域計画において将来にわたり「地域の農業を担う者」として位置付けのある農業者に対しても支援を行い、農地の維持を図る。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			支援件数（小規模向け）		11	4	4	4
			支援件数（中規模向け）		0	2	2	2
			支援件数（大規模向け）		1	2	2	2
目標（何を達成するのか）								
地域計画に「地域の農業を担う者」として位置付けのある農業者の営農継続が重要であり、その大半の人数を占めるのは、小・中規模の農業者であるため、経営規模に応じて農地を維持するために必要となる機械等の導入経費の支援を行う。								
事業概要	地域計画に掲載される農業者に対し、農地維持のための機械導入を支援する。							
	【小規模向け】 対象経費：農業用機械等の導入費、補助率：1/3、補助上限：150万円							
	【中規模向け】 対象経費：水稲用機械の導入費、補助率：1/3、補助上限：333.3万円							
	【大規模向け】 対象経費：土地利用型作物に係る機械等で、用途が①受託作業等か、②畦畔管理等負担軽減のもの、補助率：1/3、補助上限：400万円 （担い手不在集落を含む場合は補助率1/2、補助上限600万円）							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	【小規模】11台 草刈機5、トラクター2、乾燥機2、米選機1、色彩選別機1 【大規模】1台 草刈機1 【合 計】12台		【小規模】4台 【中規模】2台 【大規模】2台 【合 計】8台		【小規模】4台 【中規模】2台 【大規模】2台 【合 計】8台			
	達成度							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		0	0	6,360	19,666	19,666	
	国・県支出金		0	0	450	10,666	10,666	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		0	0	5,910	9,000	9,000	
歳入合計		0	0	6,360	19,666	19,666		
課題	・従来支援を行ってきた認定農業者等と異なる農業者向けの事業であるため、JAと連携して対象者の把握や事業の周知などに取り組む。 ・支援対象となるために必要である地域計画の策定地域を増やす。			方向性			・支援の対象者の属性を増やすこと(認定農業者等の大規模農業者の他、小・中規模の農業者も支援対象に加える)、地域を増やすこと(地域計画を策定する地域を増やす)で、優良農地の維持を図っていく。	

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	地域と食を支える農林水産業の担い手づくり

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～6月	農地維持のための機械等導入支援事業の募集		
	5月～8月	交付決定		
	8月以降	応募状況により2次募集、交付決定等		
	随時	納品検査、補助金の交付事務		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	19,666		
事業費計			19,666

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
産業経済部農政課		地域ブランド産地育成事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	松江産農産物のブランド化や高付加価値化を支援し、安定的な農業経営を実現する。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			そば収穫量(t)	27.3	11.2	30	40	40
			大豆作付面積(ha)	39	41	41	41	41
	目標（何を達成するのか）							
松江産農産物の西条柿やそば、加工原材料の大豆等の生産拡大及び販路拡大に取り組む。		西条柿販売額(百万円)	46	55	55	55	55	
事業概要	○目標達成のため各種事業を行う。 【そば】：刈り取り作業に係る経費の一部を補助する。 【大豆】：味噌の加工に使用される出荷量に応じ補助する。 【西条柿】：国内外の販路拡大等の取組を補助する。 (数値目標の目標年度) 項目名「そば」の収穫量(t)、「大豆」の作付面積(ha)、「西条柿」の販売額(百万円)：2029(R11)年度							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	【そば】作付面積は前年と比較して減少し、豪雨の影響や高温も続いたため、収穫量は前年より大幅に減少する見込み。 【大豆】大規模作付けの支援をおこなう。 【西条柿】販促活動を実施し、知名度向上と販路拡大を図った。出荷量は、高温により出荷基準を満たさないものが増加したため、減少する見込み。		【そば】収穫量の安定を目指す。 【大豆】大規模作付けの支援をおこなう。 【西条柿】国内外での販路拡大を図る。		【そば】収穫量の安定を目指す。 【西条柿】国内外での販路拡大を図る。			
	達成度							
	計画目標に向かって概ね順調							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		5,094	6,310	6,310	6,130	-180	
	国・県支出金		0	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		5,094	6,310	6,310	6,130	-180	
	一般財源		0	0	0	0	0	
歳入合計		5,094	6,310	6,310	6,130	-180		
課題	【そば】天候により受ける影響が大きく、収量と品質が不安定。作付面積の減少。 【大豆】大規模作付けを行う生産者が少ない。 【西条柿】国内外の消費者への販路の拡大。		【そば】収量の安定化を目指し、作付け面積の増加と刈取作業の効率化を支援する。 【大豆】令和8年度で終了見込み。 【西条柿】国内外への販路拡大等を支援する。					
			方向性					

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	売れる農林水産物の生産振興と消費・販路拡大

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	各品目の事業を適期に遂行する。		

本事業に関する主要データ

【そば・大豆・西条柿の生産状況推移】

そば	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7見込	R8計画
作付面積(ha)	155	150	136	123	118	117	96	140
収穫量(t)	37.6	70.6	22.0	32.5	48.9	27.3	11.2	30.0

大豆	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7見込	R8計画
作付面積(ha)	38	35	45	42	41	39	41	41
収穫量(t)	60	52	37	55	45	34	55	55

西条柿	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7見込	R8計画
生産戸数(戸)	144	144	144	135	122	114	114	114
作付面積(ha)	40	40	40	40	40	35	35	40
販売額(百万円)	62	74	65	60	53	46	55	55

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	6,130		
事業費計			6,130

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
産業経済部農政課		松江大根島牡丹振興対策事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	松江大根島牡丹の産地維持・振興を図る。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			産出額(百万円)	196	157	150	150	150
	目標（何を達成するのか）		生産戸数(戸)※ 松江大根島牡丹協議会会員数	52	51	52	52	52
	・販路拡大と生産性向上による農家所得の向上。 ・新規生産者の確保と早期経営安定。		出荷量(万本)	20	12	40	40	40
事業概要	松江大根島牡丹の生産振興を図るため、以下の事業を実施する。 ・国内外の販路拡大に向けた取組を支援。 ・土壌病害虫対策として、消毒剤の購入に対する支援。 ・PR活動・販売促進活動に対する支援。 ・農地の集積・集約化に対する支援。 ・栽培体験及び研修を実施。 ・牡丹市場・ニーズ調査の支援。							
	(数値目標の目標年度) 項目名 産出額(百万円)、生産戸数(戸)、出荷量(万本):2027(R9)年度							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	販路拡大、担い手確保の取組を継続して支援し、産地維持を図る。 ①国内外の販路拡大を支援。 ②土壌病害虫対策を支援。 ③菊花展や駅、観光施設等を活用したPR活動、販促活動を実施。 ④農地の集積・集約化を支援。 ⑤牡丹栽培体験の実施。		販路拡大、担い手確保の取組を継続して支援し、産地維持を図る。 ①国内外の販路拡大を支援。 ②土壌病害虫対策を支援。 ③菊花展や駅、観光施設等を活用したPR活動、販促活動を実施。 ④農地の集積・集約化を支援。 ⑤牡丹栽培体験及び研修の実施。 ⑥牡丹市場・ニーズ調査の支援。		販路拡大、担い手確保の取組を継続して支援し、産地維持を図る。 ①国内外の販路拡大を支援。 ②土壌病害虫対策を支援。 ③菊花展や駅、観光施設等を活用したPR活動、販促活動を実施。 ④農地の集積・集約化を支援。 ⑤牡丹栽培体験及び研修の実施。 ⑥牡丹市場・ニーズ調査の支援。			
	達成度							
		計画目標に向けて進捗はやや遅れている						
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		3,574	4,338	4,553	8,282	3,944	
	国・県支出金		0	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		3,574	4,338	4,553	8,282	3,944	
歳入合計		3,574	4,338	4,553	8,282	3,944		
課題	・高齢化、後継者不足により生産戸数、出荷量とも減少傾向。 ・収益向上、所得の安定、新規就農者の掘り起こしに向けた取組が必要。			・国内外の販路拡大の取組を支援する。 ・研修生の受け入れなど、就農しやすい環境づくりを進め、新規就農者の獲得・定着を支援する。 ・組織的な生産・販売体制の構築等、産地維持に向けた取組を支援する。 ・規模拡大志向者を重点的に支援することで、牡丹産地維持を図る。				
	方向性							

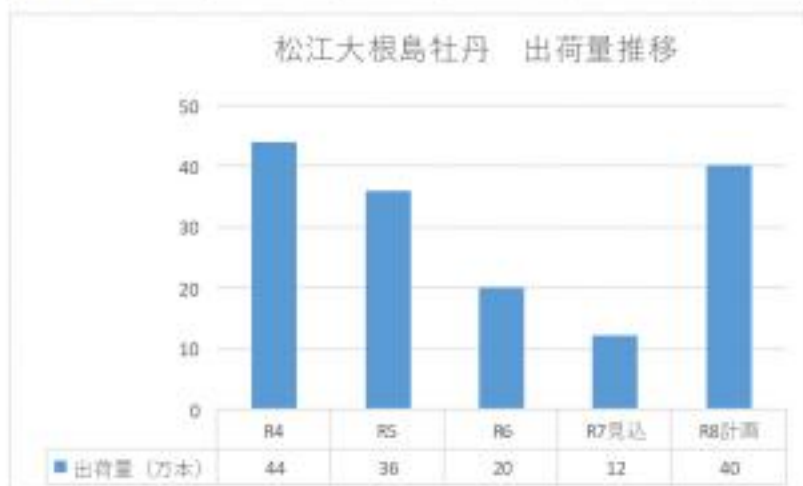
松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	売れる農林水産物の生産振興と消費・販路拡大

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～5月	牡丹切花品評会助成	6月～3月	松江市地域産品輸出促進対策事業費
	4月～3月	国内販路拡大事業	4月～3月	牡丹栽培体験
	6月～1月	土壌病害虫対策事業	4月～3月	牡丹研修
	6月～1月	農地の集積・集約化事業	4月～3月	牡丹市場・ニーズ調査

本事業に関する主要データ

【松江大根島牡丹 生産戸数推移】※松江大根島牡丹協議会会員数

	R4	R5	R6	R7見込	R8計画
生産戸数(戸)	57	53	52	51	52



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	758		
旅費	1,245		
需用費	163		
役務費	97		
委託料	1,329		
使用料及び賃借料	87		
負担金補助及び交付金	4,603		
事業費計			8,282

令和8年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	地場農産物生産・消費拡大推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	地産地消の推進および契約栽培農家の経営安定を図る。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		学校給食全品目 地場産比率（%）	36.3	42	44	44.5	44.5
	目標（何を達成するのか）						
	・学校給食における地場産比率向上。 ・契約栽培の拡大。 ・食育の推進。						

事業概要	地産地消を推進し生産者の経営安定を図ることを目的に、学校給食に使用する野菜等の契約栽培による納入について価格補填を行う。
	（数値目標の目標年度） 項目名 学校給食全品目地場産比率（%）：2029（R11）年度

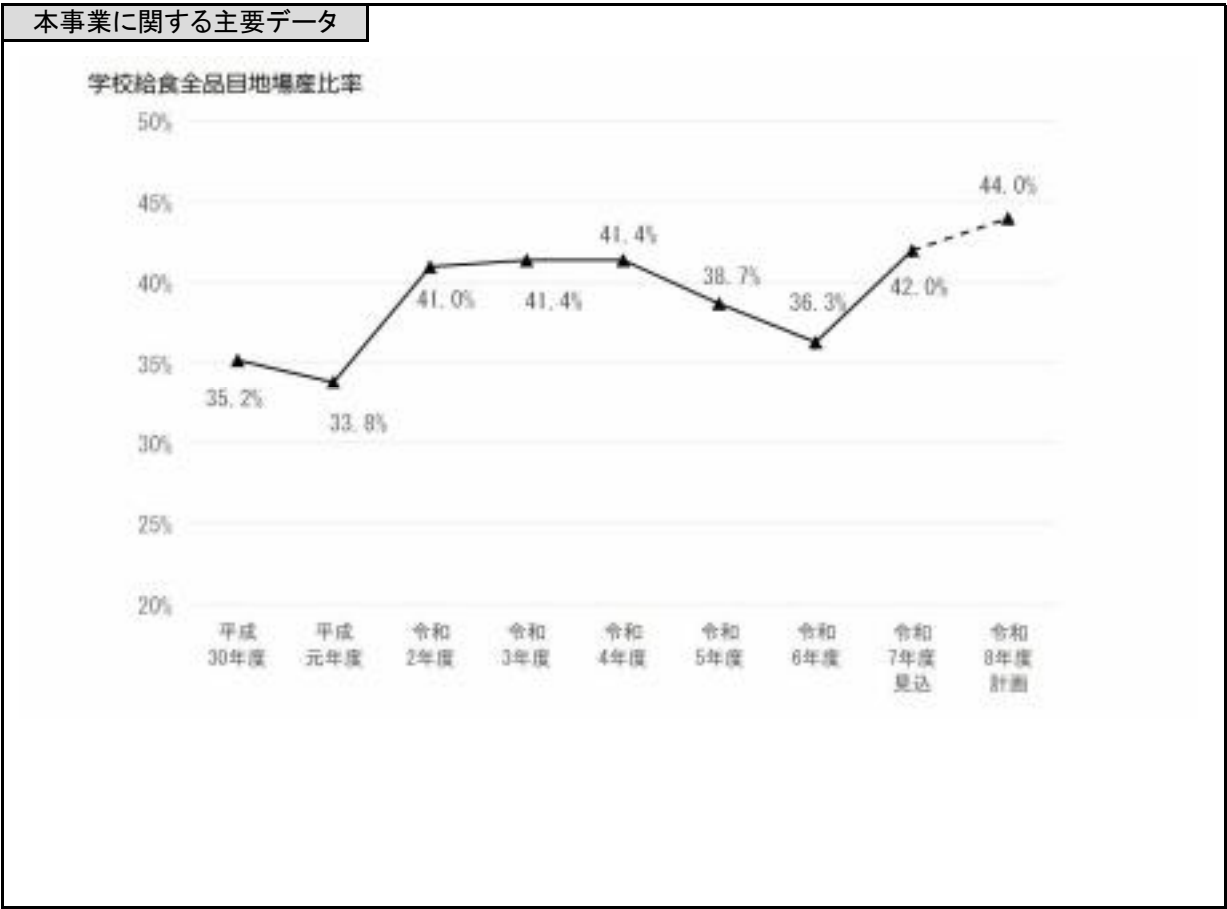
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画	R9計画
	・契約栽培を拡大し、全品目の地場産比率向上に繋げる。 ・学校給食会の栄養士とともにサツマイモの栽培状況を視察し、生産者へのインタビューや意見交換を行った。 ・納入見込み（当初） 22品目：114.6(t)	・契約栽培を拡大し、全品目の地場産比率向上に繋げる。 ・学校給食会の栄養士とともに野菜栽培状況を視察し、生産者へのインタビューや意見交換を行う。	・契約栽培を拡大し、全品目の地場産比率向上に繋げる。 ・学校給食会の栄養士とともに野菜栽培状況を視察し、生産者へのインタビューや意見交換を行う。
	達成度 計画目標に向けて進捗はやや遅れている		

歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		6,373	6,484	6,484	6,484	0
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	6,373	6,484	6,484	6,484	0
歳入合計		6,373	6,484	6,484	6,484	0

課題	方向性	
	・納入規格を満たす契約栽培野菜の収量の確保。	・栽培指導等による収量拡大を図る。 ・学校給食全品目の地場産比率向上に向け、契約栽培品目の拡大を図る。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	売れる農林水産物の生産振興と消費・販路拡大

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	学校給食会とJAとの物資納入契約		
	通年	契約栽培の維持拡大に向けた生産者へのアプローチ		
	通年	契約栽培の打ち合わせ会		
	通年	規格目合わせ・意見交換会		



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	6,484		
事業費計			6,484

令和8年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	松江スマート農業推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	生産者所得の向上と省力化を図ることにより、高齢化や後継者不在による担い手不足を解消し持続的な農業を推進するため。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		担い手におけるスマート農業導入率（%）	16.3	17.8	21.6	24.2	31.1
	目標（何を達成するのか）						
	スマート農業技術の普及とインフラ整備を行いながら、スマート農業の導入を推進し、生産効率の向上と技術継承の簡便化を図る。						

事業概要	生産者の減少・高齢化や農地の集積・集約による大規模化などに対応するため、スマート農業技術の導入により、省力化・低コスト化・高品質生産を可能にするロボット技術やAI、IoTなどの先端技術を活用する生産者を増やすための導入支援、及びGNSS基準局整備を行う。 また、自らの経営に合わせた効果の高い技術向上ができるよう、スマート機器の個別指導を実施する。 【補助事業】 スマート農業導入支援事業（市単、補助率1/2、上限75万円） 【数値目標の目標年度】令和11年度 担い手におけるスマート農業導入率（%） ※認定農業者及び認定新規就農者の導入率
------	---

事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画	R9計画
	・自動操舵システム導入（担い手2件） ・ドローン導入（担い手4件、一般2件） ・自動操舵トラクター（担い手1件） ※対象者範囲の拡充 ※補助上限の引き上げ（50万円 から75万円へ） ・実演会（国内農機メーカー・販売店の協力により干拓揖屋工区で開催（参加：約60人）	・GNSS基準局設置（地域再生協議会）支援 ・スマート機器の導入（自動操舵システム、ドローン、ラジコン草刈機ほか） ・個別指導	・GNSS基準局設置（地域再生協議会）支援 ・スマート機器の導入（自動操舵システム、ドローンハウス環境管理システム、ラジコン草刈機ほか） ・個別指導
	達成度		
	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		1,576	7,220	6,661	8,847	1,627
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	2,750	2,750
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	7,220	6,661	0	-7,220
	一般財源	1,576	0	0	6,097	6,097
歳入合計		1,576	7,220	6,661	8,847	1,627

課題	・農業の現場では、依然として人手に頼る作業や熟練者でなければできない作業が多い一方で、農業労働人口の減少により、省力化、人手の確保、負担軽減が課題。 ・スマート農機の効率的な運用のため、圃場のインフラ整備が必要。 ・スマート農機の導入初期コストが高い。	方向性	・栽培管理に関する作業全般の効率化。 ・スマート農機の効率的な運用のためのインフラ(GNSS基準局)整備。 ・補助金での初期投資の軽減によりスマート農機の導入を支援。 ・スマート農業に対する理解と普及促進
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	売れる農林水産物の生産振興と消費・販路拡大

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月～8月	GNSS基準局整備(設置は地域農業再生協議会)		
	随時	スマート農業導入支援事業費補助金の交付事務		
	随時	個別指導(生産部会や集落営農など)		

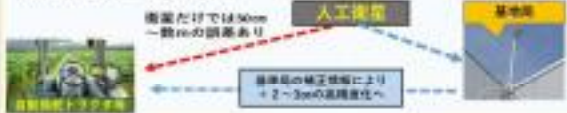
本事業に関する主要データ

令和8年度事業の概要

GNSS（測位衛星システム）基地局整備への支援

【概要】スマート農業機械（自動操舵トラクタ等）の本格的な活用のためのGNSS基地局設置経費を補助（10/10）
【事業費】275万円（重点支援交付金充当）
【補助対象者（設置者）】松江地域農業再生協議会

【基準局イメージ及び概要】



衛星だけでは50cm～数mの誤差あり
基地局の補正情報により
±2～3cmの高精度化へ

導入支援補助金

【概要】スマート農業に必要な機械・施設・設備などの導入経費を補助
【事業費】800万円
【補助対象者】
認定農業者、認定新規就農者、地域計画に位置付けられた農業者等
【補助率】1/2（上限75万円）



その他、集落営農組織や生産部会などへの個別指導

スマート農業導入支援推移
(単位：千円)

年度	件数	補助額
R1	2	826
R2	2	770
R3	2	1,000
R4	2	854
R5	2	1,000
R6	3	1,231
R7	10	6,544

※R7年度は見込み数値

導入機器の種類 ※期間：R1～R7
(単位：件)

機器の種類	件数
ドローン	7
自動操舵システム	5
ラジコン草刈り機	2
環境制御システム	2
その他	7

※R7年度見込み数値含む

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	97		
負担金補助及び交付金	8,750		
事業費計			8,847

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
産業経済部水産振興課		アワビ陸上養殖推進事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	産学官の技術交流の覚書に基づき共同開発し、特許出願中の「新技術」を活用した「アワビ陸上養殖」の事業化に向け、アワビ種苗の安定生産と陸上養殖の推進に必須となる、地下海水の調査及びボーリングを行うもの。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			アワビ種苗生産数(千個)	400	350	400	400	400
目標（何を達成するのか）								
・安定したアワビ種苗の生産 ・アワビの陸上養殖の推進								
事業概要	今後の事業を推進していく上で必須となる、活用可能な地下海水の有無を確認する調査及びボーリングを行うもの。							
	事業内容 地下海水調査ボーリング業務委託 22,000千円 地下海水本ボーリング業務委託 14,000千円 地下海水調査ボーリング業務委託 20,000千円 ※令和9年度以降の事業展開は、地下海水活用の可否等による							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画			R9計画		
	地下海水調査ボーリング業務委託 24,000千円 事業構想検討業務委託 4,000千円		地下海水調査ボーリング業務委託 22,000千円 地下海水本ボーリング業務委託 14,000千円 地下海水調査ボーリング業務委託 20,000千円			地下海水調査ボーリング及び本ボーリングの結果により検討。		
	達成度							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6		R7		R8	
			決算		予算		決算見込	
	事業費		0		28,336		28,000	
	国・県支出金		0		12,000		12,000	
	地方債		0		0		0	
	その他		0		16,336		16,000	
	一般財源		0		0		0	
歳入合計		0		28,336		28,000		
課題	確保できる地下海水量が見込を大きく下回った状況。				地層調査を行い、地下海水調査の精度を高め、ボーリング業務委託を実施する。			
					方向性			

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	売れる農林水産物の生産振興と消費・販路拡大

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～9月	本ボーリング(令和7年度調査箇所)		
	4月～11月	地層調査		
	11月～3月	調査ボーリング		

本事業に関する主要データ



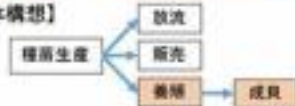
地下海水の活用が鍵

◎飼育に適した水温で生産数安定

地下海水イメージ



【全体構想】



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	336		
委託料	56,000		
事業費計			56,336

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
産業経済部農林基盤整備課		国・県土地改良事業負担金						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	農業生産性向上により農業所得の増大を実現し、農業農村の活性化を図るため国・県営土地改良事業を着実に遂行する。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			国・県営土地改良事業事件数(件)	9	11	11	10	10
	目標（何を達成するのか）							
	国・県営土地改良事業で農業生産基盤を整備することにより農業生産性の向上を実現し、農業所得の増大を目指す。そのための事業費に対し、応分の負担をする。							
事業概要	事業化となった国・県営土地改良事業について、国の示す負担割合のガイドラインに基づき応分の事業負担金を支出するもの。 (県営基幹水利施設管理事業、県営ため池等整備事業、県営水利施設等保全高度化事業、県営農業水路等長寿命化・防災減災事業、県営農業競争力強化農地整備事業、県営農地中間管理機構関連農地整備事業等)							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	○経営体育成基盤整備事業(農業競争力強化農地整備、農地中間管理機構関連農地整備)・新庄地区・西谷上地区・古曾志地区・大野地区・西長江地区 ○県営ため池整備事業・井頭2号池・寺領池・小谷奥池・山崎池 ○農業水路等設長寿命化・防災減災事業(長寿命化)・東潟ノ内地区 ○国営造成施設管理事業(基幹水利施設管理事業)・揖屋地区 以上の各事業について、応分の経費を負担予定		○経営体育成基盤整備事業(農地中間管理機構関連農地整備事業)・新庄地区・古曾志地区・大野地区・西長江地区 ○県営ため池整備事業・井頭2号池・寺領池・小谷奥池・山崎池 ○農業水路等設長寿命化・防災減災事業(長寿命化)・東潟ノ内地区・古江地区 ○国営造成施設管理事業(基幹水利施設管理事業)・揖屋地区 以上の各事業について、応分の経費を負担予定		○経営体育成基盤整備事業(農地中間管理機構関連農地整備事業)・新庄地区・古曾志地区・大野地区・西長江地区 ○県営ため池整備事業・井頭2号・小谷奥池・山崎池 ○農業水路等設長寿命化・防災減災事業(長寿命化)・東潟ノ内地区・古江地区 ○国営造成施設管理事業(基幹水利施設管理事業)・揖屋地区 以上の各事業について、応分の経費を負担予定			
	達成度							
	計画目標に向かって概ね順調							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6		R7		R8	
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		131,030	82,598	82,598	94,290	11,692	
	国・県支出金		0	2,199	2,199	2,191	-8	
	地方債		116,800	62,300	62,300	75,000	12,700	
	その他		5,400	14,400	14,400	12,600	-1,800	
	一般財源		8,830	3,699	3,699	4,499	800	
歳入合計		131,030	82,598	82,598	94,290	11,692		
課題	【ほ場整備】 県全体で20地区以上の整備要望があり、今後の新規採択要件に適応するためには、県が推奨する高収益性作物6品目の栽培を強化する必要がある。 【ため池整備】【農業用水利施設】 老朽化した施設が多くあり、優先順位を付けて計画的に改修する必要がある。		方向性 農業生産基盤の整備により、農業生産性の向上および農業所得の増大を実現するため、県営事業を積極的に活用しながら整備や老朽化した施設の更新を進めていく。					

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～7月	国・県と事業内容、費用負担額の協議		
	10月	前期負担金の納付		
	3月	工期負担金の納付		

本事業に関する主要データ

【事業一覧表】									
補 助 事 業	工 種	地区名	事業期間	期	種	期	額	種	額
県営農業用水利施設整備事業 (農地中(営農環境整備)関係施設整備事業)	はね橋	新庄	R30～R32	調査・設計・工事					
		西栗田	R33～R35	調査・設計・工事					
		大野	R33～R35	調査・設計・工事					
		西栗田	R36～R38	調査・設計・工事					
県営農業用水利施設整備事業 ため池整備	ため池整備	舟岡2号	R31～R33	調査・設計・工事					
		小谷田	R35～R37	調査・設計・工事					
		山崎	R37～R39	調査・設計・工事					
県営農業用水利施設整備事業 田圃改良事業	排水設備更新	栗田ノ内	R35～R37	調査・設計・工事					
県営水利施設等保全施設化事業	排水設備更新 の設備更新	吉成	R36～R38	調査・設計・工事					
国営基幹水利施設管理事業負担金	排水設備更新	保原	R36～	排水設備更新					

主な地方債：公共事業等

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	94,290		
事業費計			94,290

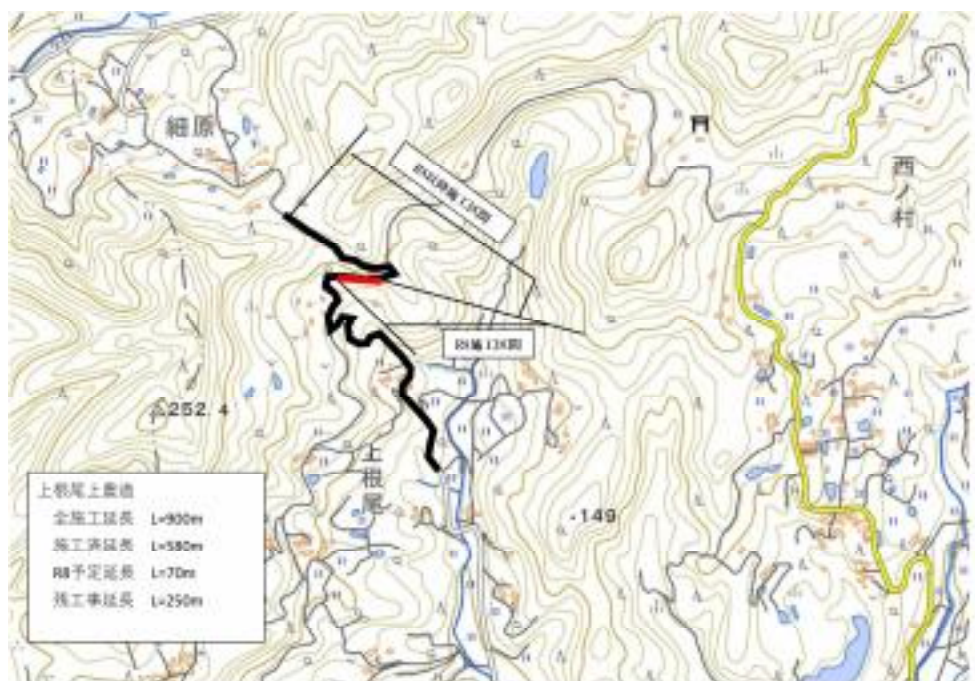
令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
産業経済部農林基盤整備課		ふるさと農道緊急整備事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	農業生産物及び農業用資材の輸送・運搬時間短縮による農業経営の合理化と生活道路ならびに緊急避難道路として整備することによる生活環境の改善を図るため。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		上根尾上農道整備済延長(m)	331.2	580	650	750	900
	目標（何を達成するのか）						
	農業生産性の向上と市民生活の安心・安全の確保						
事業概要	集落間の狭小な農道を整備し、農作物輸送と農業用資材運搬の時間短縮による農業経営基盤の合理化を図るとともに、生活道路・緊急時の避難道路として整備し、生活環境の改善と市民生活の安心・安全の確保に資するため、H28より整備を行っている。 上根尾上農道 全整備延長L=900m						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	上根尾上農道 ・改良工事 L=140m	上根尾上農道 ・改良工事 L=70m		上根尾上農道 ・改良工事 L=100m			
	達成度						
	計画目標に向かって概ね順調						
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費	30,762	25,234	25,234	29,682	4,448	
	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	27,200	22,700	22,700	26,700	4,000	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	3,562	2,534	2,534	2,982	448	
歳入合計		30,762	25,234	25,234	29,682	4,448	
課題	上根尾上農道は、地すべり区域内での事業であり、現状状況に応じ、対策をとりながらの施工となることから、工期の延伸と事業費の増加が想定される。		方向性 工事の安全性を確保しながら、早期の全線開通に努める。				

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月	工事発注		
	12月	工事完了		

本事業に関する主要データ



主な地方債：地方道路等整備事業

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
工事請負費	28,682		
補償補填及び賠償金	1,000		
事業費計			29,682

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名					
産業経済部農林基盤整備課		有害鳥獣駆除対策補助金					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	有害鳥獣から農作物を守り、被害を減少させる。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		有害鳥獣イノシシの捕獲頭数(頭)	1,567	1,048	1,200	1,200	1,200
	目標（何を達成するのか）	鳥獣侵入防護柵設置延長(m)	29,989	29,208	28,000	28,000	28,000
	イノシシ、ニホンジカなど有害鳥獣の捕獲(個体数調整)、および耕作地の被害防護柵の設置を行い、農作物被害を減少させる。	農作物の被害額(千円)	13,763	13,763	12,387	11,011	9,634
事業概要	イノシシ・ニホンジカ・アナグマ等の有害鳥獣による農作物被害を防止 ①捕獲(駆除)員へ捕獲(駆除)の活動依頼 ②捕獲(駆除)員への有害鳥獣捕獲奨励金 ③農業従事者が設置する防護柵の設置支援 ④松江市鳥獣被害対策実施隊の活動支援 ⑤捕獲(駆除)員になるための狩猟免許取得促進 数値の目標については、令和8年3月に策定予定の鳥獣被害防止計画によるもの						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	捕獲数:イノシシ1,048頭、ニホンジカ84頭、アナグマ194頭。 防護柵購入補助:申請数100件、延長29,208m 狩猟免許取得促進事業:申請者数24人 別途【松江市鳥獣被害防止対策協議会事業】 広域防護柵設置7か所、延長14,499m	捕獲数:イノシシ1200頭、ニホンジカ75頭、アナグマ220頭。 防護柵購入補助:申請数120件、延長28,000m 狩猟免許取得促進事業:申請者数30人 別途【松江市鳥獣被害防止対策協議会事業】 広域防護柵設置4か所、延長7,500m		捕獲数:イノシシ1200頭、ニホンジカ75頭、アナグマ220頭。 防護柵購入補助:申請数120件、延長28,000m 狩猟免許取得促進事業:申請者数30人 別途【松江市鳥獣被害防止対策協議会事業】 広域防護柵設置7か所、延長14,500m			
	達成度						
	計画目標に向かって概ね順調						
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費	34,671	34,596	32,865	33,160	-1,436	
	国・県支出金	8,400	8,203	7,071	7,678	-525	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	95	0	100	200	200	
	一般財源	26,176	26,393	25,694	25,282	-1,111	
	歳入合計	34,671	34,596	32,865	33,160	-1,436	
課題	有害鳥獣による農作物被害は、市全域に広がりを見せている。被害防除、捕獲駆除対策をしているが農作物の被害報告は無くならない。	引き続き、有害鳥獣の捕獲と防護柵の設置に対する支援を行い、併せて、国の交付金を利用した広域防護柵の設置を地域住民と協議しながら行なっていく。また、今後は地域研修会を通じ、住民に鳥獣被害対策への意識を高め、地域の対策リーダーや捕獲員の人材確保、育成を行う。さらに捕獲した有害鳥獣の利活用として、イノシシ肉の資源化の普及啓発に力を入れる。					
		方向性					

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～10月	有害鳥獣駆除	3月	有害鳥獣駆除
	4月～9月	有害鳥獣被害防除施設整備事業(防護柵)補助金受付		
	11月～2月	狩猟免許取得推進事業補助金受付		
	通年	鳥獣被害対策事業補助金受付		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	33,160		
事業費計			33,160

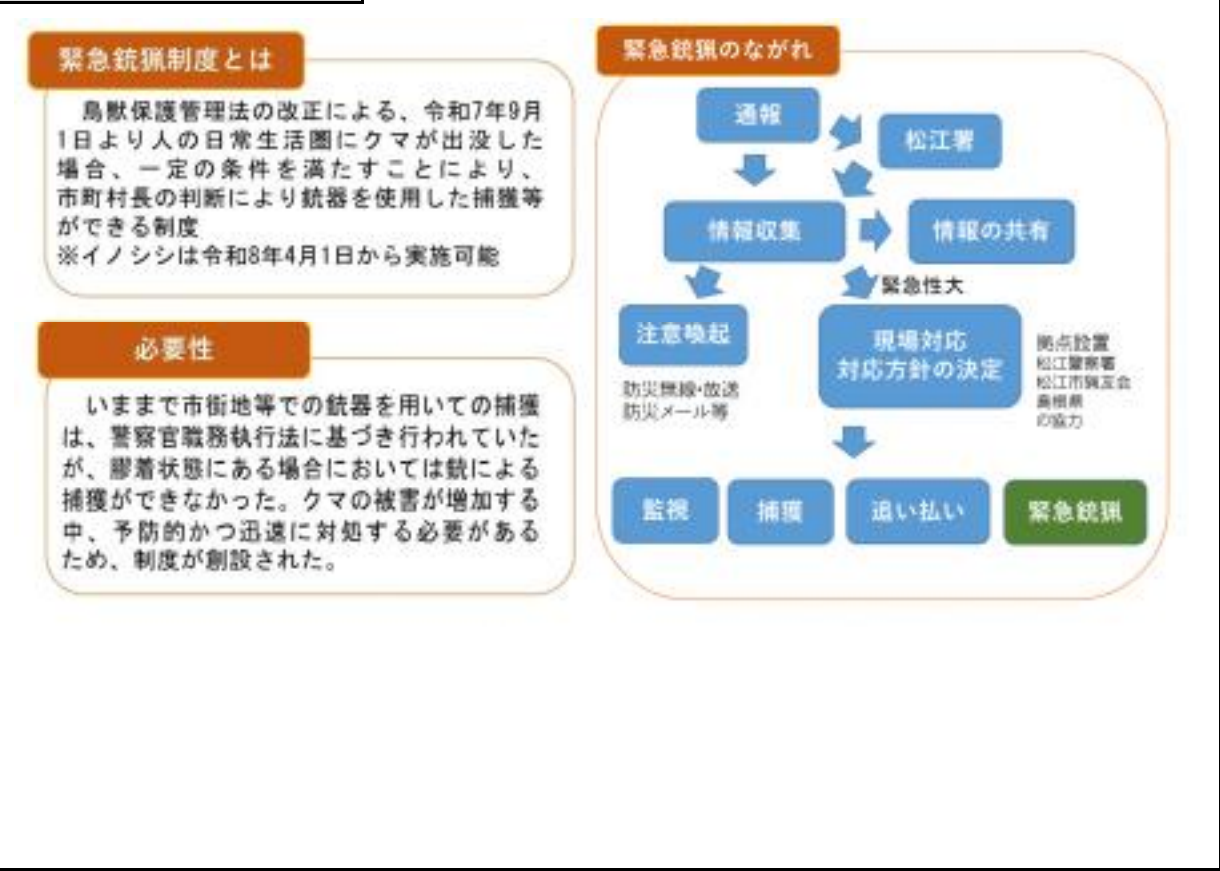
令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
産業経済部農林基盤整備課		緊急銃猟事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	人の日常生活圏にクマ等が出没した際、安全確保等の条件下で緊急銃猟を行い、市民の安全を守る。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		目標の設定にならない					
	目標（何を達成するのか）						
	適切な捕獲体制を確保する。						
事業概要		人の日常生活圏にクマ等が出没した際、安全確保等の条件下で緊急銃猟の実施と、実施のための準備を行う。					
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	緊急捕獲マニュアルの作成 松江市猟友会、松江警察署、島根県との協力体制の確保 備品等準備（腕章、クマよけスプレー、追い払い用煙火等）	緊急銃猟のための関係者との机上及び実施訓練 備品等準備（盾、プロテクター等） 緊急銃猟制度に関する啓発		緊急銃猟のための関係者との机上及び実施訓練 備品等準備（盾、プロテクター等） 緊急銃猟制度に関する啓発			
	達成度						
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費	0	0	530	934	934	
	国・県支出金	0	0	404	726	726	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	126	208	208	
歳入合計		0	0	530	934	934	
課題	松江市猟友会、島根県、松江警察署との連携体制の構築と強化。 住民に対する緊急銃猟制度の周知。		担当者会議や机上及び実施訓練を通して連携強化を図り、迅速な対応を可能とする。 リーフレット、チラシ配布などで周知を図る。				
			方向性				

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	担当者会議	随時	緊急銃猟の実施
	4月～6月	準備(保険加入、備品準備)		
	7月～	緊急銃猟に関する啓発活動		
	10月	机上及び実施訓練		

本事業に関する主要データ



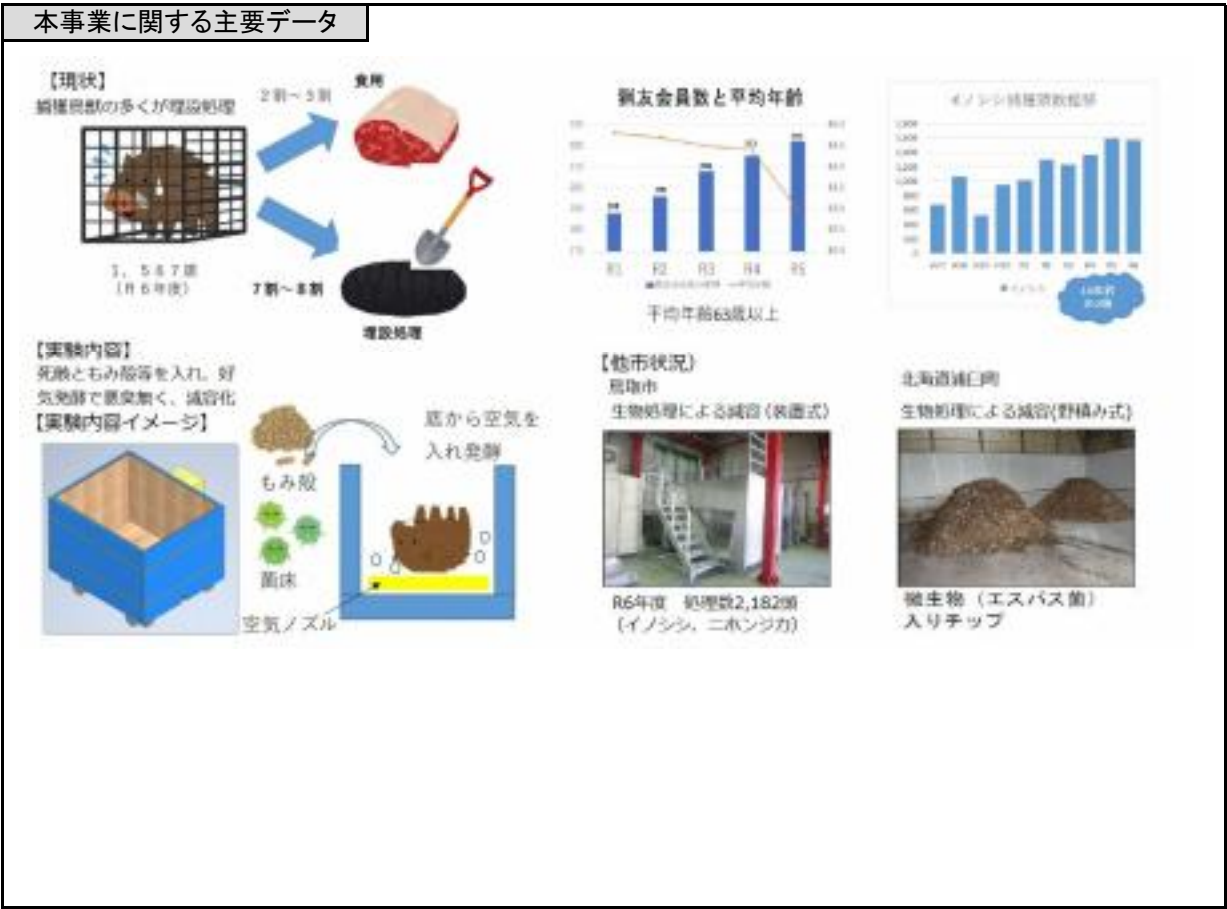
R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	754		
役務費	30		
委託料	150		
事業費計			934

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
産業経済部農林基盤整備課		捕獲有害鳥獣減容化施設整備事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	有害鳥獣の捕獲量の増加と捕獲者の高齢化による捕獲鳥獣埋設処理の負担増を解消するため、新たな処理方法の実験・検討を実績のある地元企業の協力を得ながら行い、導入することで捕獲者の負担軽減を図る。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			減容施設での処理数(頭)			10	30	450
	目標（何を達成するのか）		有害鳥獣駆除員数	229	235	240	245	270
	捕獲者の負担軽減を図ることにより、有害鳥獣駆除員の確保を図る。							
事業概要	松江市に適した処理方法の検討 ・好気発酵を用いた処理方法の実験 ・他の方法の調査 処理施設の設置（R9年度以降）							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	処理方法の研究、検討		処理方法の実験と検証 先進地視察 処理施設設置計画策定		処理施設の設置			
	達成度							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		0	0	0	2,550	2,550	
	国・県支出金		0	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		0	0	0	2,550	2,550	
歳入合計		0	0	0	2,550	2,550		
課題	捕獲者の高齢化が進むなか、埋設処理に関する負担軽減を早急に実施する必要がある。			捕獲頭数、地勢なども考慮し松江市に適した処理施設の設置を検討する。				
				方向性				

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代につながる収益性の高い生産基盤づくり

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	実験準備		
	6月下旬	実験開始		
	9月	他の手法の検討		
	9月	減容化施設の計画策定		



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	542		
需用費	8		
負担金補助及び交付金	2,000		
事業費計			2,550

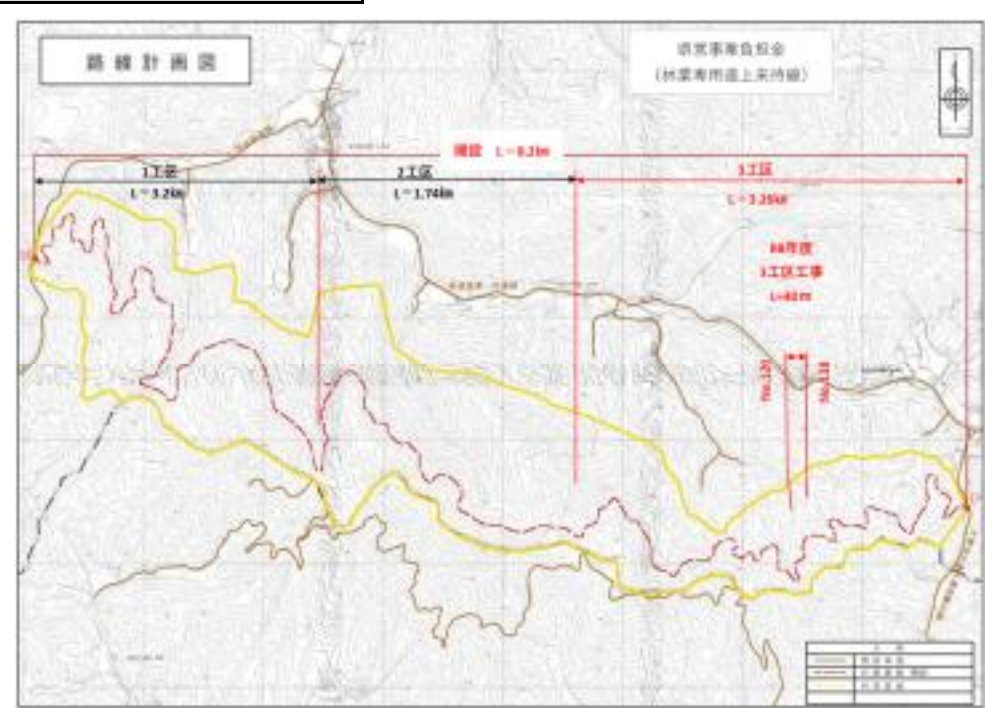
令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
産業経済部農林基盤整備課		県営事業負担金						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	森林整備計画に基づき、林業専用道上来待線の開設により、森林資源の開発と森林整備の加速化を図る。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			開設工事3工区整備延長 累計	1,827	1,927	1,967	2,417	3,260
目標（何を達成するのか）								
・森林資源の開発 ・地域における生活環境の整備								
事業概要	森林資源の開発と地域における生活環境の整備のため、県営林業専用道上来待線に係る経費の10%を負担するもの。（事業主体は島根県） 林業専用道上来待線 総延長8.2km（幅員3.5m） 内訳）1工区 3.20km（工事：2工区終了後） 2工区 1.74km（工事：R9以降） 3工区 3.26km（工事：R2～R9）							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	開設工事（3工区） 単年度 100m 累 計 1,927m		開設工事（3工区） 単年度 40m 累 計 1,967m		開設工事（3工区） 単年度 450m 累 計 2,417m			
	達成度							
	計画目標に向けて進捗はやや遅れている							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		6,000	4,000	2,000	4,000	0	
	国・県支出金		0	0	0	0	0	
	地方債		6,000	4,000	2,000	4,000	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		0	0	0	0	0	
歳入合計		6,000	4,000	2,000	4,000	0		
課題	林道整備の促進により、森林整備面積を計画的に増加させることが求められる。			方向性	林道の供用開始により計画的な森林資源の活用を図る。 また、全体計画を見直す必要が生じている。			

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	当該年度実施承諾		
	10月	負担金第1回支払い		
	3月	負担金第2回支払い		

本事業に関する主要データ



主な地方債：辺地対策事業

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	4,000		
事業費計			4,000

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
産業経済部農林基盤整備課		林道開設事業費(補助)					
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標				
	林道及び林業専用道を開設することにより、森林資源の開発と森林整備の加速化を図る。		項目(成果指標)	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画
			林業専用道朝酌大海崎線累計完成延長(m)	0	100	1,000	1,900
	目標（何を達成するのか）						
	林業専用道朝酌大海崎線開設(W=3.6m)全延長3,600m						
事業概要		松江市森林整備計画に基づき実施する。 林業専用道を開設することにより、効率的な林業の施業を可能とし、森林資源の開発と森林整備の加速化を図る。 林業専用道朝酌大海崎線 事業計画期間R3～R9 延長L=3,600m 幅員W=3.6m 令和3年度林業専用道朝酌大海崎線測量調査設計業務委託において、路線延長L=3,400mからL=3,600mに変更した。					
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画		
	<林業専用道朝酌大海崎線> ・開設工事 L=100m		<林業専用道朝酌大海崎線> ・開設工事 L=900m		<林業専用道朝酌大海崎線> ・開設工事 L=900m		
	達成度 計画目標に向かって概ね順調						
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		44,234	52,836	11,187	71,762	18,926	
財源内訳	国・県支出金	20,377	26,198	5,574	35,631	9,433	
	地方債	21,300	23,900	5,000	32,500	8,600	
	その他	1,378	0	0	0	0	
	一般財源	1,179	2,738	613	3,631	893	
歳入合計		44,234	52,836	11,187	71,762	18,926	
課題		既設の林道滑線は幅員が狭く、大型機械の進入が困難なため、小型機械での施業となり、コストが高む。		令和2年度末に大海崎町と上宇部尾町の山林を縦貫する林業専用道滑線を竣工し、令和3年度から朝酌町と大海崎町を結ぶ林業専用道を開設することで、大型機械を導入し集約化と路網整備を進展させて低コスト化を図り、持続的な森林経営の確立及び市産材の安定供給体制の構築に資する。			
		方向性					

産業経済部農林基盤整備課

林道開設事業費(補助)

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	林野庁設計協議		
	4～2月	工事 積算、発注、入札、契約～竣工		
	2月	R9年度事業ヒアリング		
	3月	補助金検査		

本事業に関する主要データ



主な地方債：公共事業等

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	41		
需用費	459		
工事請負費	71,262		
事業費計			71,762

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
産業経済部農林基盤整備課		林道点検診断・保全整備事業						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	個別施設計画を基に、林道施設の適切な維持管理を実施し、ライフサイクルコストの低減と維持補修・更新費用の平準化を図る。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			橋梁点検診断（橋）	10	10	0	1	29
			トンネル点検診断（箇所）	0	2	0	0	2
	目標（何を達成するのか）							
既設林道の橋梁やトンネル等について、個別施設計画に基づき、点検診断、補修及び更新等を実施する。		橋梁、トンネル 保全整備事業（件）	0	1	1	1	19	
事業概要	既設林道の橋梁やトンネル等について、個別施設計画を策定するための点検診断、並びに個別施設計画に基づき実施される点検診断及び補修、更新等を実施するもの。							
	林道橋梁・トンネル点検診断（対象：橋梁4m以上、トンネル、その他重要な施設） 林道橋梁 全34橋 うち対象29橋 トンネル 全2箇所 うち対象2箇所 令和3年度：保全整備（新馬見谷橋 1橋、諸喰トンネル 1箇所） 令和4年度：点検診断（橋梁：0橋）※下部工の点検のみ 令和5年度：点検診断（橋梁：7橋）※R4上部工含む 令和6年度：点検診断（橋梁：10橋）、保全整備（橋梁：1橋） 令和7年度：点検診断（橋梁：10橋）、保全整備（橋梁：1橋）、点検診断（トンネル：2箇所）							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	・橋梁 点検診断 N=10橋 保全整備 N=1橋 ・トンネル 点検診断 N=2箇所		・橋梁 保全整備 N=1橋		・橋梁 点検診断 N=1橋 保全整備 N=1橋			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		17,617	36,610	13,051	15,400	-21,210	
	国・県支出金		8,445	17,905	6,519	7,400	-10,505	
	地方債		4,600	10,800	0	8,000	-2,800	
	その他		163	0	0	0	0	
	一般財源		4,409	7,905	6,532	0	-7,905	
歳入合計		17,617	36,610	13,051	15,400	-21,210		
課題	整備後50年以上経過する橋梁が増加しており、耐久性、安全性の面で対策が必要になってきている。 また、海風の影響を受けやすく、環境条件によっても老朽化の早さが異なるため、個別施設計画に基づいたそれぞれの条件に合う適切な維持管理が必要である。		林道の安全な通行を確保するため、個別施設計画に基づいて、林道施設の適切な維持管理を行い、長寿命化を図る。					
			方向性					

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～5月	補助申請		
	5～3月	発注業務		
	2月	R9年度事業ヒアリング		
	2～3月	補助金検査		

本事業に関する主要データ

点 検 診 断																保 全 整 備															
橋 梁	年度	1巡回合計		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		2巡回合計		橋 梁	年度	1巡回合計		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		2巡回合計	
	法点検	～R2		2巡回 (R3～R7) 対象数：29橋													法点検	～R2		2巡回 (R3～R7) 対象数：17橋 (判定Ⅱ以上)											
		判定	数量	判定	数量	判定	数量	判定	数量	判定	数量	判定	数量	判定	数量			判定	数量	判定	数量	判定	数量	判定	数量	判定	数量				
	点検結果	I	13	I	0	I	0	I	0	I	4	I	3	I	3		I	10	実施	0		1	0	0	0	1	1	1	3		
		Ⅱ	13	Ⅱ	0	Ⅱ	0	Ⅱ	3	Ⅱ	4	Ⅱ	6	Ⅱ	13		計画	0		1	0	0	0	1	1	1	17				
		Ⅲ	4	Ⅲ	0	Ⅲ	0	Ⅲ	0	Ⅲ	3	Ⅲ	0	Ⅲ	3		累計	0		1	1	1	1	2	3	—					
		Ⅳ	0	Ⅳ	0	Ⅳ	0	Ⅳ	0	Ⅳ	0	Ⅳ	1	Ⅳ	1																
	計			0		0		7		10		27																			
累計	30		0		0		7		17		27																				

※点検診断にて判定Ⅱ以上を対象とし、緊急度、路線の重要度が高い橋梁から順次実施する。

年度	1巡回合計		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		2巡回合計		トンネル	年度	1巡回合計		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		2巡回合計	
法点検	～R2		2巡回 (R3～R7) 対象数：2箇所													法点検	～R2		2巡回 (R3～R7) 対象数：2箇所 (判定Ⅱ以上)											
	判定	数量	判定	数量	判定	数量	判定	数量	判定	数量	判定	数量	判定	数量			判定	数量	判定	数量	判定	数量	判定	数量	判定	数量				
点検結果	I	0	I	0	I	0	I	0	I	0	I	0	I	0		実施	0		1	0	0	0	0	0	0	1				
	Ⅱ	1	Ⅱ	0	Ⅱ	0	Ⅱ	0	Ⅱ	0	Ⅱ	2	Ⅱ	2		計画	0		1	0	0	0	0	0	0	2				
	Ⅲ	1	Ⅲ	0	Ⅲ	0	Ⅲ	0	Ⅲ	0	Ⅲ	0	Ⅲ	0		累計	0		1	1	1	1	1	1	—					
	Ⅳ	0	Ⅳ	0	Ⅳ	0	Ⅳ	0	Ⅳ	0	Ⅳ	0	Ⅳ	0																
計	2		0		0		0		0		2																			
累計			0		0		0		0		2																			

※点検診断にて判定Ⅱ以上を対象とし、緊急度、路線の重要度が高いトンネルから順次実施する。

健全度判定区分	Ⅰ	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態
Ⅱ	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	
Ⅲ	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態	
Ⅳ	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態	

主な地方債：過疎対策事業

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	600		
工事請負費	14,800		
事業費計		15,400	

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
産業経済部農林基盤整備課		農業用ため池改良事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	ため池堤防決壊等の事故から人命、財産を守るとともに農業用水の安定供給の確保のため、計画的に老朽ため池の改修と廃止を行い、適切な維持管理を図る。 目標（何を達成するのか） ため池の破損箇所の改修、農業用として利用されなくなった池の廃止を行うことによる住民の安心・安全の確保と用水の安定供給を図る。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			ため池改修・廃止数（池）	5	3	5	16	34
事業概要		決壊した場合に、下流の人家や公共施設等に影響を与える恐れがあるため池は農業水路等長寿命化・防災減災事業等により整備及び廃止する。						
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	【ため池廃止工事】 3池 ・柴尾池（西尾町）・金山池（東出雲町）・鏡谷池（東持田町）		【ため池改修工事】 1池 ・光谷池（鹿島町） 【ため池廃止工事】 4池 ・澤下池（東持田町）・トビガス池、宍道池、太平寺池（宍道町）		【ため池改修工事】 2池 ・宇杉池、納田池（鹿島町） 【ため池廃止工事】 14池 ・小谷1池、アヤノウチ池（大野町）国石新池（西持田町）・普源寺上池、普源寺下池普賢寺、仲田上池（上川津町）・金山池、田口池（美保関町）・杉ノ廻池、日吉1池、日吉2池（八雲町）・後廻池、小屋の谷池（玉湯町）・三成池（宍道町）			
	達成度 計画目標に向けて進捗はやや遅れている							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		66,364	89,317	30,000	106,000	16,683	
	国・県支出金		51,947	83,119	30,000	102,200	19,081	
	地方債		8,500	5,500	0	3,100	-2,400	
	その他		5,564	263	0	190	-73	
	一般財源		353	435	0	510	75	
	歳入合計		66,364	89,317	30,000	106,000	16,683	
課題	整備・廃止の必要箇所が多数あり、優先順位をつけて実施する。 市街化区域内のため池は決壊による下流域への被害が大きく、早急な対応が必要であるが、廃止後の維持管理や跡地利用などの検討課題が多い。 近年、国補助額が要望額を大きく下回っており、事業の遅れを懸念している。		方向性		ため池の健全度、決壊時の下流域への影響度等を考慮し、優先順位を決め、改修・修繕を行う。 ため池廃止は地元調整が整い、周辺の土地に影響を及ぼさない池から随時実施する。			

産業経済部農林基盤整備課

農業用ため池改良事業費

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月～9月	工事発注		
	9月～12月	工事完了		
	8月～11月	設計発注		
	1月～3月	設計完了		

本事業に関する主要データ

【ため池廃止工事施工例】（堤体開削）



主な地方債：一般補助施設整備等事業

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	62,000		
工事請負費	44,000		
事業費計			106,000

令和8年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	森林環境譲与税関連事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	森林の公益的機能(地球環境保全機能、水源涵養機能、生物多様性保全機能、土砂災害防止機能等)の保全と林業の成長産業化	項目(成果指標)	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		松江森林組合新規作業員(人/年)	4	2	2	2	2
		新植及び保育面積(ha/年)	55	40	75	90	90
	目標（何を達成するのか）	森林経営管理制度再委託(件/年)	0	1	1	1	1
	・民有林(私有林・市有林)整備の促進 ・木材の有効利用促進 ・林業を支える人材育成・担い手の確保 ・森林・林業の普及啓発						

事業概要	温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から創設された森林環境譲与税を活用し、松江市内の森林整備、林業担い手の育成・確保、木材の利用促進、森林・林業の普及啓発に関する事業を実施する。 ○森林管理運営費：地域林政アドバイザー雇用経費や森林経営推進センターへの森林経営管理制度サポート業務委託など。 ○地域林業振興費：民有林整備や林業の担い手育成・確保、木材有効利用促進事業等への補助金、市産木材を使用した住宅等への補助金、製材・木材加工事業への補助金、市民による森林整備促進を図る森林・林業普及啓発活動事業など。 ○森林整備費：災害による倒木や林道内へ流出した土砂等を除去し、森林環境の維持・保全を図る森林整備環境保全事業、松江市有林整備事業など。 松江市の民有林面積 A=29,031ha、うち人工林7,427ha

事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画	R9計画
	・林業事業体担い手補助金、民有林拡大造林事業補助金、木材有効利用促進補助金、林業機械等購入補助金、松江市産木材活用事業補助金、森林づくり活動支援事業補助金、製材・木材加工事業補助金などの林業関係事業補助金 ・航空レーザ計測による森林資源解析事業 ・森林経営管理制度経営管理意向調査 ・森林経営管理制度経営管理権集積計画・配分計画の策定、再委託 ・市内小学校での森林学習	・林業事業体担い手補助金、民有林拡大造林事業補助金、木材有効利用促進補助金、林業機械等購入補助金、松江市産木材活用事業補助金、森林づくり活動支援事業補助金、製材・木材加工事業補助金などの林業関係事業補助金 ・森林経営管理制度経営管理意向調査 ・森林経営管理制度経営管理権集積計画・配分計画の策定、再委託 ・市内小学校での森林学習 ・市有林整備事業	・林業事業体担い手補助金、民有林拡大造林事業補助金、木材有効利用促進補助金、林業機械等購入補助金、松江市産木材活用事業補助金、森林づくり活動支援事業補助金、製材・木材加工事業補助金などの林業関係事業補助金 ・森林経営管理制度経営管理意向調査 ・森林経営管理制度経営管理権集積計画・配分計画の策定、再委託 ・市内小学校での森林学習 ・市有林整備事業
	達成度		
	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		84,640	94,527	94,527	95,799	1,272
財源内訳	国・県支出金	3,491	7,728	7,728	10,477	2,749
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	5,622	1,004	1,004	2,413	1,409
	一般財源	75,527	85,795	85,795	82,909	-2,886
歳入合計		84,640	94,527	94,527	95,799	1,272

課題 ・外材輸入に伴う木材価格下落により国内の林業は長く低迷し、林業担い手の減少や森林所有者の経営意欲低下を招いている。林業の成長産業化に向けた実効性のある取組みの強化が課題となっている。 ・適切な森林整備が行われず、公益的機能が損なわれた荒廃人工林の増加は、流木や土砂崩れなどの災害を引き起こす一因となっており、災害防止の観点からも継続的な森林整備実施が必要である。	方向性 ・市有林整備事業：主伐と再造林、その後の保育、荒廃天然林の人工林化実施により、将来にわたっての市産木材の安定供給を図る。 ・製材・木材加工事業：循環型林業を推進するため、助成を拡充し、製材・木材加工分野の活性化による林業への好影響を図る。
---	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	各種補助金申請受付、審査、交付決定、確認検査、補助金交付	5月	基金積立または取崩
	6月～2月	森林経営管理制度対象森林調査選定、所有者交渉、事務手続		
	9月～1月	市内小学校での森林学習		
	12月	木育活動(市内の保育施設及び幼稚園へのツリー配布)		

本事業に関する主要データ

森林環境譲与税 松江市譲与額および活用額の推移 (単位：千円)

	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (見込)	R8 (見込)
譲与額	23,708	50,380	50,402	64,934	64,934	81,415	89,192	86,214
譲与額累計	23,708	74,088	124,490	189,424	254,358	335,773	424,965	511,179
活用額累計	16,186	50,910	97,806	161,200	245,769	334,476	423,668	511,285
活用割合	68.3%	68.7%	78.6%	85.1%	96.6%	99.6%	99.7%	100.0%

森林環境譲与税を活用した主な事業



国有林(私有林・市有林)整備



林業担い手の育成・確保



市産木材を使用した住宅への補助



高性能林業機械導入補助



小学校での森林学習



製材・木材加工事業補助

事業の目的

森林の公益的機能保全

- ①生物多様性保全
- ②地球環境保全
- ③土砂災害防止機能
- ④水源涵養機能
- ⑤快適環境形成機能
- ⑥保健・レクリエーション機能
- ⑦文化機能
- ⑧物質生産機能

林業の成長産業化

- ①林業事業体の経営基盤安定
- ②雇用拡大
- ③所得向上

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,281	積立金	7
職員手当等	884		
共済費	528		
旅費	88		
需用費	409		
委託料	27,718		
負担金及び交付金	63,884		
事業費計			95,799

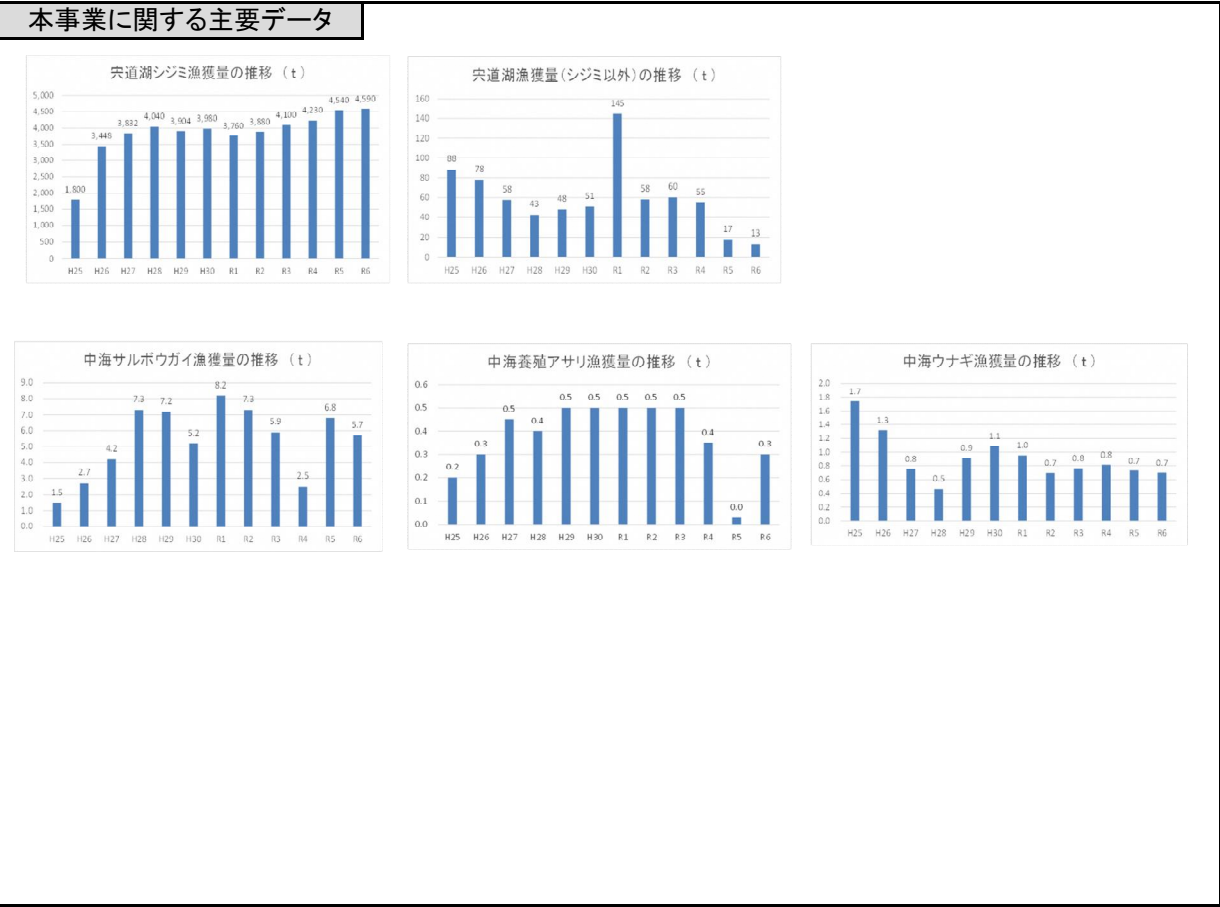
令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
産業経済部水産振興課		宍道湖・中海漁業資源維持再生事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	しじみの資源量は回復傾向にあるが、最盛期に比べるとまだ低く、その他の魚種についても減少している。漁獲量の減少や魚価の低迷、燃料代の高騰等により厳しい状況の漁業経営を打破し、水産業の振興を図る。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			宍道湖しじみ漁獲量(t)	4,590	4,590	4,000	4,000	4,000
	目標（何を達成するのか）		宍道湖漁獲量(t) ※しじみ除く	13	13	60	70	70
	・地域で漁獲される水産資源の増加 ・漁家所得の向上		中海サルボウガイ漁獲量(t)	5.8	2.7	10	15	15
事業概要	宍道湖・中海漁業資源の維持再生を図るため、資源調査の実施・放流等について支援を行う。 【宍道湖】松江市水産業振興事業補助金交付要綱 ①稚魚放流に要する経費への補助(補助率:事業費の3/10以内、限度額:300万円) ②湖心部において浮遊する幼生や人工採苗により採取したシジミを、生息適地へ放流する経費への補助(補助率:事業費の1/2以内、限度額:50万円) ③竹林型増殖施設設置に要する経費への補助(補助率:事業費の1/2以内、限度額:50万円) ④浚渫事業への補助(補助率:事業費の1/2以内、限度額:100万円) ⑤漁業用施設の新設、更新及び修繕に係る経費への補助(補助率:事業費の1/2以内、限度額:200万円) 【中海】 ①アサリ・サルボウガイ人工採苗・養殖施設の整備に要する経費への補助(松江市水産業振興事業補助金交付要綱 補助率:事業費の1/2以内、限度額:200万円) ②ウナギの種苗放流に要する経費への補助(松江市中海種苗放流事業費補助金交付要綱 補助率:事業費の10/10以内)							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	【宍道湖】 ・稚魚放流事業補助(フナ、ウナギ) ・シジミ稚貝採苗放流事業補助 ・竹林礁設置事業補助 ・船着場改修事業補助 【中海】 ・アサリ・サルボウガイ養殖施設整備事業補助 ・中海種苗放流事業補助(ウナギ)		【宍道湖】 ・稚魚放流事業補助(フナ、スジエビ、ウナギ) ・シジミ稚貝採苗放流事業補助 ・竹林礁設置事業補助 ・浚渫事業補助 ・船着場(棧橋)改修事業補助 【中海】 ・アサリ・サルボウガイ養殖施設整備事業補助 ・中海種苗放流事業補助(ウナギ)		【宍道湖】 ・稚魚放流事業補助(フナ、スジエビ、ウナギ) ・シジミ稚貝採苗放流事業補助 ・竹林礁設置事業補助 ・浚渫事業補助 ・船着場(棧橋)改修事業補助 【中海】 ・アサリ・サルボウガイ養殖施設整備事業補助 ・中海種苗放流事業補助(ウナギ)			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		5,325	7,562	7,662	8,376	814	
	国・県支出金		0	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		5,325	7,562	7,662	8,376	814	
	一般財源		0	0	0	0	0	
歳入合計		5,325	7,562	7,662	8,376	814		
課題	・水産資源の減少が深刻化している。資源維持・増殖のため、稚魚等の放流を続ける一方でその生存率を高める措置も講じる必要がある。 ・水産資源量は気象状況に左右されやすく、年による変動が大きい。			・放流する稚魚の生存率を高め、資源の維持・増殖を図る。 ・自然環境に左右されない、人工採苗技術の確立に努める。				
	方向性							

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～2月	宍道湖(種苗放流事業)	5月～6月	中海(種苗放流事業)
	4月～3月	中海(アサリ・サルボウガイ養殖施設整備事業)	6月～10月	宍道湖(シジミ採苗放流事業)
	4月～3月	宍道湖(浚渫事業)	11月～3月	宍道湖(竹林礁設置事業)
	4月～3月	宍道湖(船着場(棧橋)改修事業)		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	8,376		
事業費計			8,376

令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
産業経済部水産振興課		担い手対策事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	本市の水産業を推進し、漁家所得の向上や安定化、漁村地域の活性化により、将来にわたって漁業の持続的な発展を図るもの。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			漁獲量(t)(海面・宍道湖・中海)	8,595	8,595	8,800	9,000	9,000
	目標（何を達成するのか）		漁業就業者数（人）	632	632	720	800	800
	・漁業就業者数の増加 ・漁村地域の活性化		新規漁業者数（人）	12	12	19	19	19
事業概要	①新規漁業者の漁船、漁業用機械・機器等の購入に必要な経費への補助(松江市水産業振興事業補助金交付要綱 補助率:事業費の1/2以内、限度額:3年間で300万円) ②自営漁業者自立給付金(認定新規漁業者へ生活費の一部として給付金を交付する。給付金は、市から県と市の給付金合計額を交付するもの)補助率:県1/2 市1/2 給付額:50歳未満1,200千円×5年間 50歳以上65歳未満600千円×2年間(松江市自営漁業者自立給付金交付要綱) ③沿岸漁業スタートアップ事業補助金(松江市沿岸漁業スタートアップ事業補助金交付要綱 認定新規漁業者が漁船等を整備する際にその経費の一部を助成するもの。補助金は市から県と市の合計額を交付する。補助率:県1/3(上限1,000千円) 市1/3(上限1,000千円) 漁獲量目標値:平成30～令和4年の実績値平均×1.1=9,000 漁業就業者数目標値:令和2～4年の実績値平均値=802 ※令和2年より、JFLしなねが正組合員の資格審査を厳格に行つ							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	自営漁業者自立給付金(3件) 沿岸漁業スタートアップ事業補助金(1件)		自営漁業者自立給付金(3件) 沿岸漁業スタートアップ事業補助金(1件)		自営漁業者自立給付金(4件) 沿岸漁業スタートアップ事業補助金(2件)			
	達成度 計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6		R7		R8	
			決算		予算 決算見込		予算 予算前年度比較	
	事業費		6,600		5,600 5,594		7,800 2,200	
	国・県支出金		3,300		2,800 2,797		3,400 600	
	地方債		0		0 0		0 0	
	その他		1,100		2,800 2,797		2,200 -600	
	一般財源		2,200		0 0		2,200 2,200	
歳入合計		6,600		5,600 5,594		7,800 2,200		
課題	・漁業者の高齢化、資源量の減少などにより、漁獲量は年々減少し、漁家所得の不安定さは増々深刻な問題となっている。漁業就業者を増やすため、安定的な経営に向け、対策を講じる必要がある。				・若手漁業者の参入に対し、安心して着業できるよう、初期の設備投資などに対する支援を充実させていく。 ・漁業の複合経営により安定的な経営及び所得の向上が期待できるため、新たに養殖漁業等の複合経営に取り組むための経費について支援を行う。			
	方向性							

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	地域と食を支える農林水産業の担い手づくり

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	自営漁業者自立給付金		
	4月～3月	沿岸漁業スタートアップ事業補助金		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	7,800		
事業費計			7,800

令和8年度 総合計画実施計画

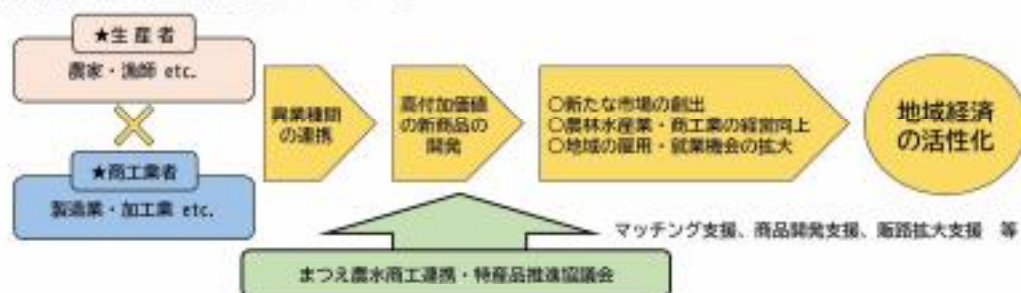
所属		事業名					
産業経済部商工企画課		農(水産)商工連携推進事業費					
事業の目的と目標	目的 (何のために)	数値目標					
	農林水産業者と商工業者の業種を超えた連携を促し、地域資源を活用した新商品開発やその販路拡大の取り組みの支援、経済の域内循環促進等により、地域産業活性化に資するもの。	項目(成果指標)	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		農水商工連携(新商品開発数)(累計)	95	99	102	105	108
	目標 (何を達成するのか)						
	①事業者連携による新商品開発と販売促進 ②地場産品を素材とした商品の創出育成 ③地産地消、地産外商の推進 ④食・産業・体験の新たな観光素材づくり						
事業概要		①農林水産業(生産品)と商工業(技術)を有機的に結びつけ、新商品の開発及び販売促進活動の支援を行う。 ②地域資源・地域産業を担う企業を知る取り組み、高校・大学と連携した新商品開発等を通じ、地域産業を担う人材の育成・交流を行う。 ③地産地消・地産外商推進に向けたPR、イベント出店を行う。 (数値目標の目標年度) 項目名 農水商工連携(新商品開発数):2029(R11)年度					
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画	R9計画				
	○異業種連携による新商品開発・商品改良支援 ・事業者研修会・交流会 3/12実施 ・新商品開発支援4件、商品改良支援1件 ・販路拡大支援1件 ○新商品等の販売促進・販路拡大の取り組み ・松江特産品フェア 10/3～6KITTE大阪 ○開発商品のPR ・ポータルサイト 2コンテンツ追加 ・TikTok 2コンテンツ追加 ○販路拡大に活用した新商品開発支援	○異業種連携による新商品開発・商品改良支援(事業者マッチング、研修会、交流会、商品開発助成など) ○新商品等の販売促進・販路拡大の取り組み(各種イベント出展・支援、商談会参加支援、産学連携事業など) ○開発商品のPR(ホームページ、インスタグラム、フェイスブック、マスコミ向けの完成披露会など)	○異業種連携による新商品開発・商品改良支援(事業者マッチング、研修会、交流会、商品開発助成など) ○新商品等の販売促進・販路拡大の取り組み(各種イベント出展・支援、商談会参加支援、産学連携事業など) ○開発商品のPR(ホームページ、インスタグラム、フェイスブック、マスコミ向けの完成披露会など)				
	達成度						
	計画目標に向けて順調に推移						
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費	999	2,968	2,968	2,011	-957	
	国・県支出金	0	500	500	0	-500	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	999	2,468	2,468	2,011	-457	
歳入合計		999	2,968	2,968	2,011	-957	
課題	・販売を見据えた商品開発の支援強化(「できたものを売る」から「求められるものを売る」への転換) ・開発支援した商品について、開発後のフォローアップ		・商品開発前の段階において、ニーズ分析やターゲットینگ、販売計画や販路の策定を行い、「売って利益を増大させること」を意識した商品開発を行う。 ・開発後の状況を把握し、適宜アドバイスやテコ入れ等を行いブラッシュアップ・販路拡大につなげる。 ・開発商品の情報発信による販売促進支援				
			方向性				

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	6次産業化や農水商工連携による地域経済の活性化

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月	協議会総会		
	2月	事業者研修会・交流会		
	通年	異業種連携支援、新商品開発支援、販売促進支援		
	通年	物販イベント出店(市内外)		

本事業に関する主要データ

【農(水産)商工連携事業について】



【協議会が開発支援した商品について(一部)】



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	397		
使用料及び賃借料	14		
負担金補助及び交付金	1,600		
事業費計			2,011

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
財政部税務管理課 財政部市民税課		宿泊税導入推進事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	宿泊者（納税義務者）の納税意識の高揚（納得した上で納税する）及び宿泊事業者（特別徴収義務者）の円滑な徴収と申告納入を図る。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			特別徴収義務者等登録率（％）	0	100	100	100	100
	目標（何を達成するのか）		年間宿泊客数（万人）	178	178	227	235	250
	宿泊者の宿泊税制度の理解醸成と宿泊事業者の事務負担の軽減		観光客の満足度（％）	55.5	63	66	69	75
事業概要	宿泊税制度の円滑な推進を図るため、登録特別徴収義務者への必要な支援と滞納管理システムの運用を実施する。 ・特別徴収義務者の新規登録手続及び適正な申告納入する上での個別対応（問い合わせ対応や意見交換など） ・宿泊事業者（登録特別徴収義務者）に対する「宿泊税特別徴収事務交付金（R7年度納期内納入額の3.0％）」 ・滞納管理システム運用保守（宿泊税） ・申告納入実績に基づく分析（月別及び地域別の宿泊者数の動向） （数値目標の目標年度） ・特別徴収義務者等登録率（％）：特別徴収義務者の登録数及び登録免除対象者の届出数の計 ・年間宿泊客数（万人）：MATSUE観光戦略プラン（2023-2029）に基づき設定 目標年度：R11年度 ・観光客の満足度（％）：MATSUE観光戦略プラン（令和7年度アクションプランR7～R9）に基づき設定 目標年度：R11年度							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	●宿泊者向け宿泊税制度内容の周知 6月以降（ポスター、チラシ、POPなど） ●宿泊事業者向け説明会 ・経営者向け（5月 12回） ・実務担当者向け（7月 11回） ●宿泊事業者レジシステム改修等補助金 45施設（7,661千円） ・既存レジシステムの改修 ・新規レジシステムの導入 ・ハードウェア及びソフトウェアの購入 ●滞納管理システム改修（宿泊税追加）		●宿泊税特別徴収事務交付金 ●滞納管理システム運用保守（宿泊税）		●宿泊税特別徴収事務交付金 ●滞納管理システム運用保守（宿泊税）			
	達成度							
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8			
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較		
事業費		0	32,186	15,674	4,891	-27,295		
財源内訳	国・県支出金	0	0		0	0		
	地方債	0	0		0	0		
	その他	0	0		1,824	1,824		
	一般財源	0	32,186	15,674	3,067	-29,119		
歳入合計		0	32,186	15,674	4,891	-27,295		
課題	・特別徴収義務者に対し宿泊税制度に関する意見聴取を実施し、条例施行後の検討に活用する。 ・「登録義務免除対象施設（免税点未満）」は、申告納入の義務がないことから宿泊者数の実態把握ができない。宿泊税導入後の制度検証に当たっては、当該施設に対して個別アンケートや聞き取りなどにより実態把握をする必要がある。			方向性	宿泊税条例に規定されている条例施行後の検討を毎年度の施行状況や社会経済情勢の変化を踏まえて適切に実施し、より良い制度の確立につなげていく。			

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを生かしたプロモーションとブランディング戦略

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	特別徴収義務者の新規及び変更登録		
	9月～	特別徴収事務交付金の交付		

本事業に関する主要データ



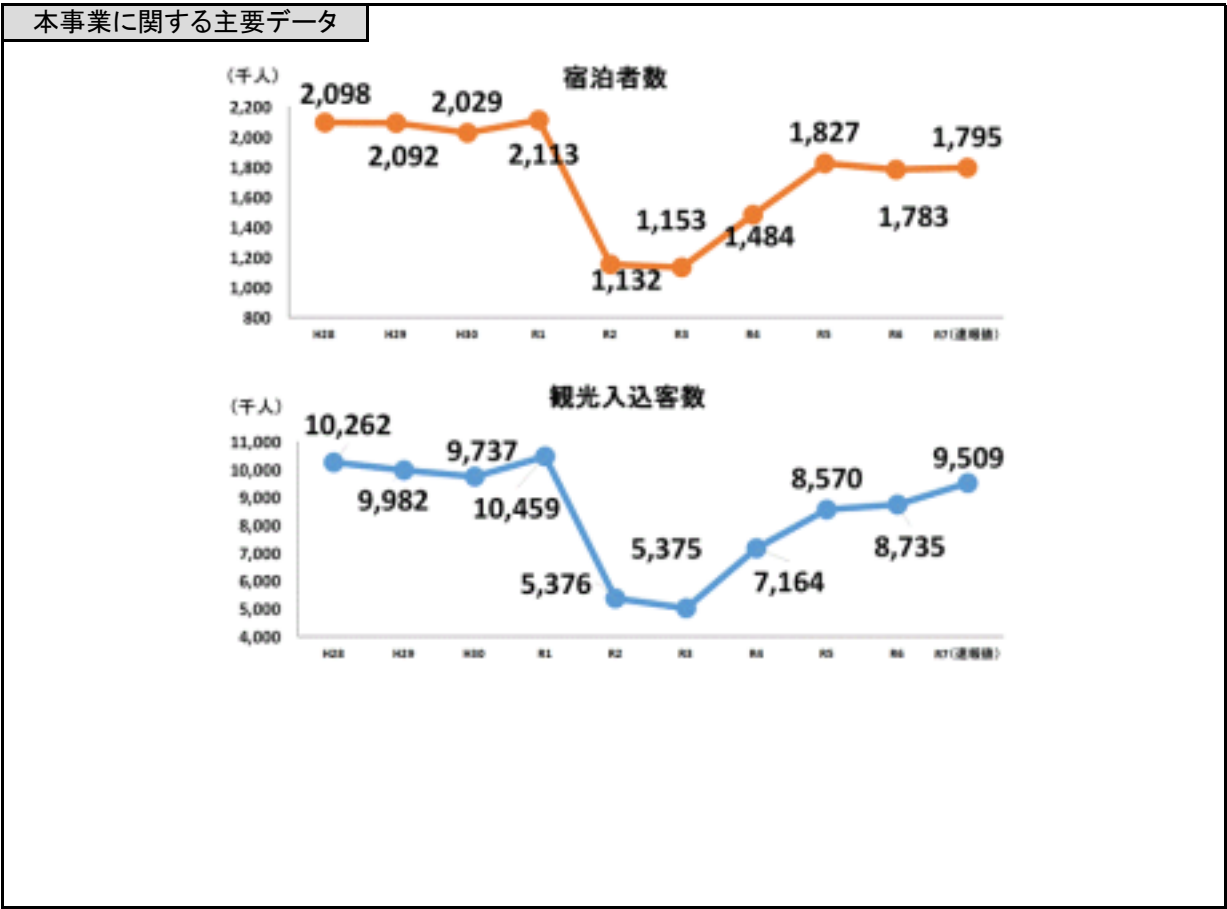
R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	61		
役務費	102		
委託料	2,904		
負担金補助及び交付金	1,824		
事業費計			4,891

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
観光部観光振興課		観光協会運営補助金						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	本市の観光振興を図るため、国宝松江城など、地域の観光資源と特色を最大限に活かした観光事業を推進する。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			年間宿泊客数(万人)	178	179	227	235	250
	目標（何を達成するのか）		観光入込客数(万人)	873	951	1,040	1,060	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。							
事業概要	(数値目標の目標年度) 観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年							
	本市の観光振興を目的とする（一社）松江観光協会に対し、事業費及び人件費の補助を行う。ホームページ、SNSによる情報発信や、旅行会社への商品造成の働きかけ、県外イベントへの出展などを行う。データに基づくマーケティングにより観光客のニーズに応じた商品づくりと効果的なプロモーションを行う。様々な施策を観光協会と連携して実施し、観光消費額の拡大、観光入込客数1,100万人、宿泊客数250万人の実現を目指していく。							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	○情報発信・宣伝広告事業 ・HPやSNS、テレビ等の各種媒体を活用した情報発信 FDA対策 ○観光プロモーション事業 ・観光情報説明会への参加、旅行会社への営業、 ○まちあるき観光・ボランティアガイド事業 ・小泉八雲ゆかりの地を巡るバスツアーやウォーキングツアー等の松江文化を活用した観光客受入 ○イベント運営事業 ・松江水燈路等各種イベントの運営		○情報発信・宣伝広告事業 ・HPやSNS、テレビ等の各種媒体を活用した情報発信 FDA対策 ○観光プロモーション事業 ・観光情報説明会への参加、旅行会社への営業 ○まちあるき観光・ボランティアガイド事業 ・小泉八雲や国宝松江城等の松江ならではのコンテンツを活用した観光客受入 ○イベント運営事業 ・松江水燈路等各種イベントの運営		○情報発信・宣伝広告事業 ・HPやSNS、テレビ等の各種媒体を活用した情報発信 FDA対策 ○観光プロモーション事業 ・観光情報説明会への参加、旅行会社への営業 ○まちあるき観光・ボランティアガイド事業 ・小泉八雲や国宝松江城等の松江ならではのコンテンツを活用した観光客受入 ○イベント運営事業 ・松江水燈路等各種イベントの運営			
	達成度							
	計画目標に向かって概ね順調							
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8			
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較		
事業費		124,695	142,258	147,577	159,210	16,952		
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	39,841	44,561	41,328	1,487		
	一般財源	124,695	102,417	103,016	117,882	15,465		
歳入合計		124,695	142,258	147,577	159,210	16,952		
課題	○認知度不足 ○宿泊客数及び入込客数のコロナ禍からの回復が不十分 ○まちあるきへの誘導策の不足 ○行政と観光協会の役割分担			○プロモーションなどの各種観光施策に取り組み、地域経済の活性化と持続可能な観光地づくりにつなげる。				
	方向性							

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	情報発信、観光プロモーション、まちあるき観光事業等		



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	159,210		
事業費計			159,210

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
観光部観光振興課		城下町・水の都魅力発信事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	観光戦略プランのコンセプト「Authentic Japan “MATSUE” ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」「水の都」にスポットを当て、ブランド力向上を図る。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			年間宿泊客数(万人)	178	179	227	235	250
	目標（何を達成するのか）		観光入込客数(万人)	873	951	1,040	1,060	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1100万人を目指す。							
事業概要	(数値目標の目標年度) 観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年							
	令和5年2月に策定した観光戦略プランを強力に推進するため、コンセプトである「Authentic Japan “MATSUE” ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」にスポットを当てた事業を展開し、松江市の魅力を最大限に活用した観光振興を図る。							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	松江城天守国宝指定10周年を記念した事業を開催した。 ○桜と武者のシーズン開催(3～4月) 桜木のライトアップ、武者をテーマとしたイベント ○特別版お城EXPO in 松江 お城好きの祭典「お城EXPO」の特別版を松江で開催(6月) 来場者：6,281人 ○松江城雲海ライトアップ 人工雲海とライトアップで松江城を華麗に演出(6月～8月) 来場者：7,980人 ○武者のまち発信事業		松江城天守国宝指定10周年で高まった機運を持続させる誘客プロモーションを展開 ○桜と武者のシーズン開催(3～4月) 桜木のライトアップ、武者をテーマとしたイベント ○人気アーティストによる国宝松江城ライブ(7月) ○夜の松江・魅力発信事業 松江城内をプロジェクションマッピングや体験型ライティングなどで演出するとともにSNS等による誘客に向けた情報発信 ○武者のまち発信事業 松江城での武者によるおもてなし		国宝松江城とその城下町、宍道湖の夕日など本市が誇る魅力的な観光資源を活用したイベント・企画、プロモーションを実施する。			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		59,673	68,987	68,987	59,600	-9,387	
	国・県支出金		29,837	34,493	34,493	29,800	-4,693	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	8,500	8,500	
	一般財源		29,836	34,494	34,494	21,300	-13,194	
歳入合計		59,673	68,987	68,987	59,600	-9,387		
課題	○国内外における知名度不足 ○魅力ある観光資源のPR不足		○ユニークで多彩な観光資源を活用した事業を展開するとともに、マーケティング・プロモーションの強化を図る。 ○松江ならではの魅力ある観光素材の磨き上げ。					
			方向性					

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	松江城での武者によるおもてなし		
	3月～4月	桜と武者のシーズン2026		
	7月	国宝松江城ライブ		
	夏～秋	夜の松江・魅力発信事業		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	59,600		
事業費計			59,600

令和8年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	宿泊税活用事業補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	『MATSUE観光戦略プラン2023-2029』に掲げる将来像と数値目標の実現を目指し、持続可能な「国際文化観光都市・松江」への発展を図る。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		観光消費額(億円)	600	622	687	708	750
	目標（何を達成するのか）	年間宿泊客数(万人)	178	179	227	235	250
	宿泊税を最大限に活用し、観光戦略プランに掲げる4つの基本戦略に基づく各種観光施策を着実に推進し、観光消費額750億円、年間宿泊客数250万人を目指す。						

事業概要	(数値目標の目標年度) 観光消費額: 2029(R11)年、年間宿泊客数: 2029(R11)年
	宿泊税活用事業のうち、(一社)松江観光協会が実施する主に以下の事業に対して補助金を交付する。 ①マーケティング・プロモーション: 旅行者の興味や最新のトレンドにあわせた魅力的な観光プラン・体験メニューの開発、ブランディング ②オフシーズン(閑散期)対策: 観光客が減少する冬季・梅雨時季・平日の閑散期対策 ③観光推進組織づくり: 松江観光協会の組織体制強化 ほか

事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画	R9計画
	※「観光推進体制強化事業費(閑散期誘客対策事業費補助金)」において実施 ○マーケティング・プロモーション ・小泉八雲に関するイベント開催など 11/1～12/14の土日祝日(13日間) ツアー参加人数: 215名 ○オフシーズン対策 ・閑散期限定の宿泊割引クーポン等を活用した誘客促進 クーポン発行枚数: 4,497枚予定 ○観光推進組織づくり ・マーケティング実施体制の強化 ・専門人材、正規職員の継続雇用	○マーケティング・プロモーション ・「松江と言えば」をワンフレーズ・ワンショットで表現できるイメージの構築 ・マイクロインフルエンサーを活用したSNS等の情報発信による国内外へのPR ・宿泊エリアに特化したマーケティング ○オフシーズン対策 ・閑散期限定の宿泊割引クーポン等を活用した誘客促進 ・閑散期の魅力づくり ○観光推進組織づくり ・マーケティング実施体制の確立 ・専門人材、正規職員の継続雇用	○マーケティング・プロモーション ・ブランディングの確立 ・旅行スタイルのニーズ、トレンドを的確に捉えたプロモーション ・宿泊エリアに特化したマーケティング ○オフシーズン対策 ・閑散期(梅雨時季、冬季、平日)の誘客促進、魅力づくり ○観光推進組織づくり ・マーケティング実施体制の確立 ・専門人材、正規職員の継続雇用
	達成度		

歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
財源内訳	事業費	0	0	0	249,750	249,750
	国・県支出金	0	0	0	10,000	10,000
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	239,750	239,750
	一般財源	0	0	0	0	0
歳入合計		0	0	0	249,750	249,750

課題	○認知度不足 ○宿泊客数及び観光消費額のコロナ禍からの回復が不十分 ○閑散期の宿泊需要の大幅減 ○DMO機能の脆弱性	方向性	○プロモーションやブランディングは短期間では効果が現れにくい ため、単年度ではなく中長期的な視点でデータ分析による事業の効果検証を行う。 ○桜の時季のプロモーションや梅雨時季閑散期対策などは効果を最大化するために年度をまたいだ取り組みが必要なため、事業を円滑に実施できる補助事業の仕組みを構築する。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	マーケティング・プロモーション等の観光施策		
	梅雨時季、冬季	閑散期対策		
	随時	観光振興小委員会開催		

本事業に関する主要データ

宿泊税活用事業補助金

補助対象事業費 257,500千円、市補助金額 249,750千円（宿泊税 239,750千円）

Ⅰ マーケティング・プロモーション 事業費 135,500千円（宿泊税 127,750千円）		Ⅲ 観光推進組織づくり 事業費 75,000千円（宿泊税 65,000千円）	
○マーケティング・ブランディング（協会） ●「松江と言えば」をワンフレーズ/ワンショットで表現できるイメージの構築、webサイトリニューアル等による世界戦略の統一	21,000千円 (21,000千円)	○マーケティング実施体制（協会） ●観光協会のCR（戦略官）による全体マネジメント、人流データ等の観光動向データ取得	20,000千円 (10,000千円)
○プロモーション（協会） ●インフルエンサーを活用したSNS等の情報発信による国内外へのPR ●インバウンド向けレンタカー・補給、運転手付きガイドツアーの商品化、販売（マップエンジン最適化）や多言語対応	61,500千円 (53,750千円)	○総務体制強化（協会） ●観光協会の専任人材（CR）及び主要職員の雇用費	30,000千円 (30,000千円)
○エリアマーケティング（協会） ●宿泊施設が集積するしんじ湖温泉、玉湯温泉、美保湖エリアの各観光を最大限活用した観光戦略	53,000千円 (53,000千円)	○DMO体制強化（協会） ●持続可能な観光地経営を実現する先進的DMOモデルの確立を目指すした取り組み（観光地経営戦略策定、必須PT取得、助成金等）	12,000千円 (12,000千円)
Ⅱ オフシーズン（閑散期）対策 事業費 40,000千円（宿泊税 40,000千円）		○DMOマネジメント強化（協会） ●市内のリソース（観光関連、人材等）の把握・リスト化、ステークホルダーとの関係性構築	13,000千円 (13,000千円)
○宿泊割引クーポンの発行（協会） ●閑散期（梅雨時季、冬季、平日）に限定した宿泊クーポンの発行による市内宿泊促進	32,500千円 (32,500千円)	Ⅳ 満足度向上・魅力づくり 事業費 7,000千円（宿泊税 7,000千円）	
○冬季観光資源の開発（協会） ●松江の冬の「食」をテーマにした統一コンセプトの宿泊プラン造成と盛り上げ	7,500千円 (7,500千円)	○デジタルマップ作成（協会） ●観光地マップのデジタル化による観光客の周遊促進	7,000千円 (7,000千円)

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	249,750		
事業費計			249,750

令和8年度 総合計画実施計画

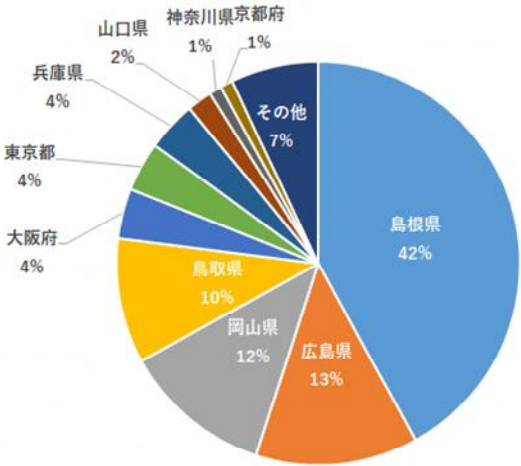
所属		事業名						
観光部観光振興課		松江水郷祭補助金						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	市民の祭りとして定着している松江水郷祭を日本有数の花火大会として県外へPRし観光誘客を図る。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			年間宿泊客数(万人)	178	179	227	235	250
			観光入込客数(万人)	873	951	1,040	1,060	1,100
			年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。					
目標（何を達成するのか）								
事業概要								
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	○開催日：8月2日(土)・3日(日) ○内容： ・湖上花火大会（2日で21,000発、演出面の強化を図った） ・ドローンショー（888機） ・有料観覧席（両日約14,000席） ※販売実績は、総席数28,300席に対して、約77%の21,800席となり、販売金額は予算の95%を達成した。 ・松江だんだんまつり ・商店街イベントなど ○入込客数:2日間で69万人		○開催日：8月1日(土)・2日(日) ○内容： ・湖上花火大会（花火の発数はR7開催と同程度を予定） ・ドローンショー ・有料観覧席（2025開催時の有料観覧席を基本に一部見直し予定） ・関連イベントの開催（事業費内訳） 17,000千円（水郷祭開催経費） 2,000千円（警備強化経費）		○開催日：未定 ○内容： ・湖上花火大会 ・関連イベントの開催 ・有料観覧席（2026開催の結果等を踏まえて検討）			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		24,819	17,000	71,539	19,000	2,000	
	国・県支出金		0	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		9,226	0	65,309	0	0	
	一般財源		15,593	17,000	6,230	19,000	2,000	
歳入合計		24,819	17,000	71,539	19,000	2,000		
課題	○物価高騰による開催コストの増加 ○有料観覧席を購入するメリットの認知度不足 ○交通アクセスが不十分かつ、駐車場の不足		方向性				○花火の魅力を高め、日本有数の花火大会を目指す。 ○安定的な財源を確保するため、有料観覧席を設置 ○有料観覧席の完売に向けたPR及び営業活動の強化 ○市民が誇れる祭に育てるとともに、更なる観光誘客と賑わい創出により地域経済の活性化を図る。	

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	3月	松江水郷祭推進会議		
	8月1日、2日	松江水郷祭		
	10月～12月	松江水郷祭推進会議		

本事業に関する主要データ

R7年度有料観覧席の購入者発地別割合



松江水郷祭入込客数	
年度	万人
R1	48
R2	0
R3	0
R4	40
R5	65
R6	68
R7	69

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	19,000		
事業費計			19,000

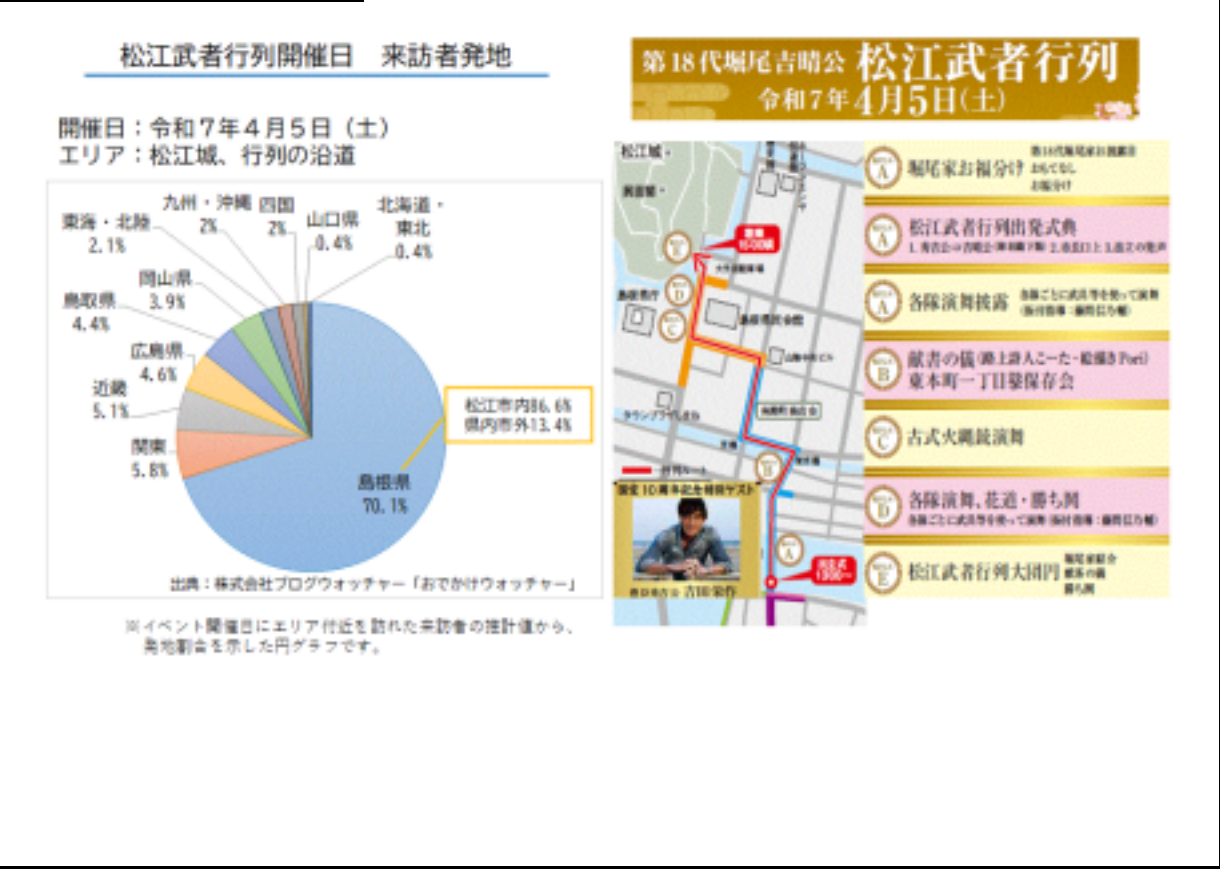
令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
観光部観光振興課		松江武者行列事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	桜咲く春の城下町ならではの時代行列など、歴史を感じる行事を行うことで、城下町松江の観光PRにつなげ、観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		年間宿泊客数(万人)	178	179	227	235	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数(万人)	873	951	1,040	1,060	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。						
事業概要	(数値目標の目標年度) 年間宿泊客数:2029(R11)年、観光入込客数:2029(R11)年						
	平成15年度より開催する、堀尾吉晴公とその一行が松江城に入城するシーンを表現した市民参加型イベント。毎回、前年度に参加者募集、練習会、着付け講習会などを実施し、本番に向けた準備を行う。お城まつりに合わせ武者をテーマにイベントを実施し、誘客を図る。						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	○開催日:4月5日(土) 松江城天守国宝指定10周年記念の特別ゲストとして俳優の吉田栄作氏が豊臣秀吉役で行列に参加。 行列本番前後での関連企画「城中いきなり時代劇」や「出陣式」等を行い相乗的な盛り上げを図り誘客につなげた。	○開催日:4月4日(土) 行列本番前後での「城中いきなり時代劇」や「出陣式」等関連企画の実施		○第20回記念松江武者行列の開催。 ○「桜と武者のシーズン」と題し、行列本番前後での「城中いきなり時代劇」や「出陣式」等関連企画の実施。			
	達成度						
計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費	12,400	14,000	14,000	12,980	-1,020	
	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	6,200	0	0	0	0	
財源内訳	一般財源	6,200	14,000	14,000	12,980	-1,020	
	歳入合計	12,400	14,000	14,000	12,980	-1,020	
課題	○国内外における知名度不足 ○魅力ある観光資源のPR不足		○観光誘客に向けて事前のPR・情報発信を強化することで、認知度を高めより効果的な誘客イベントとなるよう見直しを行う。				
			方向性				

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	松江武者行列及び関連企画の実施		
	10月	武者行列参加者募集		
	1月	主役選考会、説明会		
	2月～3月	練習会、着付け講習会、ワークショップ		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	12,980		
事業費計			12,980

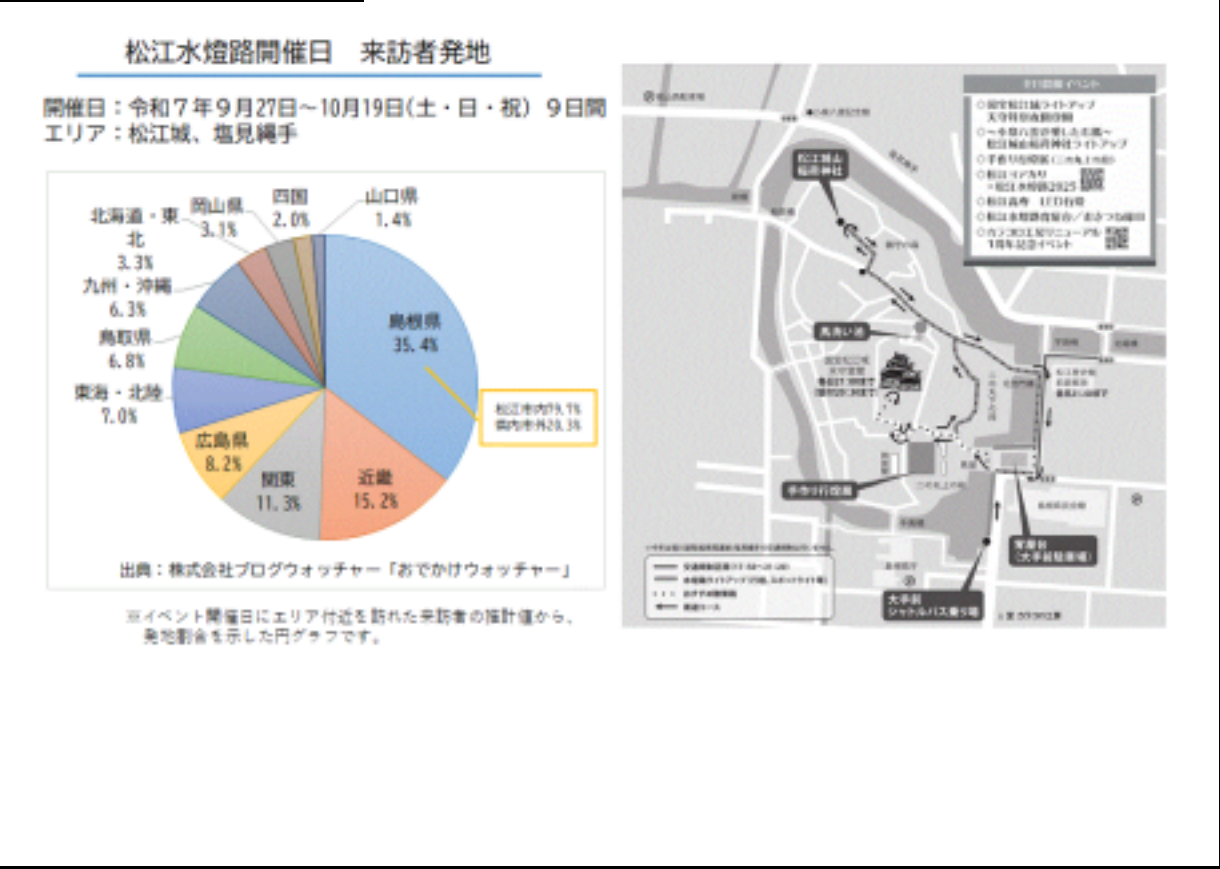
令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
観光部観光振興課		松江水燈路事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	城下町松江の夜の賑わいを創出し、宿泊客数の増加及び夜の消費喚起につなげる。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			年間宿泊客数(万人)	178	179	227	235	250
	目標（何を達成するのか）		観光入込客数(万人)	873	951	1,040	1,060	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。							
事業概要	(数値目標の目標年度) 年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年							
	松江城周辺のライトアップ、市民の手作り行灯などで灯りの演出を行うとともに、音楽や伝統芸能などのイベント、屋台などによる夜の賑わいを創出することで夜のまち歩きを推進する。							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	○灯りの演出 松江城周辺のライトアップ 市民の手作り行灯設置、コンテスト実施 アーティスト行灯の設置 ○賑わいづくり イベント実施（音楽、伝統芸能など） 藝行列前夜祭ほか 屋台設置 開催日：9月27日(土)～10月19日(日)		○灯りの演出 松江城周辺のライトアップ 市民の手作り行灯設置、コンテスト実施 アーティスト行灯の設置 ○賑わいづくり イベント実施（音楽、伝統芸能など） 藝行列前夜祭ほか 屋台設置		＜灯りの演出＞ ○松江城周辺のライトアップ ○市民の手作り行灯設置、コンテスト実施 ○アーティスト行灯の設置 ＜賑わいづくり＞ ○イベント実施（音楽、伝統芸能など） ○藝行列前夜祭ほか ○屋台設置			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		22,000	22,000	22,000	22,000	0	
	国・県支出金		11,000	7,000	7,000	11,000	4,000	
	地方債		0	0		0	0	
	その他		0	0		0	0	
	一般財源		11,000	15,000	15,000	11,000	-4,000	
歳入合計		22,000	22,000	22,000	22,000	0		
課題	○認知度不足 ○周知・連携不足により地域への波及効果が限定的			方向性	○観光誘客に向けて事前のPR・情報発信を強化する。 ○松江城を起点に周辺のまち歩きへと促す仕組み作りに取り組むことで、観光消費に寄与するイベントを構築する。			

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	9月上旬	実行委員会		
	9月下旬	イベント開始		
	10月下旬	イベント終了		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	22,000		
事業費計			22,000

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
観光部観光振興課		嫁ヶ島活用事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	松江市内での滞在時間の延長、宿泊客の増加を目的として、夜の観光や水の都・松江らしい景観を演出するために嫁ヶ島を活用したライトアップやイベントを行うもの。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			年間宿泊客数(万人)	178	179	227	235	250
	目標（何を達成するのか）		観光入込客数(万人)	873	951	1,040	1,060	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。							
事業概要	(数値目標の目標年度)年間宿泊客数:2029(R11)年、観光入込客数:2029(R11)年							
	1. 嫁ヶ島への渡航イベントやPR事業など嫁ヶ島を活用した観光振興事業に補助。 ・歩いて渡る嫁ヶ島(8月) ・万灯会(9月) ・仲秋の嫁ヶ島(10月) 2. 嫁ヶ島ライトアップ常設化に伴いライトアップを実施(4月～11月)するための渡船と発電、及び機器の管理を業務委託。							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	○嫁ヶ島観光利活用事業補助金 ・嫁ヶ島を活用したイベントを季節ごとに開催。 万灯会(9月):参加者約100人 歩いて渡る嫁ヶ島(8月):参加者292人 仲秋の嫁ヶ島(10月):参加者大人618人・小人97人 ・嫁ヶ島の草刈など環境保護の活動実施。 ○常設ライトアップ(4月～11月末)の点灯・維持管理業務委託		○嫁ヶ島観光利活用事業補助金 ・嫁ヶ島を活用したイベントを季節ごとに開催。 万灯会、歩いて渡る嫁ヶ島、仲秋の嫁ヶ島 ・嫁ヶ島の草刈など環境保護の活動実施。 ○常設ライトアップ(4月～11月末)の点灯・維持管理業務委託		○嫁ヶ島観光利活用事業補助金 ・嫁ヶ島を活用したイベントを季節ごとに開催。 万灯会、歩いて渡る嫁ヶ島、仲秋の嫁ヶ島 ・嫁ヶ島の草刈など環境保護の活動実施。 ○常設ライトアップ(4月～11月末)の点灯・維持管理業務委託			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		2,701	3,000	2,823	3,400	400	
	国・県支出金		1,351	1,007	1,007	1,700	693	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		1,350	1,993	1,816	1,700	-293	
歳入合計		2,701	3,000	2,823	3,400	400		
課題	○「水の都 松江」の認知度不足 ○夜の滞在時間延長につながるコンテンツの不足		○嫁ヶ島の景観維持・観光活用を目的に行われる各種事業を広く市民や観光客にPRし、水の都松江の観光スポットとしての活用を図る。 ○大橋川の改修にともない水辺の利活用について、さまざまな検討、取り組みがなされており、関係する団体との連携を図る。					
			方向性					

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～11月	嫁ヶ島ライトアップ		
	8月	歩いて渡る嫁ヶ島		
	9月	万灯会		
	10月	仲秋の嫁ヶ島		



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,900		
負担金補助及び交付金	1,500		
事業費計		3,400	

令和8年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	ジオパーク推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	ジオパークの取組を通じて、大地の成り立ちと生態系、歴史文化を学び、見つめ直すことで、ふるさとへの誇りと愛着を深める。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		松江ビジターセンター年間来場者数(人)	6,190	6,200	6,300	6,400	6,600
		認定ガイド総数（延べ人数）	62	71	77	83	95
	目標（何を達成するのか）	ジオサポーター年間登録者数(人)	342	357	360	363	369
	・地球の貴重な遺産をまもり、次世代に引き継ぐ。 ・持続可能な地域づくりのために挑戦する人材を育てる。 ・多くの来訪客にジオ・エコ・ヒトを伝えることで、地域振興や観光振興につなげる。						

事業概要	(数値目標の目標年度)
	項目名 松江ビジターセンター年間来場者数 : 2029(令和11)年度
	項目名 認定ガイド総数 : 2029(令和11)年度
	項目名 ジオサポーター年間登録者数 : 2029(令和11)年度
	・本ジオパークは、地域住民のふるさとへの誇りと愛着を育む活動や、地域の自然環境の保全と教育活動に取り組み、地域振興や観光振興につなげている。神話の地ならではの「出雲国風土記の自然と歴史に出合う大地」をテーマに、令和7年度末に策定する推進行動計画(計画期間:令和8～11年度)にもとづき、官民挙げた取り組みを推進していく。

	R7実績見込	R8計画	R9計画
事業の成果及び実績	・日本ジオパーク再認定審査 ・次期推進行動計画（令和8～11年度）の策定 ・「小泉八雲とセツの足跡を辿るジオの旅」(3回)、島根町野井(2回)・立久恵峡(1回)での自然体験イベントの開催 ・学術研究奨励事業補助金研究報告会の開催(1回) ・パートナーシップ協定締結（令和7年度3団体、累計20団体と締結） ・ジオガイドの養成 ・ジオサポーター加入促進	・日帰りジオツアー、自然体験イベントの開催 ・自然災害学習会の開催 ・フォトコンテストの開催 ・外国語パンフレットの製作 ・地質サイト解説資料の作成 ・海洋環境問題に関する情報発信 ・ジオガイドの養成 ・ジオサポーター加入促進 ・ホームページなどでの情報発信 ・地域団体、小学校などへの補助金交付など	・日帰りジオツアー、自然体験イベントの開催 ・自然災害学習会の開催 ・地質サイト解説資料の作成 ・海洋環境問題に関する情報発信 ・ジオガイドの養成 ・ジオサポーター加入促進 ・ホームページなどでの情報発信 ・地域団体、小学校などへの補助金交付など
	達成度		
	計画目標に向けて順調に推移		

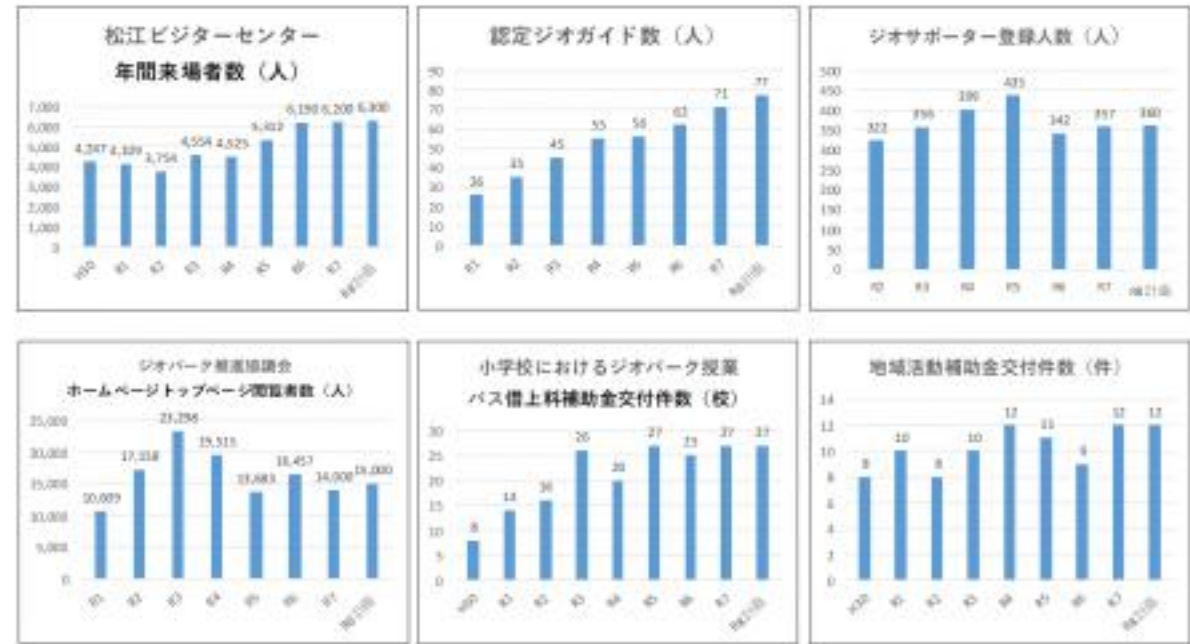
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		11,216	11,492	10,935	11,727	235
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	11,216	11,492	10,935	11,727	235
	一般財源	0	0	0	0	0
歳入合計		11,216	11,492	10,935	11,727	235

課題 ・地域内外からの観光誘客の促進 ・ブランディング戦略にもとづくジオパークの認知度向上とブランド価値の定着 ・保全管理計画にもとづく保全活動の推進 ・より多くのジオサポーターを募ることでの自主財源の獲得 ・全国のジオパークとの連携強化	方向性 ・令和7年度末に策定する次期推進行動計画(計画期間:令和8～11年度)で各課題への対応を図る。 ・本計画にもとづき、松江・出雲両市の連携を図り、島根大学などの教育機関や地域団体・住民、企業、全国のジオパークなどの協力を得ながら着実に活動を展開していく。
--	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	8月	宍道湖遊覧船エコクルーズイベントの開催	通年	フォトコンテストの開催
	8月	木村渡船国引き神話クルーズイベントの開催	通年	外国語パンフレットの製作
	9月	自然災害学習会の開催	通年	地質サイト解説資料の作成
	10月	小泉八雲とセツの足跡を辿るジオの旅の開催(3回)	通年	海洋環境問題に関する情報発信

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,228		
職員手当等	864		
共済費	549		
旅費	71		
負担金補助及び交付金	8,015		
事業費計			11,727

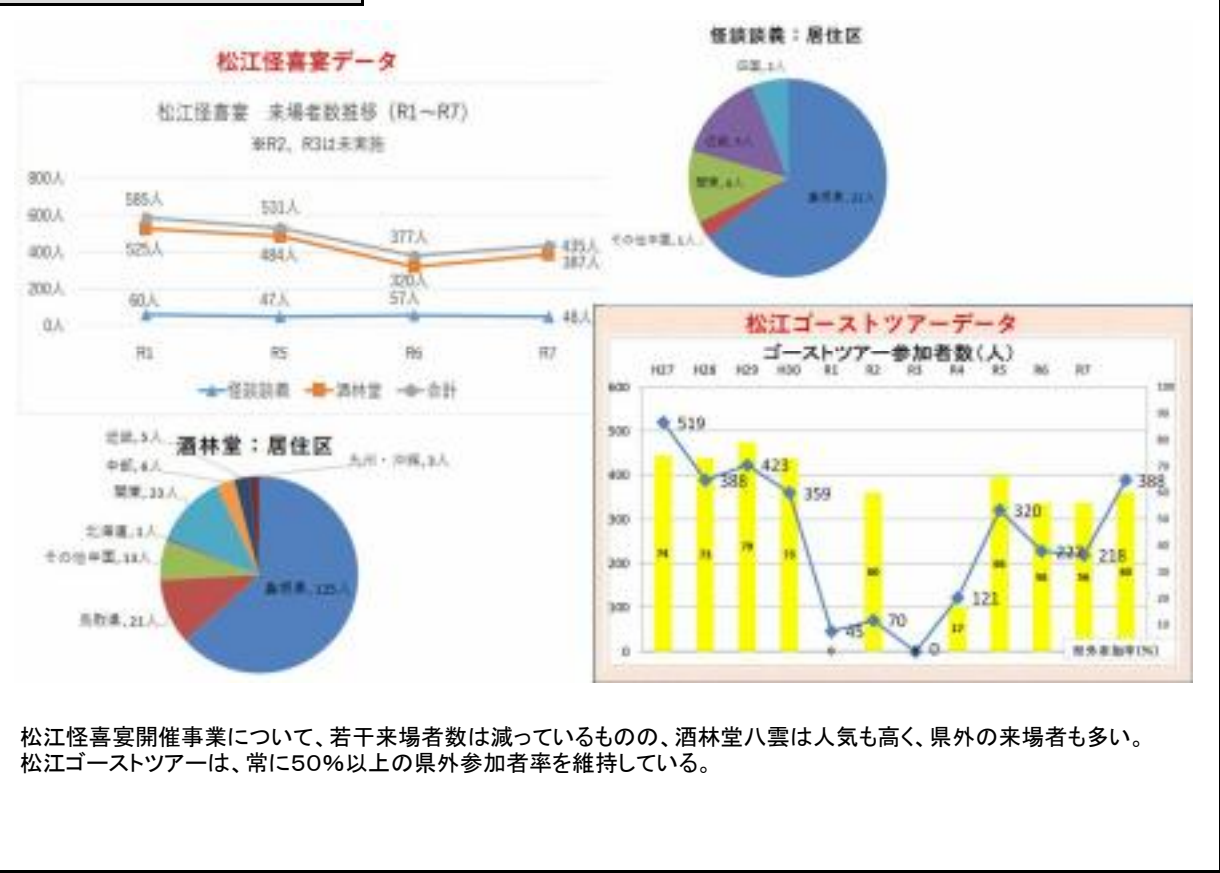
令和8年度 総合計画実施計画

所 属		事 業 名						
観光部観光振興課		「怪談のふるさと松江」事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	松江ならではの「怪談」をテーマとした観光素材を利用して効果的に情報発信することで、新たな観光客層からの誘客を推進する。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			年間宿泊客数(万人)	178	179	227	235	250
	目標（何を達成するのか）		観光入込客数(万人)	873	951	1,040	1,060	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。							
事業概要	(数値目標の目標年度)年間宿泊客数:2029(R11)年、観光入込客数:2029(R11)年							
	「松江怪喜宴」(酒林堂八雲)の開催 酒林堂八雲:観光大使茶風林氏(声優)企画演出による怪談朗読会 平成26年度開始 ○主催:松江怪喜宴実行委員会(市が事務局) ○実行委員会に補助金を交付する 「松江ゴーストツアー」の開催 ○主催:松江観光協会 ○松江観光協会に補助金を交付する							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	○松江怪喜宴 ・松江怪談談義(10月4日) 怪談をテーマにしたトークイベント 来場者:48人 ・酒林堂八雲(10月25日・26日) 声優による怪談朗読会 来場者:320人 ○松江ゴーストツアー 合計30回開催 参加者:388人		○松江怪喜宴 第10回の節目を迎える酒林堂八雲の内容を拡充(著名な声優の招聘など)。 【酒林堂八雲】 声優による怪談朗読会 ○松江ゴーストツアー コースを見直し催行回数を増やす。		○松江怪喜宴の開催 【酒林堂八雲】 声優による怪談朗読会 ○松江ゴーストツアーの開催			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
			決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費		2,200	6,140	6,140	5,459	-681	
	国・県支出金		0	1,920	1,920	0	-1,920	
	地方債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		2,200	4,220	4,220	5,459	1,239	
歳入合計		2,200	6,140	6,140	5,459	-681		
課題	○「怪談のふるさと松江」の認知度不足		○松江怪喜宴は、今後も人気の声優を活用し、県外からの誘客・認知度向上を図る。 ○ドラマ放送により注目を集める中、松江ゴーストツアーの催行回数を増やすことで、観光客の満足度向上と誘客促進を図る。					
			方向性					

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～12月	松江ゴーストツアースタート		
	5月	松江怪喜宴実行委員会開催		
	7月	酒林堂八雲		

本事業に関する主要データ



松江怪喜宴開催事業について、若干来場者数は減っているものの、酒林堂八雲は人気も高く、県外の来場者も多い。
松江ゴーストツアーは、常に50%以上の県外参加者率を維持している。

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	5,459		
事業費計			5,459

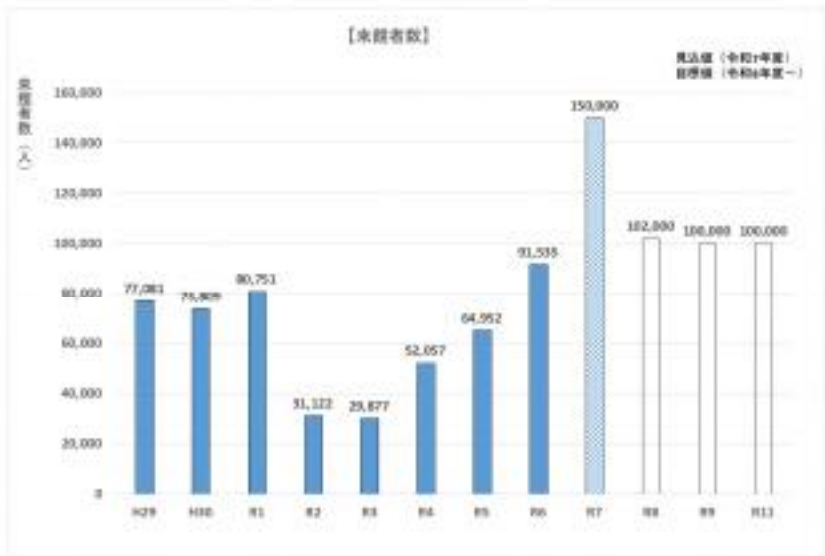
令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
文化スポーツ部文化振興課		小泉八雲記念館管理運営費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	・小泉八雲の功績を後世に伝える施設として、小泉八雲の遺品、図書、資料等を収集、保管、展示を行う。 ・多様な市民のニーズに応え、交流、発表、学びの場を提供する。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		入館者数(人)	91,535	150,000	102,000	100,000	100,000
	目標（何を達成するのか）						
	・小泉八雲の顕彰、普及啓発 ・施設の適切な管理・運営 ・幅広い情報発信						
事業概要	(数値目標の目標年度) 項目名 入館者数(人) : 2029(R11)年度						
	指定管理制度にて小泉八雲記念館の管理運営を行うもの。 指定管理者:一般社団法人八雲会 指定管理期間:令和7年4月1日～令和11年3月31日(4年間) ・入館者へ安全で快適な環境を提供し、適切な広報を行うなど、施設の利用促進を積極的に図る。 ・小泉八雲の遺品、図書、資料等を活用した常設展・企画展、各種イベントを開催する。 ・法定点検等施設管理を行う。						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	【施設管理】 ・指定管理料:0円(見込) ・企画展「小泉セツラフカディオ・ハーンの妻として生きて第2期(令和7年6月13日～令和8年9月6日)」 ・入館者の増加に対応した混雑緩和策(予約システム導入等)を講じた。 【入館者の状況】 ・NHKの連続テレビ小説「ばけぼけ」の放送決定が発表された以降、入館者が増加し、9月末の放送開始後はさらに増加した。令和8年度は前年度比1.4倍となる見込み。	【施設管理】 ・指定管理料:9,356,000円 ・企画展「小泉セツラフカディオ・ハーンの妻として生きて第2期(令和7年6月13日～令和8年9月6日)」 ※令和8年9月6日以降開催予定の企画展は詳細調整中		企画展 年1回程度 指定管理料 未定			
	達成度						
	計画目標に向けて順調に推移						
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		27,742	22,432	10,266	19,580	-2,852	
財源内訳	国・県支出金	0	0		0	0	
	地方債	0	0		0	0	
	その他	11	10	11	11	1	
	一般財源	27,731	22,422	10,255	19,569	-2,853	
歳入合計		27,742	22,432	10,266	19,580	-2,852	
課題	・国内外への情報発信の強化 ・小泉八雲記念館と旧居の一体的な活用 ・隣接市有地の活用			松江城を始めとする、周辺の文化・観光施設と連携しながら、より質の高い文化観光施設として機能を充実させる。			
				方向性			

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～6月	企画展「小泉セツラフカディオ・ハーンの妻として生きて」		
	6月～	企画展「小泉セツラフカディオ・ハーンの妻として生きて第2期」		
	通年	施設の管理運営		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	3,720		
共済費	658		
旅費	500		
需用費	871		
委託料	10,260		
使用料及び賃借料	39		
工事請負費	3,532		
事業費計		19,580	

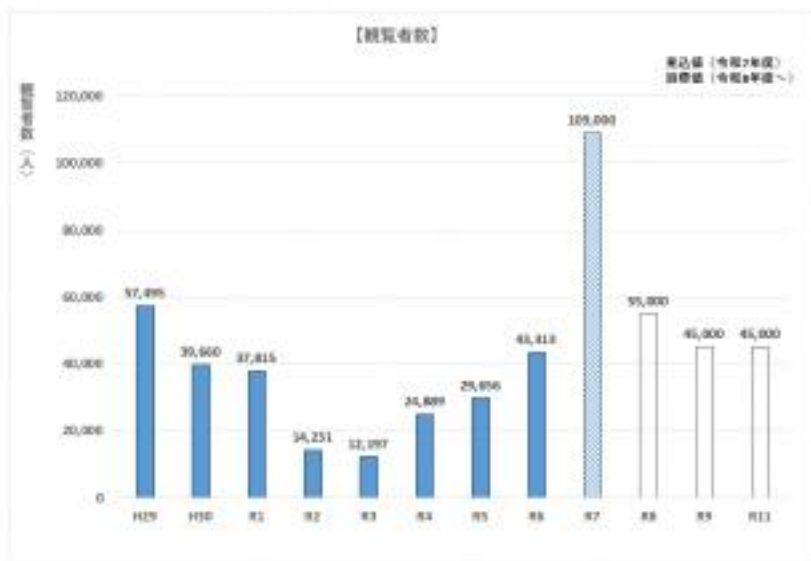
令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
文化スポーツ部文化振興課		小泉八雲旧居管理運営費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	小泉八雲が暮らしした建物及び庭を保存し、その一部を観覧用に供することにより、小泉八雲に対する知識と理解を広め、文化振興に寄与することを目的とする。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		観覧者数(人)	43,313	109,000	55,000	45,000	45,000
目標（何を達成するのか）							
・小泉八雲の顕彰、普及啓発 ・施設の適切な管理・運営 ・幅広い情報発信							
事業概要	(数値目標の目標年度) 項目名 観覧者数(人)：2029(R11)年度						
	指定管理制度にて小泉八雲旧居の管理運営を行うもの。						
	指定管理者：一般社団法人八雲会 指定管理期間：令和7年4月1日～令和11年3月31日(4年間)						
	・観覧者へ安全で快適な環境を提供し、適切な広報を行うなど、施設の利用促進を積極的に図る。 ・国の史跡であることから、文化財保護法に基づき、適切な施設管理を行う。 ・法定点検等施設管理を行う。						
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画		
	【施設管理】 ・指定管理料：0円(見込) ・観覧者の増加に対応した混雑緩和策(予約システム導入等)を講じた。		【施設管理】 ・指定管理料：2,703,000円		指定管理料 未定		
	【観覧者の状況】 ・NHKの連続テレビ小説「ばけげん」の放送決定が発表された以降、観覧者が増加し、9月末の放送開始後はさらに増加し、令和6年度比で2.51倍となる見込。						
	達成度						
計画目標に向けて順調に推移							
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		5,386	5,045	2,328	2,854	-2,191	
財源内訳	国・県支出金	0	0		0	0	
	地方債	0	0		0	0	
	その他	60	0		0	0	
	一般財源	5,326	5,045	2,328	2,854	-2,191	
	歳入合計	5,386	5,045	2,328	2,854	-2,191	
課題	・国内外への情報発信の強化 ・建物の耐震化等の防災対策 ・旧居未公開部分の公開 ・小泉八雲記念館と旧居の一体的な活用 ・隣接市有地の活用			松江城を始めとする、周辺の文化・観光施設と連携しながら、より質の高い文化観光施設として機能を充実させる。			
	方向性						

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	施設の管理運営		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	2,854		
事業費計			2,854

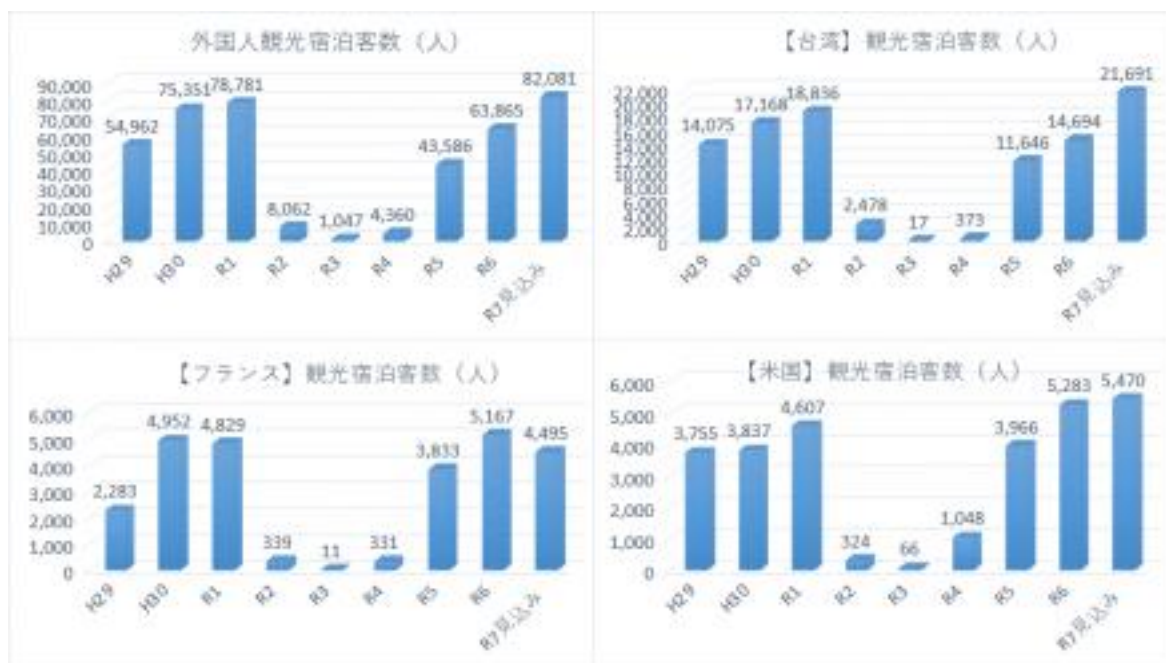
令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
観光部国際観光課		インバウンド観光推進事業費						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	海外に向けたプロモーション、情報発信を行うとともに、外国人観光客が快適に滞在、周遊できる環境整備を行い、更なる誘客につなげる。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			外国人観光宿泊客数(人)	63,865	82,081	102,000	118,000	150,000
	目標（何を達成するのか）							
	外国人観光宿泊客数 150,000人〔2029(R11)年〕							
(数値目標の目標年)外国人観光宿泊客数:2029(R11)年								
事業概要	1 海外に向けたプロモーション (1) 重点市場 東アジア・欧米・東南アジア (2) 事業内容 ①旅行会社への営業、商談会への参加による商品造成促進 ②イベント等への出展やSNS等を活用した情報発信によるPR活動 ③スポーツツーリズムをテーマとした誘客促進 2 国内在住外国人等の発信力を活用した国内外へのアプローチ 3 受入環境整備 外国語パンフレット、マップ作成等							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	台湾:サイクリングツアー誘致活動、スポーツツーリズム(マラソン)をテーマとしたプロモーション、現地旅行会社プロモーション、現地商談会参加、イベント出展、現地大学との連携 韓国:ブログ運営、専門職員配置、航空会社・旅行会社プロモーション 仏国:在日フランス商工会議所を活用した情報発信、旅行会社プロモーション 米国:旅行会社プロモーション 共通:国際交流員によるSNS等での情報発信、JNTOによる情報発信		台湾:スポーツツーリズムをテーマとしたプロモーション、現地旅行会社プロモーション、現地商談会参加、イベント出展 韓国:ブログ運営、専門職員配置、旅行会社プロモーション 仏国:在日フランス商工会議所を活用したプロモーション、国内外旅行会社プロモーション、旅行博出展 共通:訪日旅行を取り扱う国内旅行会社プロモーション、国際交流員によるSNS等での情報発信、JNTOによる情報発信		台湾:スポーツツーリズムをテーマとしたプロモーション、現地旅行会社プロモーション、現地商談会参加、イベント出展 香港:旅行会社プロモーション、SNS等での情報発信 韓国:ブログ運営、専門職員配置、旅行会社プロモーション 仏国:在日フランス商工会議所を活用したプロモーション、国内外旅行会社プロモーション、旅行博出展 米国:旅行会社プロモーション 共通:訪日旅行を取り扱う国内旅行会社プロモーション、国際交流員によるSNS等での情報発信、JNTOによる情報発信			
	達成度							
	計画目標に向けて進捗はやや遅れている							
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8			
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較		
事業費		15,321	20,296	19,856	17,274	-3,022		
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	50	0	0	0	0		
	一般財源	15,271	20,296	19,856	17,274	-3,022		
歳入合計		15,321	20,296	19,856	17,274	-3,022		
課題	海外における本市の認知度が低いこと。			SNS等を活用した情報発信や旅行博・イベント出展、旅行会社セールス等のプロモーションを実施し、認知度向上を図る。				
				方向性				

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	インバウンド強化事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	各種情報発信		
	通年	商談会・イベント等によるPR		
	通年	国内外旅行会社招請		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	2,058		
需用費	600		
役務費	325		
委託料	8,139		
使用料及び賃借料	200		
負担金補助及び交付金	5,941		
公課費	11		
事業費計			17,274

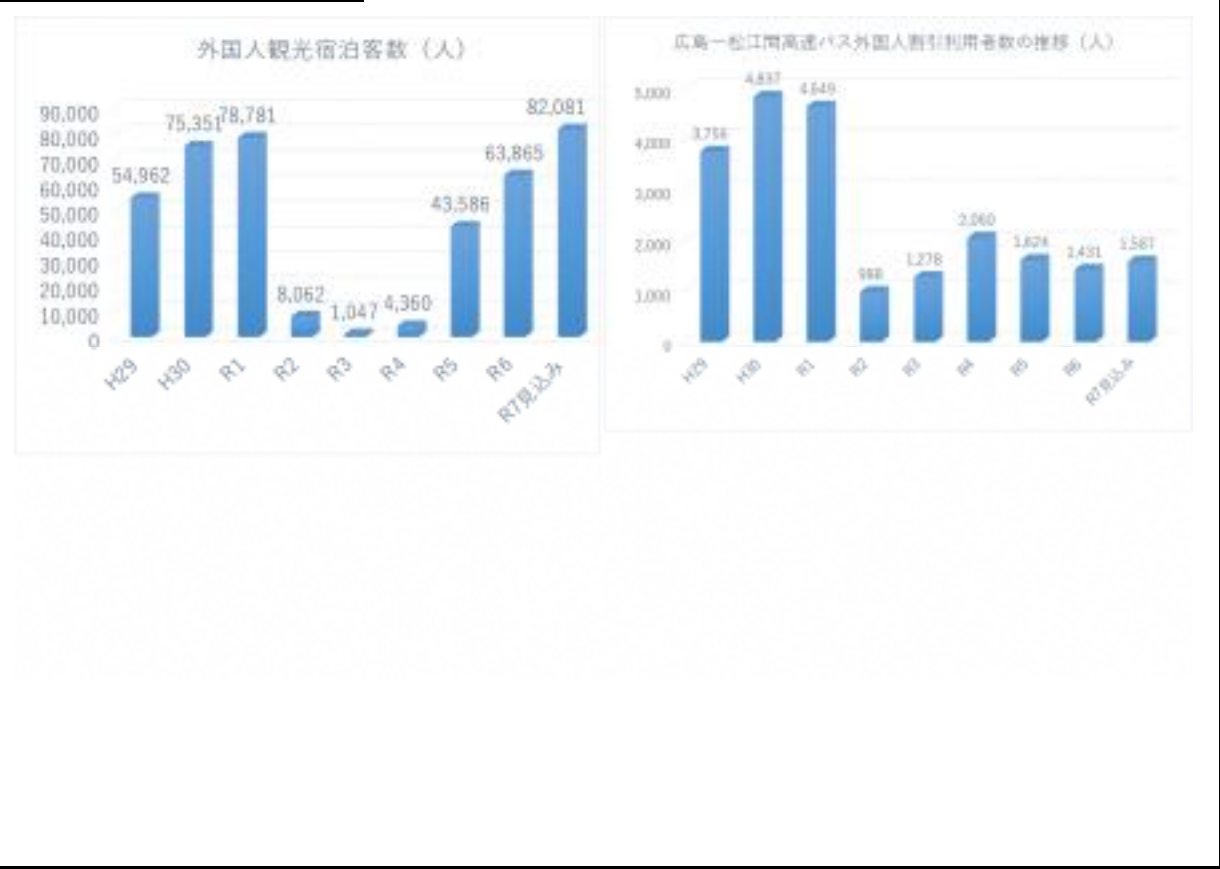
令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
観光部国際観光課		広域観光周遊ルート整備促進事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	広島を中心に多くの外国人観光客が訪れる山陽方面と当市を縦軸で結ぶ周遊ルートを確立し、当市への外国人観光客誘致につなげる。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		外国人観光宿泊客数(人)	63,865	82,081	102,000	118,000	150,000
	目標（何を達成するのか）						
	外国人観光宿泊客数 150,000人〔2029(R11)年〕						
事業概要		(数値目標の目標年) 外国人観光宿泊客数:2029(R11)年 2026年度からバス事業者が新たに実施する、広島松江間高速バスの外国人利便性向上策(海外OTAでのチケット予約・販売)の周知を図るため、Webプロモーション事業を島根県、出雲市と連携し、実施するもの。バスチケット購入の利便性向上により、外国人の広島松江間高速バスの利用を促進し、ひいては広島からの外国人誘客につなげる。 ※OTAとは・・・インターネット上で航空券・宿泊施設・交通機関等の旅行商品を検索、予約、決裁できるオンライン旅行会社のこと					
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	広島松江間の高速バス運賃割引事業 R7年度利用見込み者数 1,587人 自己負担額を1,000円から1,400円に変更	バス事業者が整備した海外OTAを活用した広島松江間高速バスチケットの予約、販売の仕組みについて、島根県、出雲市と連携し、Webプロモーションにより海外にPRする。 また、近年の円安進行や世界的な物価高騰により、日本の物価水準は相対的に割安な状況となっている。これにより価格面で優遇する施策の必要性は低下していることから、広島松江間高速バス外国人割引事業は廃止とする。		バス事業者が整備した海外OTAを活用した広島松江間高速バスチケットの予約、販売の仕組みについて、島根県、出雲市と連携し、Webプロモーションにより海外にPRする。			
	達成度	計画目標に向けて進捗はやや遅れている					
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		2,147	2,564	2,564	1,500	-1,064	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	2,147	2,564	2,564	1,500	-1,064	
歳入合計		2,147	2,564	2,564	1,500	-1,064	
課題	海外における本市の認知度が低いこと。		利用者が減少する広島松江間高速バス外国人運賃割引事業は廃止し、利便性・分かりやすさ・購入しやすさを重視する施策へと移行する。				
			方向性				

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	インバウンド強化事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月頃	Webプロモーション実施		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,500		
事業費計			1,500

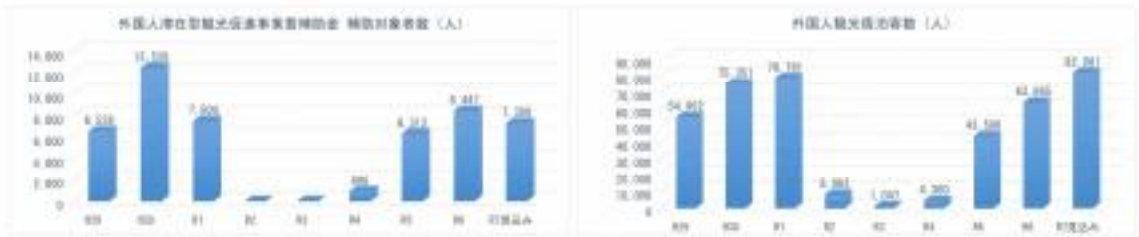
令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
観光部国際観光課		外国人滞在型観光促進事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	松江市への訪日旅行客の増加を図ることにより、観光事業の振興・発展に寄与することを目的とする。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		外国人観光宿泊客数(人)	63,865	82,081	102,000	118,000	150,000
	目標（何を達成するのか）						
	外国人観光宿泊客数 150,000人〔2029(R11)年〕						
事業概要	(数値目標の目標年) 外国人観光宿泊客数:2029(R11)年						
	松江観光協会が訪日団体旅行誘致のために行う事業に対し補助金を交付する。 ＜事業内容＞ 市内宿泊施設を利用する訪日団体旅行を企画・実施、手配する旅行業者に対し、1人1泊あたり2,000円(ただし、米子空港及び境港を出入国港とするツアーについては、1人1泊あたり1,000円)を補助する。						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	外国人滞在型観光促進事業費補助金交付見込み 7,300人泊分	外国人滞在型観光促進事業費補助金交付見込み 7,300人泊分		外国人滞在型観光促進事業費補助金交付見込み 7,300人泊分			
	より高い経済効果の創出を図るため、市内の①観光施設、②体験を提供する施設、③飲食を提供する施設を2力所以以上、有料で利用することを条件に追加。						
	達成度						
計画目標に向けて進捗はやや遅れている							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費	11,800	9,900	9,900	9,900	0	
	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	11,800	9,900	9,900	9,900	0	
歳入合計		11,800	9,900	9,900	9,900	0	
課題	海外における本市の認知度が低いこと。		訪日旅行を取り扱う旅行会社に対し補助金を交付することで、旅行商品の新規造成を促進するとともに、既存旅行商品の継続販売を促していく。				
			方向性				

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	インバウンド強化事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	補助金受理申請～交付手続き		

本事業に関する主要データ



外国人滞在型観光促進事業補助金 国別補助対象者										単位: 人
国名	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17見込み	
韓国	2,466	5,873	2,732	0	0	118	3,258	5,703	5,000	
台湾	2,629	4,253	2,614	0	0	554	2,083	2,402	2,000	
香港	47	1,188	1,113	0	0	214	855	270	20	
フランス	0	120	470	0	0	0	0	0	50	
米国	404	322	116	0	0	0	0	0	160	
オーストラリア	215	149	132	0	0	0	0	0	0	
その他	747	523	327	0	0	0	113	64	70	
合計	6,538	12,528	7,504	0	0	886	6,313	8,447	7,300	

R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	9,900		
事業費計			9,900

令和8年度 総合計画実施計画

所 属	事 業 名
観光部国際観光課	アフター万博海外観光誘客促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	2025年大阪・関西万博開催後も関西圏ではワールドマスターゲーム2027の開催、2030年には神戸空港への国際定期路線の就航、大阪夢洲でのIR開業が予定され、これらを引き続きの好機と捉え、外国人観光客を誘客する。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		外国人観光宿泊客数（人）	63,865	82,081	102,000	118,000	150,000
	目標（何を達成するのか）						
	外国人観光宿泊客数 150,000人〔2029（R11）年〕						

事業概要	(数値目標の目標年) 外国人観光宿泊客数:2029(R11)年
	○万博を契機とし、宿泊・観光事業者、交通事業者、旅行事業者等の民間事業者と松江市の官民が一体となり設立した「松江市インバウンド推進協議会」が実施するインバウンド観光誘客を促進する取り組みに対し、負担金を支出するもの。(重点市場:香港・台湾・フランス・アメリカ) * 海外重点市場プロモーション * 商品造成 * 人材育成研修 * 市長トップセールス

事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画	R9計画
	○宿泊・観光事業者、交通事業者、旅行事業者等の民間事業者と松江市の官民が一体となり設立した「松江市インバウンド推進協議会」へ負担金を支出。 ＊観光商品の造成と販売 ＊プロモーションの実施 ○大阪観光局と全国の温泉地の首長が連携して設立した「温泉ツーリズム推進協議会」が万博会場に設ける共同PRブースに出展。	○宿泊・観光事業者、交通事業者、旅行事業者等の民間事業者と松江市の官民が一体となり設立した「松江市インバウンド推進協議会」へ負担金を支出。万博開催による松江市へのインバウンド効果の検証。 ＊観光商品のリバイス ＊プロモーションの実施 ＊市長トップセールス(アメリカ・ロサンゼルス) 旅行会社への観光情報説明会	○宿泊・観光事業者、交通事業者、旅行事業者等の民間事業者と松江市の官民が一体となり設立した「松江市インバウンド推進協議会」へ負担金を支出。 ＊観光商品のリバイス ＊プロモーションの実施
	達成度		
	計画目標に向けて進捗はやや遅れている		

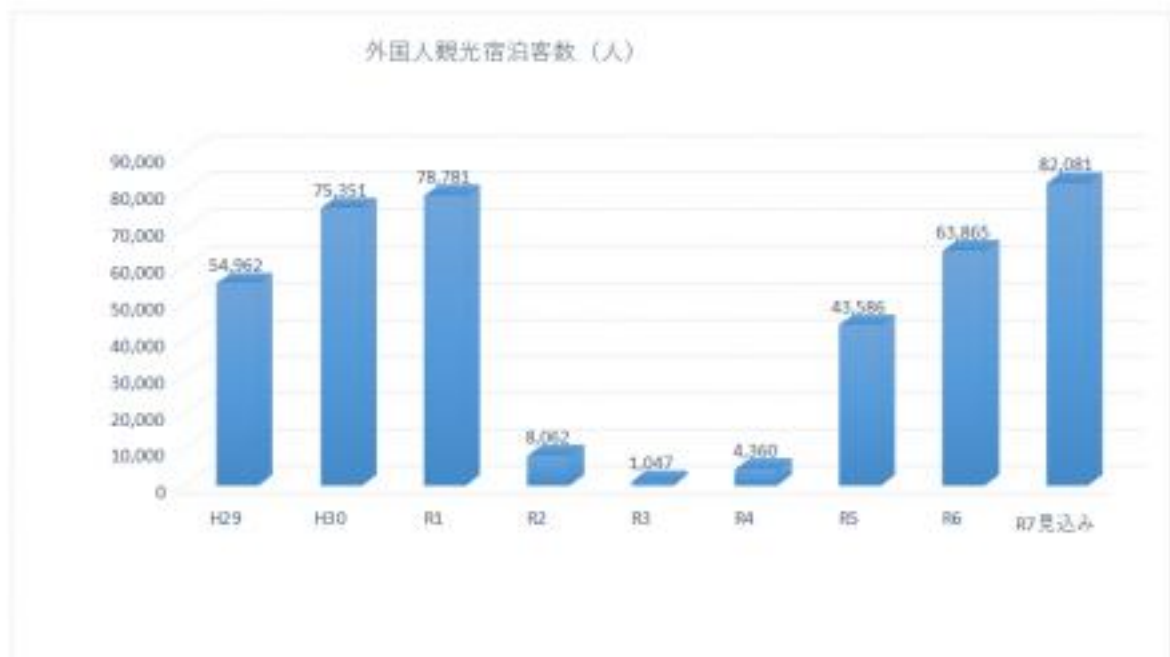
歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		16,028	16,399	26,111	32,427	16,028
財 源 内 訳	国・県支出金	8,014	6,968	10,004	15,118	8,150
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	2,200	0	0
	一般財源	8,014	9,431	13,907	17,309	7,878
歳入合計		16,028	16,399	26,111	32,427	16,028

課題	海外における本市の認知度が低いこと。
方向性	官民が一体となった松江市インバウンド推進協議会で、「茶の湯文化」、「城下町」、「水の都」、「歴史ある温泉」など本市ならではの魅力ある観光コンテンツのブラッシュアップやツアー造成、プロモーションを行う。 また、市長によるトップセールスをアメリカ・ロサンゼルスで実施し、本市の認知度向上へつなげる。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	インバウンド強化事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	ツアー商品造成		
	通年	ツアー商品販売		
	通年	ターゲット別プロモーション(情報発信)		
	2月(予定)	市長トップセールス(アメリカ・ロサンゼルス)		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	577		
委託料	3,425		
負担金補助及び交付金	28,425		
事業費計			32,427

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
観光部国際観光課		フランス誘客促進イベント事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	国内外における本市の認知度向上を図り、外国人観光客の誘致につなげる。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		外国人観光宿泊客数（人）	63,865	82,081	102,000	118,000	150,000
	目標（何を達成するのか）						
	外国人観光宿泊客数 150,000人〔2029（R11）年〕						
事業概要	（数値目標の目標年）外国人観光宿泊客数：2029（R11）年 芥川賞作家やフランスの主要文学賞受賞作家が集い、小説執筆に取り組むイベント『24時間小説』の開催を支援することで、国内外における本市の認知度向上を図るとともに、本市が重点市場とするフランスにおいての観光客誘致の促進につなげる。 ※『24時間小説』とは、12名の作家が24時間かけて、旅をしながら、作品を共同執筆するイベント ・開催時期：令和8年10月（予定） ・開催実績：平成27年10月に『24時間小説』の第1回目をカナダで開催。今回は第2回目の開催（日本では初開催） ○補足…フランス市場においては、令和6年度に在日フランス商工会議所会員向け観光PRイベント実施し、令和7年度にフランス現地にて観光PRイベントを実施した。						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画	R9計画				
		プロジェクト「Les 24 heures du roman」が行う『24時間小説』イベントの開催を支援する。イベント内容は以下のとおり。 ・各作家における小説の執筆 日本の芥川賞作家やフランスの有力な文学賞受賞作家らが大阪駅発「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」で旅をしながら本市をテーマに1章ずつリレー方式で小説を執筆。 ・イベントの開催 本に触れる機会を創出するブックフェアを開催し、講演会や小説の書き方ワークショップを行う。	—				
	達成度						
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
事業費		0	0	0	6,563	6,563	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	3,000	3,000	
	一般財源	0	0	0	3,563	3,563	
歳入合計		0	0	0	6,563	6,563	
課題	海外における本市の認知度が低いこと。		令和6年度、令和7年度、令和8年度とフランス市場に向けた連続した取り組みにより、認知度向上と誘客促進を図る。				
			方向性				

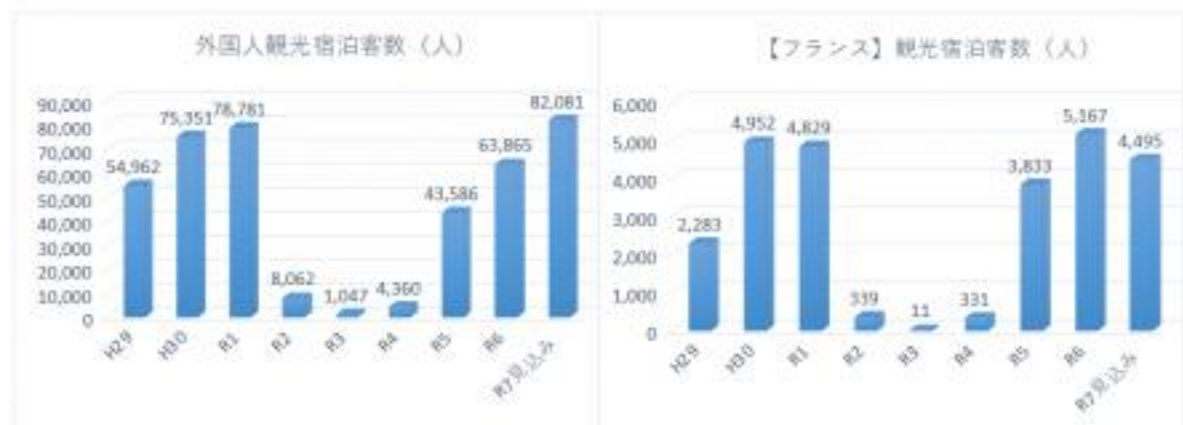
観光部国際観光課

フランス誘客促進イベント事業費

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	インバウンド強化事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	～10月	イベントの周知		
	10月	イベント開催		
	10月～	本事業を活用したプロモーションの実施		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	1,299		
役務費	218		
委託料	1,502		
使用料及び賃借料	3,544		
事業費計			6,563

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名					
観光部国際観光課		温泉ツーリズム推進事業費					
事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	2025年大阪・関西万博開催後も関西圏ではワールドマスターゲーム2027の開催、2030年には神戸空港への国際定期路線の就航、大阪夢洲でのIR開業が予定され、これらを引き続きの好機と捉え、外国人観光客を誘客する。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
		外国人観光宿泊客数(人)	63,865	82,081	102,000	118,000	150,000
	目標（何を達成するのか）						
	外国人観光宿泊客数 150,000人〔2029（R11）年〕						
事業概要	(数値目標の目標年) 外国人観光宿泊客数：2029（R11）年						
	大阪観光局と全国の温泉地の首長が連携し、「温泉ツーリズム推進協議会」を発足。 日本の温泉や温泉文化を世界に発信し、インバウンド誘客を促進するもの。 ①HPでの情報発信と商品造成 ②関西圏でのPRイベント実施 ③温泉シンポジウムの開催（令和8年度：松江市での開催を予定）						
事業の成果及び実績	R7実績見込	R8計画		R9計画			
	・温泉ツーリズム推進協議会で連携し大阪・関西万博会場で共同PRブースを出展し、足湯体験を実施。 ・なんば広場でも共同PRブースを出展し、認知度向上を図った。 ・参画自治体で連携し、デジタルスタンプラリーを実施し、地域間の周遊を促した。 ・構築したウェブサイト「観光ショーケース」で情報発信した。 【予算額16,399千円(うち2,016千円)(2025年日本国際博覧会観光誘客促進事業費)】	・温泉シンポジウムin松江を開催し、松江の温泉文化を温泉ツーリズム推進協議会を通じて国内・国外に向けて発信する。 ・ウェブサイト「観光ショーケース」で本市の温泉について引き続き情報発信をする。		・ウェブサイト「観光ショーケース」で本市の温泉について引き続き情報発信をする。			
	達成度	計画目標に向けて進捗はやや遅れている					
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7		R8		
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較	
	事業費	0	0	0	2,556	2,556	
	国・県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
一般財源	0	0	0	2,556	2,556		
	歳入合計	0	0	0	2,556	2,556	
課題	海外における本市の認知度が低いこと。		インバウンド旅行者からも関心の高い「温泉」をキーワードに、温泉ツーリズム推進協議会で連携した情報発信に取り組み、認知度の向上を図る。				
			方向性				

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	インバウンド強化事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	ウェブサイト「観光ショーケース」での情報発信		
	7～8月	「第5回温泉シンポジウムin松江」開催		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	307		
需用費	149		
委託料	1,000		
使用料及び賃借料	100		
負担金補助及び交付金	1,000		
事業費計			2,556

令和8年度 総合計画実施計画

所属		事業名						
観光部観光振興課		小泉八雲・セツのドラマを生かして化ける松江推進協議会負担金						
事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標					
	小泉八雲・セツをモデルとした連続テレビ小説の制作・放送を最大限に生かして観光振興を図るとともに、小泉八雲・セツの精神・功績を後世に引き継いでいく取組みを推進する。		項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
			観光消費額(億円)	600	622	687	708	750
			観光入込客数(万人)	873	951	1,040	1,060	1,100
			年間宿泊客数(万人)	178	179	227	235	250
目標（何を達成するのか）								
年間宿泊客数250万人、観光入込客数1100万人を目指す。								
事業概要	(数値目標の目標年度) 観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年							
	○ドラマの制作・放送を生かし、幅広く誘客プロモーション事業を行う。 ○観光客の増加が見込まれる中、既存の地域資源を磨き上げるとともに、満足度の高い観光が提供できるよう受入環境を整備する。 ○松江の滞在時間を延ばし、観光消費額の増加につながるような周遊促進事業を行う。 ○小泉八雲・セツという観光文化資源を生かした土産品、飲食メニュー等の商品開発を推進するための支援を行う。 ○小泉八雲・セツが貴重な観光文化資源であることを市民に広く浸透させるため、二人の精神・功績を学ぶ機会を創出する。							
事業の成果及び実績	R7実績見込		R8計画		R9計画			
	○誘客プロモーション事業 特設WEBサイト制作、県外イベントにおけるブース出展、動画制作、各種メディアを活用した広告等 ○受入環境整備事業 案内・誘導看板設置、小泉八雲記念館及び旧居予約システム導入等 ○周遊促進事業 イベント開催補助、周遊促進キャンペーン実施、顔はめパネル製作等 ○商品開発支援事業 研修会実施、開発商品のプロモーション等		○誘客及び機運醸成プロモーション事業 県外での誘客イベント開催、SNS及びWEB広告、特設WEBサイトの掲載情報充実化、機運醸成イベントの開催等 ○受入環境整備事業 市役所新庁舎におけるドラマセットの展示等 ○周遊促進事業 イベント開催補助等		○誘客プロモーション事業 ○受入環境整備事業 ○周遊促進事業 ○商品開発支援事業 ○顕彰事業			
	達成度							
	計画目標に向けて順調に推移							
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)		R6		R7		R8	
			決算		予算		決算見込	
			予算		決算見込		予算	
			決算見込		予算		予算前年度比較	
	事業費		1,235		12,290		12,290	
	国・県支出金		0		6,145		6,145	
	地方債		0		0		0	
その他		0		0		0		
一般財源		1,235		6,145		6,145		
歳入合計		1,235		12,290		12,290		
課題	○認知度不足 ○観光入込客数及び観光消費額のコロナ禍からの回復が不十分 ○周遊につながるコンテンツ不足 ○小泉八雲・セツに関する市民の理解・関心の向上 ○二次交通不足 ○他自治体との連携不足			○「ばけばけ」の制作・放送を契機に、松江の魅力を広く発信し、国内外における認知度を高め、幅広い年代や、インバウンドを含めた多様な層の観光客が訪れる。 ○多様な層の観光客、とりわけ「ばけばけ」をきっかけに訪れた方が、小泉八雲とセツの世界を存分に味わうことができるよう、観光拠点の磨き上げ、おもてなし力向上などにより松江観光全体の魅力を高める。				
	方向性							

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	小泉八雲・セツのドラマを生かして化ける松江推進事業

R8スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～	誘客プロモーション		
	5月～	ドラマセット展示		
	6月～	イベント開催費用補助		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	5,000		
負担金補助及び交付金	28,000		
事業費計			33,000